

秋 田 市

秋田新都市開発整備事業関係
埋蔵文化財発掘調査報告書

地蔵田A遺跡

1994.3 秋田市教育委員会

序

秋田新都市開発整備事業に係わる御所野丘陵部の埋蔵文化財につきましては、昭和56年度から対処してまいりましたが本年度をもちまして全て終了いたしました。

計画区域内31ヶ所の遺跡からは旧石器時代から平安時代までの遺構、遺物が多数発見されましたが、なかでも全国で初めて横木で囲まれた弥生時代の集落跡が「地蔵田B遺跡」から発見されるなど、他の遺跡においても学術上貴重な資料をたくさん得ることができました。

本年度は昨年度からの継続調査である「地蔵田A遺跡」1ヶ所の発掘調査を実施し、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、平安時代の複合遺跡であることが判明しました。

調査の実施にあたっては、県、関係機関の指導をはじめ、地元関係者等多くの方々の積極的なご協力をいただき深く感謝申し上げます。

本報告書が文化財保護のため、さらには研究資料として広く活用されれば幸甚に存じます。

平成6年3月

秋田市教育委員会

教育長 石 黒 俊 郎

例　　言

1. 本報告書は、秋田市四ツ小屋小河地字地蔵田に所在する地蔵田A遺跡の発掘調査報告書である。
2. 本報告書の執筆は、菅原俊行の助言を得て地蔵田A遺跡のB地区を安田忠市、C地区を西谷隆が担当し、調査員及び整理作業員の協力を得て菅原、安田が編集したものである。
3. 発掘調査、整理作業の過程で、下記の各氏より指導、助言を賜った。(敬称略)
　　小林達雄(國學院大學)、富樫泰時(秋田県埋蔵文化財センター)
4. 地蔵田A遺跡出土人骨の鑑定は札幌医科大学解剖学第2講座石田肇氏に、また、平成4年度に調査した狸崎B遺跡出土の遺物に残存する脂肪の分析を株式会社ズコーシャに委託し、その結果を掲載した。
5. 各遺跡の平面図、土層断面図中のPは土器、Sは石(礫)を示し、石器実測図の外形図にはアスファルト付着物の個所を示した。
6. 発掘調査による出土遺物、実測図、写真、その他の記録は秋田市教育委員会が保管する。

目 次

序

例言

| | |
|-------------------------|----|
| 調査の概要 | 1 |
| 調査に至るまでの経過 | 1 |
| 調査期間と体制 | 2 |
| 調査の方法と経過 | 2 |
| 遺跡の位置と地形・地質 | 3 |
| 地蔵田A遺跡 | |
| 遺跡の概観 | 14 |
| B地区 | 14 |
| 旧石器時代 | 14 |
| 弥生・平安時代 | 24 |
| 遺構と遺物 | 24 |
| C地区 | 46 |
| 縄文・弥生時代 | 46 |
| 遺構と遺物 | 46 |
| 地蔵田A遺跡出土の人骨について | 83 |
| まとめ | 85 |
| 狸崎日遺跡から出土した遺物に残存する脂肪の分析 | 97 |



B地区全景（北→）



B地区遗構検出状況（南東→）



C地区全景（東→）



C地区北側遺構検出状況（南西→）

調査の概要

調査に至るまでの経過

秋田市南東部地域は、昭和56年6月の秋田空港開港、東北横断自動車道秋田線秋田インターチェンジ開設予定等、空陸両面の交通の要衝に位置する所であることから、いち早く開発可能性等についての各調査が実施され、県市総合計画においても産業、住宅団地が一体となった総合的ニュータウン＝臨空港新都市として具体的に位置づけられた。

昭和55年に御所野台地全体の分布調査を実施し、約30ヶ所の遺物散布地を確認した。昭和56年度は開発計画区域内の西部工業団地造成に先立ち、下堤D遺跡（秋田市「下堤D遺跡発掘調査報告書」1982年3月、秋田市教育委員会）の発掘調査を行った。昭和57年度は今後の開発計画に対応するため昭和55年の分布調査に基づき、3ヶ月間で遺跡の範囲確認調査を実施し、範囲確認調査の結果に基づき関係機関と協議を重ね、引き続き年度別に計画的な発掘調査を実施することとした。昭和57年度は下堤G遺跡、野畠遺跡、湯ノ沢B遺跡、坂ノ上C遺跡、坂ノ上D遺跡（秋田市「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1983年3月、秋田市教育委員会）、昭和58年度は坂ノ上E遺跡、湯ノ沢A遺跡、湯ノ沢C遺跡、湯ノ沢F遺跡、湯ノ沢G遺跡、湯ノ沢H遺跡、野形遺跡（秋田市「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1984年3月、秋田市教育委員会）、昭和59年度は下堤E遺跡、下堤F遺跡、坂ノ上F遺跡、狸崎A遺跡、湯ノ沢D遺跡、深田沢遺跡（秋田市「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1985年3月、秋田市教育委員会）、昭和60年度は地蔵田B遺跡、合A遺跡、湯ノ沢I遺跡、昭和58年度に調査した湯ノ沢F遺跡の北西部（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1986年3月、秋田市教育委員会）、昭和61年度は地方遺跡、合D遺跡（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財調査報告書」1987年3月、秋田市教育委員会）の発掘調査を行った。

昭和62年度は、狸崎B遺跡、地蔵田A遺跡、秋大農場遺跡の調査を実施し、新都市開発計画区域内に所存する27ヶ所の遺跡の調査が一応終了する予定であった。しかし、昭和60年度に調査した地蔵田B遺跡の保存問題が出てきたため計画の一部見直しがあり、総合公園、医療福祉等複合施設建設予定地にある下堤A遺跡、下堤B遺跡、下堤C遺跡の発掘調査が必要になり、昭和61年度に一部表土除去作業を行っていた下堤C遺跡（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1987年9月、秋田市教育委員会）の発掘調査を実施することにし、下堤A遺跡、下堤B遺跡（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1988年3月、秋田市教育委員会）については調査費の関係で7月から調査を行った。

平成3年度は狸崎B遺跡、秋大農場南遺跡（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書」1992年3月、秋田市教育委員会）の発掘調査を行った。平成4年度は前年度からの継続調査である狸崎B遺跡と、地蔵田A遺跡（秋田市「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発

掘調査報告書』1993年3月、秋田市教育委員会)の発掘調査を実施した。平成5年度は昨年度からの継続調査である地蔵田A遺跡の発掘調査を実施した。

調査期間と体制

調査期間 平成5年4月20日～9月3日

調査主体者 地域振興整備公団

調査担当者 秋田市・秋田市教育委員会

調査員 菅原俊行、石郷岡誠一、西谷 隆、安田忠市(秋田市教育委員会文化振興課)

調査補佐員 小林 都

調査協力員 五十嵐芳郎(秋田考古学協会)

調査作業員 鈴木銀一、鈴木長治、三浦竹治、鈴木市太郎、三浦金司、佐藤春信、佐々木金治郎、若月春吉、鈴木末藏、三浦初枝、三浦千枝子、三浦トミエ、三浦タキ、鈴木ウメノ、鈴木鈴子、鈴木博子、熊谷文子、宮田トキ子、伊藤茂子、佐々木久子、高島綾子、矢野富美子、鈴木キヨ、鹿子澤ミサ、三浦アエ子、石井京子、三浦トキ子、鈴木ルミ子、松井悦子

整理作業員 三浦千枝子、鈴木博子、伊藤秀子、佐々木暁子、鈴木ルミ子

事務員 熊谷信子

調査の方法と経過

各遺跡ごとに任意の原点を決めて東西南北(磁北)に基準線を作り、調査区全体に大グリッド(40×40m)を設定し、さらにその中に小グリッド(4×4m)を設定して単位グリッドとした。

大グリッドは(1～n)、小グリッドは東西(X軸)に数字(1～10)、南北(Y軸)にアルファベット(A～J)を配し、その組み合せで遺跡番号、大グリッド、小グリッドの順に呼称することとした。

発掘調査は、4月20日～9月3日の日程で実施した。昨年度からの継続調査で、今年度は南西部(B地区)と北西部(C地区)の調査を実施した。遺跡はB地区が旧石器時代、弥生時代、平安時代の複合遺跡である。旧石器時代の出土遺物は908点で、尖頭器状石器、石核の残核、剝片、碎片等である。弥生・平安時代は竪穴住居跡2軒(弥生1軒、平安1軒)、竪穴造構1基(弥生時代)、土壙(弥生時代)、溝状土壙等が検出された。C地区は縄文・弥生時代の複合遺跡である。縄文・弥生時代の竪穴住居跡2軒(縄文中期)、竪穴造構2基(縄文前期初頭)、土壙(縄文、弥生)、時期不明の焼土造構、土壙等が検出された。

平成5年度來跡者（順不同、敬称略）

石川鍊治郎（秋田市長）、熊谷太郎、阿部 勇（秋田県文化課）、富樫泰時、利部 修、高橋 学、
谷地 薫（秋田県埋蔵文化財センター）、長沼 孝（北海道文化課）、松田直則、松村 信博（高知
県文化財埋蔵文化財センター）、段 小雨（中國甘肅省蘭州市教育局）、天野莊平（秋田考古学協
会）

遺跡の位置と地形・地質

位 置

秋田市街から国道13号線を南下し、仁井田、横山を過ぎ、坂を登ると標高約40m前後の広大な台地が開ける。これはJR奥羽本線四ツ小屋駅方面からもよく見える平坦な台地であり、御所野台地、末戸台と呼ばれている。この台地が秋田新都市開発整備事業計画区域である。

各遺跡の位置については第2図「御所野丘陵部発掘調査遺跡、範囲確認遺跡及び周辺遺跡」を参照されたい。

地形・地質

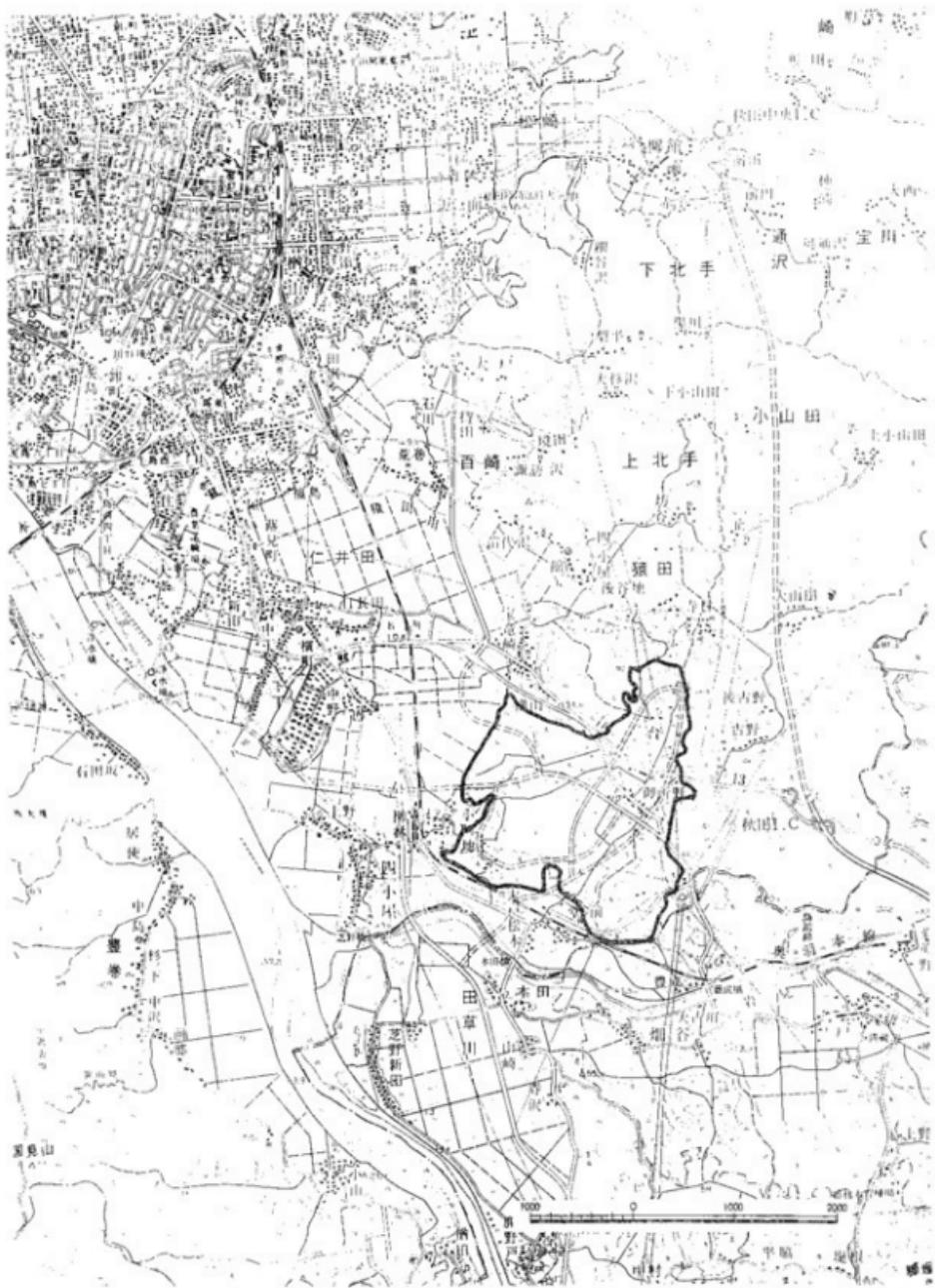
遺跡の存在する地形は、大別して和田丘陵と末戸台台地に分けられる。和田丘陵は平坦面をあまり持たない。しかし、定高性を持った標高60～150mのかなり開析を受けた老年期地形を示し、地形は第3系鮮新統に属する青色砂質シルト岩（笹岡層）と青灰色塊状泥岩（天徳寺層）、それに中新統に属する暗灰色泥岩（船川層）などからなっている。末戸台台地は標高25～50m強で、その表面は大変平坦である。この台地は和田丘陵と接して数段の段丘を識別できる。これらは内藤の区分からすると、上位から標高45～50m強の椿台段丘、標高40m強の上野台段丘I、標高35m強の上野台段丘II、標高25m強の宝竜崎段丘の4段階に分けられる。（第3図）

椿台段丘

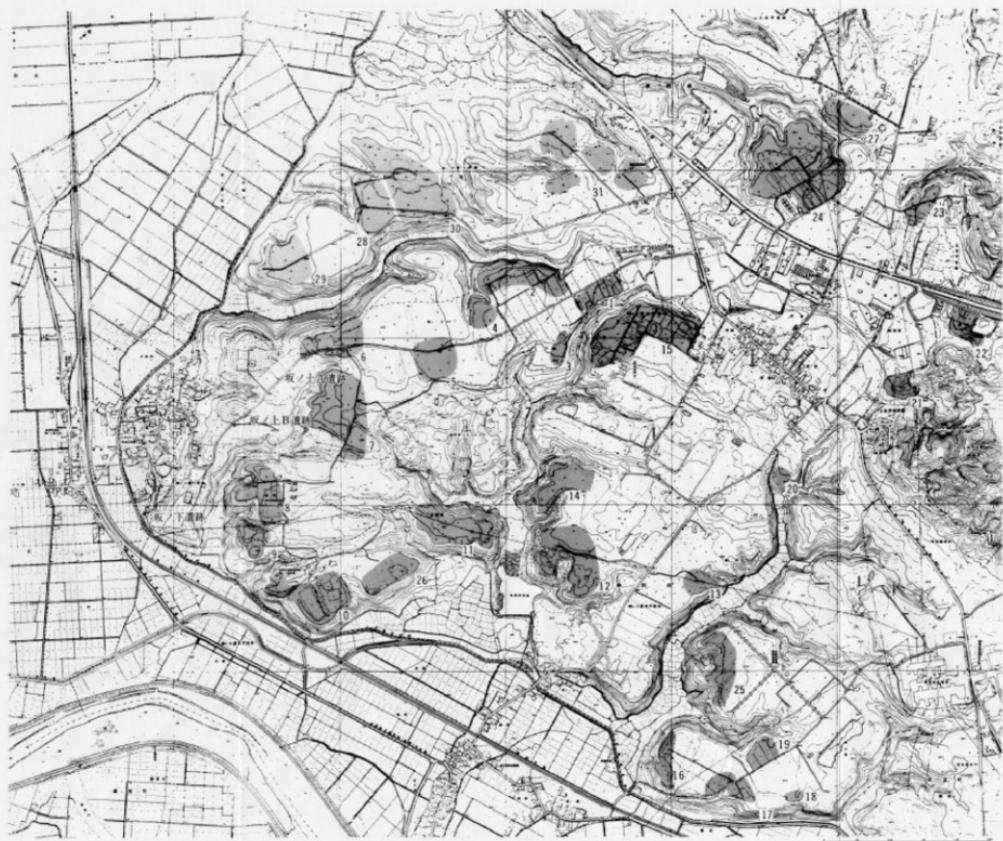
岩見川右岸末戸台台地では45～50m強の標高をもつ、いわゆる椿台面をその堆積面とする椿台層が厚い疊（最大径10cm前後）、砂、粘土の互層で構成されている。ただ基底高度はわからない。岩相は最上部に1～2mの褐色の粘土質火山灰層があり、次に疊、砂、粘土の互層で、砂疊の部分でしばしばクロス・ラミナ（斜交葉理）がみられ、砂土あるいはシルトは水平な細かい層理をなすことが多い。層厚をみると、疊層はうすく、砂・粘土層が厚い。その下部は第3系の泥岩（船川層）や砂質シルト（笹岡層）となっている。内藤はこの椿台面を関東の下末吉面に対比している。

上野台段丘I

末戸台台地で椿台段丘の南側に標高40m強でついている段丘が上野台段丘Iと呼ばれている。表層の1～2mの粘土質火山灰層を除くと、段丘堆積物は最大径20～30cmの疊層であり、厚さは5m程度で、その下部は第3系となっている。



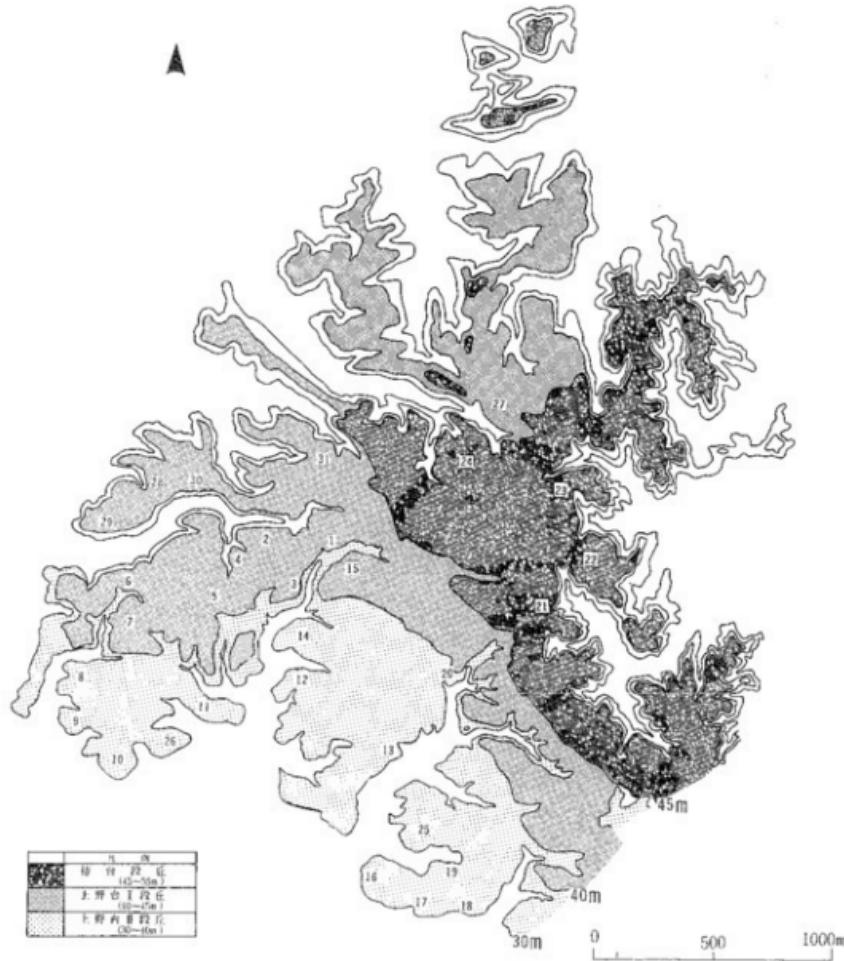
第1図 遺跡の位置



第2図 御所野丘駿部発掘調査遺跡、範囲確認遺跡及び周辺跡路

御所野丘陵部 遺跡一覧表

| 遺跡番号 | 遺跡名 | 所 在 地 | 範 囲 確 認 調 査 | | | 発 振 調 査 逸 跡 | | |
|------|-----------|----------------|-------------|-----------------------|-----------|-------------|------------------------|---------------------------|
| | | | 時 代 | 面 積 m ² | 地 日 | 調査年度 | 調査面積 m ² | 内 容 |
| 1 | 下 堀 E | 秋田市西ツ小屋小阿地字下堀 | 縄 文 | 5,625 | 烟 | S59 | 3,340 | 縄文(中期)集落 |
| 2 | 下 堀 F | " " | | 14,375 | " | S59 | 2,950 | 縄文(前、中期)集落 |
| 3 | 下 堀 G | " " | 旧石器、縄文(中) | 5,000 | 山 林 原 野 | S57 | 1,550 | 旧石器、縄文(前、中期)集落 |
| 4 | 坂 / 上 C | " 四ツ小屋小阿地字坂ノ上 | 縄 文 | 6,000 | " | S57 | 1,000 | 縄文(中、晚期) |
| 5 | 坂 / 上 D | " " | | 14,060 | " | S57 | 1,500 | 縄文(中、晚期) |
| 6 | 坂 / 上 E | " " | | 15,000 | " | S58 | 5,000 | 縄文(中期)集落、9~10c 製鉄炉 |
| 7 | 坂 / 上 F | " " | | 37,810 | " | S59 | 18,800 | 縄文(中期)集落、弥生住居跡 |
| 8 | 狸 崎 A | " 四ツ小屋小阿地字狸崎 | 縄 文(晚) | 13,750 | 烟、山 林 原 野 | S59 | 1,910 | 縄文(前、晚期)土壤層、弥生住居跡 |
| 9 | 狸 崎 B | " " | 縄 文 | 11,250 | 原 野 | H 3.、4 | 3,300 | 旧石器、縄文(中期)集落、弥生土壤層 |
| 10 | 地 藏 田 A | " 四ツ小屋木戸松本字地藏田 | 旧石器、縄文、平安 | 30,000 | 烟、山 林 原 野 | H 4.、5 | 6,000 | 縄文(前、中期)集落、弥生住居跡、土壤層、平安集落 |
| 11 | 地 藏 田 B | " " | 縄文(中、晚)、弥生 | 25,000 | 山 林 原 野 | S60 | 12,000 | 旧石器、縄文(中期)集落、弥生集落櫛木跡 |
| 12 | 湯 / 沢 A | " 四ツ小屋木戸松本字湯ノ沢 | 縄 文 | 21,555 | " | S58 | 3,000 | 縄文(中期)、弥生住居跡 |
| 13 | 湯 / 沢 B | " " | 縄 文(前、中) | 5,000 | " | S57 | 2,340 | 縄文(中期)集落、平安住居跡 |
| 14 | 湯 / 沢 C | " " | 縄文(中、晚)、弥生 | 11,565 | " | S58 | 4,100 | 縄文(中期)集落 |
| 15 | 湯 / 沢 D | " " | 縄 文(中) | 35,000 | 烟 | S59 | 3,220 | 縄文(中期)集落 |
| 16 | 湯 / 沢 E | " " | 縄 文 | 7,500 | " | S58 | 1,920 | 縄文(後期) |
| 17 | 湯 / 沢 F | " " | 縄文、土 墓、須 恵 | 5,310 | " | S58. 60 | 4,400 | 弥生土壤、平安墓(40基) |
| 18 | 湯 / 沢 G | " " | 縄 文(後) | 1,300 | 原 野 | S58 | 400 | 縄文(後期) |
| 19 | 湯 / 沢 H | " " | 縄 文 | 5,940 | 烟 | S58 | 720 | 縄文(前、中、晚期)住居跡 |
| 20 | 野 烟 | " 上北手御所野字野烟 | 縄 文(中) | 1,875 | 山 林 | S57 | 640 | 縄文(中期)集落 |
| 21 | 野 形 | " 上北手御所野字野形 | 土 墓、須 恵 | 5,940 | 山 林 原 野 | S58 | 980 | 平安住居跡、窓跡 |
| 22 | 深 田 沢 | " 上北手古野字深田沢 | 縄 文、平 安 | 6,875 | 烟 | S59 | 3,320 | 平安住居跡、住居跡 |
| 23 | 台 A | " 上北手古野字台 | | 8,440 | " | S60 | 2,000 | 住居跡(中期)集落 |
| 24 | 地 方 | " 上北手猿田字堤ノ沢 | 縄 文(晚) | 54,670 | 烟、原 野 | S61 | 11,500 | 縄文(中期)集落、(晚期)土壤層 |
| 25 | 湯 / 沢 I | " 四ツ小屋木戸松本字湯ノ沢 | | | 苗 庫 | S60 | 5,700 | 弥生 |
| 26 | 秋 大 農 場 南 | " 四ツ小屋木戸松本字地藏田 | | | 原 野 | H 3 | 3,000 | 旧石器、縄文(中期)集落、平安住居跡 |
| 27 | 台 B | " 上北手猿田字寺ノ沢 | | | 山 林 原 野 | S61 | 1,150 | 縄文(中期) |
| 28 | 下 堀 A | " 四ツ小屋小阿地字下堀 | | | 原 野 | S62 | 11,000 | 縄文(中期)集落、平安集落 |
| 29 | 下 堀 B | " " | | | " | S62 | 5,100 | 縄文(中期)集落、平安集落 |
| 30 | 下 堀 C | " " | | | " | S61. 62 | 17,700 | 平安集落 |
| 31 | 下 堀 D | " " | | | " | S56 | 17,000 | 旧石器、縄文(前~晚期)集落、平安住居跡 |



第3図 段丘及び遺跡の位置

上野台段丘II

末戸台台地では上野台段丘Iとの比高が5m強である。段丘堆積物の岩層は、上野台段丘Iとは同様で、層厚は5m前後である。内藤によれば、厚い礫層の下部は椿台層に当るとしている。地蔵田A遺跡はこの上野台段丘IIに位置する。

段丘堆積物の特徴は、上野台I、II面では最大径30cm前後の亜円礫を主体とする。(ほぼ一様な礫層をもち、河川堆積物で、厚さも加味すると岩見川などによる河成の侵食段丘面と考えられる。椿台、上野台I、II面の各面をおおっている層厚1~2mのシルト分を含んだ粘土質火山灰層は、男鹿半島の寒風山^(註2)が起源と一応考えられている。この粘土質火山灰層の表面細粒物質の風化状態をみていくと、椿台、上野台I、II面では黒色土の下の細粒物質のうち、上部50~100cmが明褐色を呈し、下部は灰色で、境は漸移する。また、土壤面を見ると、椿台、上野台I、II面をおおう土壤はいわゆる高岡2統に属していると考えられ、比較的大きい円礫を混入していて、黒色土層を厚く堆積させている。この層中には火山ガラスを混入しており、火山灰が関係しているものと推定される。

註1 「秋田県岩見川流域およびその周辺の段丘について」 内藤博夫 1965年 第4紀研究第4巻 第1号

註2 「地形、表層地質・土壤、秋田」 経済企画庁土地分類基本調査 1966年

「八郎潟の研究」 秋田県教育委員会 1965年

「火山活動と地形」 村山 騰 大明堂

「秋田県男鹿半島一の日誌の火山噴出物について」 林 宏 地質学雑誌第61巻第717号 1955年

地蔵田 A 遺跡



第1図 遺跡周辺の地形



第2図 グリッド配置図

遺跡の概観

御所野台地の南側、JR奥羽本線四ツ小屋駅から南東へ800mの地点である。南と西側から沢が入り込み、標高は約30mである。

昨年度からの継続調査で、本年度は残りの遺跡南西部と北西部を実施した。なお、昨年度調査の東部をA地区、本年度調査の南西部をB地区、北西部をC地区と呼称することとした。調査の結果、B地区は旧石器時代の遺物、弥生時代の竪穴住居跡、竪穴造構、土壙、平安時代の竪穴住居跡、その他に溝状土壙が検出され、C地区は縄文時代の竪穴住居跡、竪穴造構、土壙、弥生時代の土壙、時期不明の焼土造構、土壙が検出された。

隣接する遺跡は、北側約100mに旧石器時代、縄文時代前・中期、弥生時代の「狸崎B遺跡」、東側約250mに旧石器時代、縄文時代中期、平安時代の「秋大農場南遺跡」、東側約500mに旧石器時代、縄文時代中期、弥生時代の「地蔵田B遺跡」等の関連遺跡が所在する。

B地区

旧石器時代

遺物は調査区の南半、約1,150m²の範囲より出土した。地形は南側がマウンド状に盛り上がり、北・西側へ緩く傾斜している。また、東側は畑地造成により削平されている。

層位

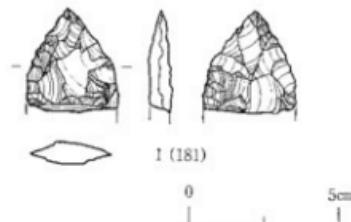
本遺跡は標高約30mで、地形区分では上野台II段丘（調査の概要 第3図 段丘及び遺跡の位置）にあたる。遺跡は上野台II段丘のなかでは低位に位置する。遺物は第III層（暗黄褐色土、ローム漸移層、炭化物混入）、第IVa層（黄褐色土、ローム層、暗褐色土・炭化物混入）、第IVb層（黄褐色土、ローム層、黄色味が強く硬い）からの出土である。しかし、第IVa層までは大部分擾乱を受けており、弥生時代の遺物も出土している。

遺物の平面分布（付図）

遺物は調査区の南側、約1,150m²の範囲に分布している。西・北側の周辺を除く約700m²については密であるが、中でも6-10E、13-2Aグリッドは比較的多く集中が認められる。

出土遺物（第3図1）

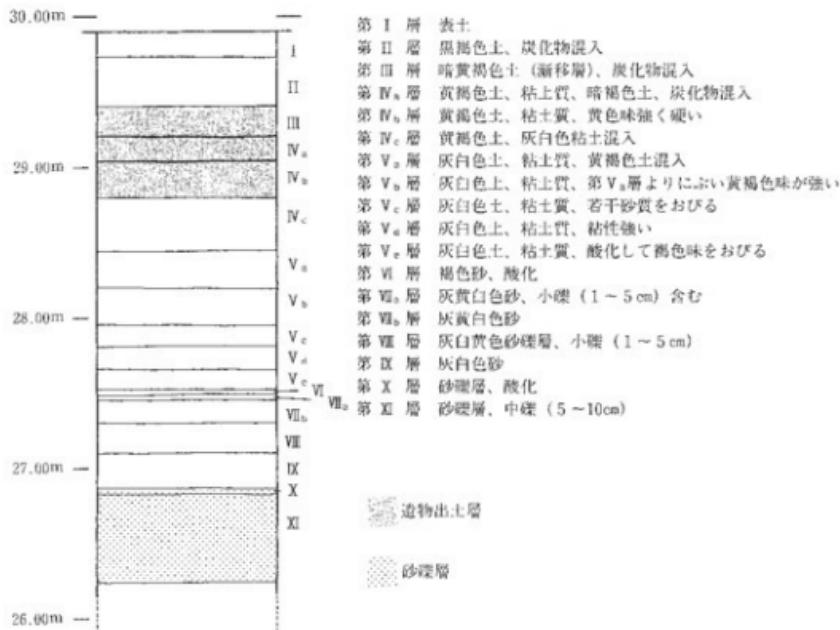
石器は尖頭器状石器の破損品1点、石核の残核1点である。他は剥片、碎片で、合計908点である。なお、



第3図 旧石器時代出土石器

地形が不安定であることから、弥生時代と考えられる石器も2点も含まれる。

1は尖頭器状石器で、破損している。両面調整のもので、比較的扁平な作りである。石質は硬質頁岩である。



第4図 基本土層柱状図

出土遺物属性表(1)

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標 | 高 | 層位 | 基種 | 形態 |
|----|-------|-----|-----|----|-----|-----|-------|----|
| 1 | 6-10F | 127 | 253 | 29 | 292 | III | 剝片 | |
| 2 | 6-10F | 37 | 335 | 29 | 351 | III | 剝片 | |
| 3 | 6-10G | 16 | 9 | 29 | 363 | III | 剝片 | |
| 4 | 12-1F | 185 | 56 | 29 | 585 | III | 剝片 | |
| 5 | 12-1F | 13 | 47 | 29 | 737 | III | 剝片 | |
| 6 | 12-1F | 125 | 234 | 29 | 586 | III | 剝片 | |
| 7 | 12-1G | 83 | 76 | 29 | 559 | III | 剝片 | |
| 8 | 12-1G | 83 | 75 | 29 | 575 | III | 剝片 | |
| 9 | 12-1G | 155 | 73 | 29 | 505 | III | 剝片 | |
| 10 | 12-2F | 292 | 19 | 29 | 722 | III | 剝片 | |
| 11 | 12-2F | 259 | 219 | 29 | 661 | III | 剝片 | |
| 12 | 12-2F | 330 | 376 | 29 | 574 | ■■■ | 剝片 | |
| 13 | 12-2F | 335 | 380 | 29 | 584 | ■■■ | 剝片 | |
| 14 | 12-2F | 330 | 383 | 29 | 600 | ■■■ | 剝片 | |
| 15 | 12-2F | 328 | 383 | 29 | 610 | ■■■ | 剝片 | |
| 16 | 12-2G | 352 | 33 | 29 | 591 | III | 剝片 | |
| 17 | 12-2G | 353 | 38 | 29 | 595 | III | 剝片 | |
| 18 | 12-2G | 284 | 123 | 29 | 555 | III | 剝片 | |
| 19 | 12-2G | 271 | 24 | 29 | 599 | III | 剝片 | |
| 20 | 12-2F | 32 | 100 | 29 | 869 | III | 剝片 | |
| 21 | 12-2F | 32 | 102 | 29 | 783 | III | 剝片 | |
| 22 | 12-2F | 23 | 257 | 29 | 709 | III | 剝片 | |
| 23 | 12-2F | 86 | 355 | 29 | 851 | III | 剝片 | |
| 24 | 12-2E | 272 | 155 | 29 | 785 | III | 剝片 | |
| 25 | 12-2F | 135 | 383 | 29 | 837 | III | 剝片 | |
| 26 | 12-2F | 119 | 393 | 29 | 819 | III | 神片 | |
| 27 | 12-2F | 160 | 304 | 29 | 854 | III | 剝片 | |
| 28 | 12-2G | 107 | 8 | 29 | 823 | III | 剝片 | |
| 29 | 12-2G | 145 | 29 | 29 | 669 | III | 神片 | |
| 30 | 12-2G | 212 | 74 | 29 | 566 | III | 剝片 | |
| 31 | 12-2E | 73 | 153 | 29 | 724 | III | 剝片 | |
| 32 | 12-2H | 375 | 36 | 29 | 336 | III | 剝片 | |
| 33 | 12-2H | 325 | 177 | 29 | 243 | III | 剝片 | |
| 34 | 12-2G | 256 | 18 | 29 | 516 | III | 剝片 | |
| 35 | 12-2G | 72 | 13 | 29 | 468 | III | 剝片 | |
| 36 | 12-2H | 168 | 196 | 29 | 254 | III | 剝片 | |
| 37 | 12-2H | 72 | 147 | 29 | 310 | III | 剝片 | |
| 38 | 12-2F | 299 | 176 | 29 | 732 | III | 剝片 | |
| 39 | 12-3F | 379 | 157 | 29 | 756 | III | 剝片 | |
| 40 | 12-3F | 383 | 386 | 29 | 576 | III | 神片 | |
| 41 | 12-3F | 367 | 374 | 29 | 525 | III | 剝片 | |
| 42 | 12-3F | 198 | 380 | 29 | 531 | III | 剝片 | |
| 43 | 12-3G | 361 | 47 | 29 | 506 | III | 剝片 | |
| 44 | 12-3G | 381 | 159 | 29 | 471 | III | 剝片 | |
| 45 | 12-3G | 300 | 183 | 29 | 520 | III | 剝片 | |
| 46 | 12-3G | 359 | 311 | 29 | 412 | III | 剝片 | |
| 47 | 12-3G | 102 | 26 | 29 | 511 | III | 神片 | |
| 48 | 12-3G | 66 | 9 | 29 | 582 | III | 剝片 | |
| 49 | 12-3G | 52 | 17 | 29 | 612 | III | 剝片 | |
| 50 | 12-3G | 49 | 23 | 29 | 612 | III | 剝片 | |
| 51 | 12-4G | 399 | 17 | 29 | 611 | III | 神片 | |
| 52 | 12-3G | 62 | 62 | 29 | 580 | III | 神片 | |
| 53 | 12-3G | 184 | 124 | 29 | 464 | III | 神片 有り | |
| 54 | 12-3G | 184 | 164 | 29 | 462 | III | 剝片 | |
| 55 | 12-3G | 116 | 184 | 29 | 518 | III | 剝片 | |

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標 | 高 | 層位 | 基種 | 形態 |
|-----|-------|-----|-----|----|-----|-----|-------|----|
| 56 | 12-3G | 112 | 213 | 29 | 526 | III | 剝片 | |
| 57 | 12-3G | 227 | 312 | 29 | 454 | III | 剝片 | |
| 58 | 12-3H | 310 | 28 | 29 | 480 | III | 剝片 | |
| 59 | 12-3H | 272 | 32 | 29 | 508 | III | 神片 | |
| 60 | 12-3H | 361 | 165 | 29 | 392 | III | 神片 | |
| 61 | 12-3G | 59 | 284 | 29 | 605 | III | 剝片 | |
| 62 | 12-3G | 43 | 293 | 29 | 604 | III | 剝片 | |
| 63 | 12-3G | 59 | 330 | 29 | 532 | III | 剝片 | |
| 64 | 12-3G | 121 | 340 | 29 | 569 | III | 剝片 | |
| 65 | 12-3G | 120 | 394 | 29 | 568 | III | 剝片 | |
| 66 | 12-3H | 23 | 2 | 29 | 586 | III | 剝片 | |
| 67 | 12-3H | 24 | 7 | 29 | 583 | III | 剝片 | |
| 68 | 12-3H | 56 | 50 | 29 | 546 | III | 神片 | |
| 69 | 12-3H | 90 | 34 | 29 | 496 | III | 神片 | |
| 70 | 12-4G | 370 | 292 | 29 | 620 | III | 剝片 有り | |
| 71 | 12-4G | 328 | 288 | 29 | 610 | III | 剝片 有り | |
| 72 | 12-4G | 306 | 318 | 29 | 579 | III | 剝片 | |
| 73 | 12-4G | 264 | 243 | 29 | 668 | III | 神片 | |
| 74 | 12-4G | 249 | 273 | 29 | 651 | ■■■ | 神片 | |
| 75 | 12-4H | 335 | 34 | 29 | 591 | III | 剝片 | |
| 76 | 12-4G | 18 | 60 | 29 | 606 | III | 神片 | |
| 77 | 12-4G | 9 | 80 | 29 | 614 | III | 剝片 | |
| 78 | 12-4G | 16 | 122 | 29 | 632 | III | 剝片 | |
| 79 | 12-4G | 27 | 126 | 29 | 620 | III | 剝片 | |
| 80 | 12-4G | 4 | 190 | 29 | 648 | III | 剝片 有り | |
| 81 | 12-4H | 13 | 70 | 29 | 681 | III | 剝片 | |
| 82 | 12-5G | 396 | 259 | 29 | 668 | III | 剝片 | |
| 83 | 12-5G | 273 | 273 | 29 | 702 | III | 剝片 | |
| 84 | 12-5G | 264 | 244 | 29 | 763 | III | 剝片 | |
| 85 | 12-5G | 314 | 386 | 29 | 654 | III | 神片 | |
| 86 | 12-5G | 363 | 393 | 29 | 653 | III | 神片 | |
| 87 | 12-3H | 256 | 225 | 29 | 463 | III | 神片 | |
| 88 | 12-3H | 78 | 220 | 29 | 567 | III | 神片 | |
| 89 | 12-3H | 3 | 246 | 29 | 569 | III | 剝片 | |
| 90 | 12-3H | 56 | 398 | 29 | 445 | III | 神片 | |
| 91 | 12-3I | 46 | 4 | 28 | 464 | III | 剝片 | |
| 92 | 12-3I | 82 | 36 | 29 | 437 | III | 神片 | |
| 93 | 12-3I | 271 | 74 | 29 | 408 | III | 剝片 | |
| 94 | 12-4H | 369 | 272 | 29 | 563 | III | 剝片 | |
| 95 | 12-4H | 357 | 325 | 29 | 527 | III | 剝片 | |
| 96 | 12-4H | 29 | 267 | 29 | 645 | III | 剝片 | |
| 97 | 12-4H | 88 | 338 | 29 | 643 | III | 剝片 | |
| 98 | 12-4I | 145 | 25 | 29 | 546 | III | 神片 | |
| 99 | 12-4I | 227 | 15 | 29 | 535 | III | 剝片 | |
| 100 | 12-4I | 238 | 8 | 29 | 522 | III | 剝片 | |
| 101 | 12-4I | 254 | 26 | 29 | 522 | III | 剝片 | |
| 102 | 12-5H | 353 | 245 | 29 | 645 | III | 剝片 | |
| 103 | 12-5H | 364 | 301 | 29 | 623 | III | 剝片 | |
| 104 | 12-5H | 367 | 313 | 29 | 684 | III | 剝片 | |
| 105 | 12-5I | 383 | 66 | 29 | 560 | III | 剝片 | |
| 106 | 12-5I | 364 | 80 | 29 | 561 | III | 剝片 | |
| 107 | 12-5I | 222 | 132 | 29 | 484 | III | 剝片 | |
| 108 | 12-5G | 86 | 358 | 29 | 695 | III | 剝片 | |
| 109 | 12-5G | 88 | 362 | 29 | 695 | III | 剝片 | |
| 110 | 12-5I | 186 | 132 | 29 | 465 | III | 神片 | |

出土遺物属性表(2)

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標高 | 層位 | 基盤 | 被覆 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 111 | 12-5 I | 175 | 197 | 29.369 | III | 砂岩 | |
| 112 | 12-5 I | 85 | 195 | 29.313 | III | 剥片 | |
| 113 | 12-5 I | 72 | 194 | 29.350 | III | 剥片 | 有り |
| 114 | 12-5 I | 93 | 218 | 29.312 | III | 剥片 | |
| 115 | 12-5 I | 147 | 268 | 29.311 | III | 剥片 | 有り |
| 116 | 6-10 E | 49 | 259 | 29.371 | III | 剥片 | |
| 117 | 6-10 E | 84 | 280 | 29.329 | III | 剥片 | |
| 118 | 6-10 E | 12 | 341 | 29.406 | III | 剥片 | |
| 119 | 6-10 E | 38 | 334 | 29.347 | III | 砂岩 | |
| 120 | 6-10 E | 28 | 355 | 29.423 | III | 砂岩 | |
| 121 | 6-10 E | 7 | 367 | 29.380 | III | 剥片 | |
| 122 | 6-10 E | 18 | 379 | 29.383 | III | 砂岩 | 有り |
| 123 | 6-10 F | 112 | 5 | 29.290 | III | 剥片 | |
| 124 | 6-10 F | 186 | 54 | 29.227 | III | 剥片 | |
| 125 | 6-10 F | 146 | 73 | 29.251 | III | 剥片 | |
| 126 | 6-10 F | 110 | 135 | 29.271 | III | 剥片 | |
| 127 | 12-1 E | 380 | 205 | 29.387 | III | 剥片 | |
| 128 | 12-1 E | 366 | 291 | 29.437 | III | 剥片 | |
| 129 | 12-1 E | 150 | 353 | 29.525 | III | 剥片 | |
| 130 | 12-1 F | 393 | 165 | 29.375 | III | 砂岩 | |
| 131 | 12-1 F | 377 | 160 | 29.352 | III | 剥片 | |
| 132 | 12-1 F | 337 | 160 | 29.370 | III | 剥片 | |
| 133 | 12-1 F | 293 | 174 | 29.421 | III | 砂岩 | 有り |
| 134 | 12-1 F | 174 | 157 | 29.555 | III | 剥片 | |
| 135 | 12-1 E | 35 | 389 | 29.649 | III | 砂岩 | 有り |
| 136 | 12-2 F | 382 | 31 | 29.627 | III | 砂岩 | |
| 137 | 12-2 F | 365 | 56 | 29.651 | III | 剥片 | |
| 138 | 12-2 F | 375 | 67 | 29.611 | III | 剥片 | 有り |
| 139 | 12-2 F | 376 | 147 | 29.594 | III | 剥片 | |
| 140 | 12-2 F | 397 | 171 | 29.591 | III | 砂岩 | 有り |
| 141 | 12-2 F | 342 | 170 | 29.583 | III | 剥片 | |
| 142 | 12-2 F | 283 | 163 | 29.630 | III | 砂岩 | |
| 143 | 12-2 F | 237 | 191 | 29.599 | III | 剥片 | |
| 144 | 12-2 F | 183 | 186 | 29.636 | III | 剥片 | |
| 145 | 12-2 F | 260 | 97 | 29.636 | III | 剥片 | |
| 146 | 12-2 F | 247 | 97 | 29.644 | III | 砂岩 | |
| 147 | 12-3 F | 398 | 124 | 29.685 | III | 砂岩 | |
| 148 | 12-1 F | 190 | 229 | 29.601 | III | 剥片 | |
| 149 | 12-1 F | 391 | 203 | 29.621 | III | 剥片 | |
| 150 | 12-2 G | 286 | 2 | 29.583 | III | 剥片 | |
| 151 | 12-2 G | 66 | 143 | 29.422 | III | 剥片 | |
| 152 | 12-1 F | 62 | 298 | 29.496 | III | 砂岩 | |
| 153 | 12-1 F | 221 | 371 | 29.429 | III | 砂岩 | |
| 154 | 12-1 F | 241 | 391 | 29.426 | III | 砂岩 | |
| 155 | 12-1 G | 153 | 20 | 29.456 | III | 砂岩 | |
| 156 | 12-1 G | 115 | 16 | 29.453 | III | 剥片 | |
| 157 | 12-1 G | 89 | 36 | 29.514 | III | 砂岩 | |
| 158 | 12-1 G | 73 | 42 | 29.509 | III | 剥片 | |
| 159 | 12-1 G | 68 | 39 | 29.495 | III | 剥片 | |
| 160 | 12-1 G | 27 | 78 | 29.535 | III | 砂岩 | |
| 161 | 12-1 G | 119 | 85 | 29.450 | III | 剥片 | 有り |
| 162 | 12-1 G | 375 | 122 | 29.338 | III | 砂岩 | 有り |
| 163 | 12-1 G | 278 | 182 | 29.373 | III | 剥片 | |
| 164 | 12-1 G | 318 | 200 | 29.361 | III | 砂岩 | |
| 165 | 12-1 G | 336 | 259 | 29.337 | III | 砂岩 | |
| 166 | 6-10 F | 9 | 305 | 29.315 | III | 剥片 | |
| 167 | 6-10 F | 264 | 200 | 29.199 | III | 砂岩 | |

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標高 | 層位 | 基盤 | 被覆 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 168 | 6-10 F | 217 | 216 | 29.185 | III | 剥片 | |
| 169 | 6-10 F | 274 | 247 | 29.157 | III | 砂岩 | |
| 170 | 6-10 F | 272 | 272 | 29.135 | III | 砂岩 | |
| 171 | 6-10 F | 180 | 385 | 29.185 | III | 砂岩 | |
| 172 | 6-10 G | 256 | 140 | 29.112 | III | 剥片 | |
| 173 | 6-10 G | 280 | 173 | 29.066 | III | 剥片 | |
| 174 | 6-9 H | 290 | 39 | 29.738 | III | 剥片 | |
| 175 | 6-9 H | 229 | 41 | 29.751 | III | 剥片 | 有り |
| 176 | 12-3 F | 375 | 32 | 29.733 | III | 砂岩 | |
| 177 | 6-10 F | 177 | 262 | 29.206 | III | 砂岩 | |
| 178 | 12-5 G | 9 | 3 | 29.661 | III | 剥片 | 有り |
| 179 | 12-5 G | 18 | 19 | 29.621 | III | 砂岩 | |
| 180 | 12-5 G | 27 | 44 | 29.679 | III | 剥片 | |
| 181 | 12-5 H | 266 | 121 | 29.549 | III | 砂岩 | |
| 182 | 12-4 F | 67 | 346 | 29.563 | III | 剥片 | |
| 183 | 12-4 G | 29 | 43 | 29.542 | III | 剥片 | |
| 184 | 12-4 G | 30 | 73 | 29.545 | III | 剥片 | |
| 185 | 12-4 G | 42 | 79 | 29.533 | III | 砂岩 | |
| 186 | 12-4 G | 165 | 193 | 29.530 | III | 砂岩 | |
| 187 | 12-4 G | 292 | 58 | 29.536 | III | 砂岩 | |
| 188 | 12-4 G | 339 | 106 | 29.500 | III | 砂岩 | 有り |
| 189 | 12-4 G | 277 | 165 | 29.529 | III | 剥片 | |
| 190 | 12-4 G | 325 | 188 | 29.525 | III | 剥片 | |
| 191 | 12-4 G | 253 | 224 | 29.565 | III | 剥片 | |
| 192 | 12-4 G | 290 | 273 | 29.579 | III | 砂岩 | |
| 193 | 12-4 H | 25 | 67 | 29.542 | III | 剥片 | |
| 194 | 12-4 H | 299 | 171 | 29.496 | III | 剥片 | |
| 195 | 12-3 G | 37 | 0 | 29.466 | III | 剥片 | 有り |
| 196 | 12-3 G | 90 | 26 | 29.456 | III | 砂岩 | |
| 197 | 12-3 G | 122 | 31 | 29.455 | III | 砂岩 | |
| 198 | 12-3 G | 137 | 40 | 29.458 | III | 砂岩 | 有り |
| 199 | 12-3 G | 123 | 233 | 29.418 | III | 砂岩 | 有り |
| 200 | 12-3 G | 87 | 275 | 29.440 | III | 砂岩 | |
| 201 | 12-3 G | 45 | 293 | 29.453 | III | 砂岩 | |
| 202 | 12-3 G | 50 | 324 | 29.448 | III | 砂岩 | |
| 203 | 12-3 G | 297 | 321 | 29.416 | III | 砂岩 | |
| 204 | 12-3 G | 335 | 244 | 29.441 | III | 砂岩 | |
| 205 | 12-3 G | 290 | 380 | 29.381 | III | 砂岩 | |
| 206 | 12-3 H | 14 | 166 | 29.407 | III | 砂岩 | |
| 207 | 12-3 H | 330 | 89 | 29.385 | III | 砂岩 | |
| 208 | 12-3 H | 332 | 119 | 29.314 | III | 砂岩 | |
| 209 | 12-3 F | 255 | 365 | 29.491 | III | 砂岩 | |
| 210 | 12-3 F | 386 | 383 | 29.560 | III | 砂岩 | |
| 211 | 12-2 G | 94 | 218 | 29.385 | III | 砂岩 | |
| 212 | 12-2 G | 284 | 333 | 29.362 | III | 砂岩 | |
| 213 | 12-2 H | 83 | 76 | 29.284 | III | 砂岩 | |
| 214 | 12-2 H | 104 | 67 | 29.271 | III | 砂岩 | |
| 215 | 12-2 H | 97 | 85 | 29.249 | III | 砂岩 | |
| 216 | 12-2 H | 98 | 87 | 29.245 | III | 砂岩 | |
| 217 | 12-2 H | 177 | 141 | 29.214 | III | 砂岩 | 有り |
| 218 | 12-1 G | 268 | 283 | 29.347 | III | 砂岩 | |
| 219 | 12-1 H | 17 | 46 | 29.271 | III | 砂岩 | |
| 220 | 12-1 H | 110 | 9 | 29.312 | III | 砂岩 | |
| 221 | 12-1 H | 341 | 19 | 29.276 | III | 砂岩 | |
| 222 | 12-3 G | 36 | 229 | 29.466 | III | 砂岩 | |
| 223 | 12-3 G | 391 | 91 | 29.499 | III | 砂岩 | |
| 224 | 12-2 G | 289 | 326 | 29.395 | III | 砂岩 | |

出土遺物属性表(3)

| 番号 | グリット | E→W | S→N | 標高 | 層位 | 基種 | 被熱 | 番号 | グリット | E→W | S→N | 標高 | 層位 | 基種 | 被熱 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 225 | 12-3 F | 338 | 180 | 29.641 | III | 利片 | | 282 | 12-1 H | 367 | 272 | 29.175 | IV | 利片 | |
| 226 | 12-2 H | 54 | 354 | 29.246 | 漫乱 | 共生 | | 283 | 12-1 H | 356 | 276 | 29.207 | IV | 利片 | |
| 227 | 12-2 I | 130 | 52 | 29.212 | 漫乱 | 利片 | | 284 | 12-1 H | 350 | 280 | 29.177 | IV | 利片 | 有弓 |
| 228 | 12-2 I | 183 | 93 | 29.183 | 漫乱 | 利片 | | 285 | 12-1 H | 391 | 292 | 29.179 | IV | 利片 | |
| 229 | 12-2 I | 260 | 9 | 29.214 | III | 砂片 | | 286 | 12-1 H | 290 | 295 | 29.134 | III | 利片 | |
| 230 | 12-2 I | 293 | 197 | 29.154 | III | 砂片 | | 287 | 12-1 H | 283 | 310 | 29.151 | 漫乱 | 利片 | |
| 231 | 12-1 H | 112 | 221 | 29.264 | 漫乱 | 利片 | | 288 | 12-1 H | 281 | 322 | 29.146 | 漫乱 | 砂片 | |
| 232 | 12-1 H | 275 | 299 | 29.278 | III | 利片 | | 289 | 12-1 H | 325 | 81 | 29.031 | III | 砂片 | |
| 233 | 12-1 H | 326 | 256 | 29.263 | III | 利片 | | 290 | 12-1 H | 390 | 132 | 28.990 | III | 利片 | |
| 234 | 12-1 H | 385 | 261 | 29.254 | 漫乱 | 砂片 | | 291 | 6-10H | 190 | 332 | 29.126 | 漫乱 | 利片 | 有弓 |
| 235 | 12-1 H | 363 | 286 | 29.236 | 漫乱 | 利片 | | 292 | 6-10H | 90 | 337 | 29.142 | 漫乱 | 利片 | |
| 236 | 6-10H | 31 | 243 | 29.259 | III | 利片 | | 293 | 6-10 I | 42 | 28 | 29.084 | III | 利片 | 有弓 |
| 237 | 6-10H | 49 | 243 | 29.283 | III | 利片 | | 294 | 12-5 I | 126 | 251 | 29.287 | III | 利片 | |
| 238 | 6-10H | 59 | 322 | 29.199 | III | 利片 | | 295 | 12-5 I | 167 | 220 | 29.377 | III | 利片 | |
| 239 | 6-10H | 83 | 326 | 29.276 | 漫乱 | 利片 | | 296 | 12-5 I | 187 | 218 | 29.429 | III | 砂片 | |
| 240 | 6-10H | 234 | 306 | 29.044 | 漫乱 | 砂片 | | 297 | 12-5 I | 188 | 233 | 29.401 | 漫乱 | 砂片 | 有弓 |
| 241 | 6-10H | 273 | 287 | 29.024 | 漫乱 | 利片 | | 298 | 12-5 I | 256 | 268 | 29.454 | III | 砂片 | |
| 242 | 6-10H | 268 | 319 | 29.067 | III | 利片 | | 299 | 12-5 I | 270 | 227 | 29.449 | III | 利片 | |
| 243 | 6-10H | 195 | 268 | 29.050 | III | 利片 | | 300 | 12-5 I | 289 | 384 | 29.322 | 漫乱 | 利片 | |
| 244 | 12-1 I | 151 | 133 | 29.067 | III | 利片 | | 301 | 12-5 I | 330 | 340 | 29.318 | 漫乱 | 利片 | |
| 245 | 12-1 I | 177 | 168 | 29.052 | III | 利片 | | 302 | 12-5 I | 370 | 345 | 29.348 | 漫乱 | 利片 | |
| 246 | 12-1 I | 274 | 88 | 29.074 | III | 利片 | | 303 | 12-5 I | 350 | 367 | 29.351 | 漫乱 | 利片 | |
| 247 | 12-1 I | 324 | 142 | 29.052 | III | 利片 | | 304 | 12-4 I | 13 | 241 | 29.513 | III | 砂片 | |
| 248 | 12-1 I | 340 | 4 | 29.138 | III | 利片 | | 305 | 12-4 I | 8 | 255 | 29.501 | III | 砂片 | |
| 249 | 6-10H | 145 | 359 | 29.089 | III | 利片 | | 306 | 12-4 I | 19 | 320 | 29.433 | III | 砂片 | |
| 250 | 12-5 H | 225 | 263 | 29.555 | 漫乱 | 利片 | | 307 | 12-4 I | 125 | 340 | 29.447 | III | 利片 | |
| 251 | 12-5 H | 249 | 285 | 29.570 | III | 利片 | | 308 | 12-4 I | 144 | 288 | 29.499 | III | 砂片 | |
| 252 | 12-5 I | 25 | 151 | 29.210 | 漫乱 | 利片 | | 309 | 12-4 I | 222 | 360 | 29.421 | 漫乱 | 砂片 | 有弓 |
| 253 | 12-4 I | 29 | 12 | 29.533 | 漫乱 | 利片 | | 310 | 12-4 I | 225 | 383 | 29.435 | 漫乱 | 利片 | |
| 254 | 12-4 I | 30 | 54 | 29.540 | III | 砂片 | | 311 | 12-4 I | 340 | 326 | 29.436 | 漫乱 | 砂片 | |
| 255 | 12-4 I | 40 | 62 | 29.520 | III | 利片 | 有弓 | 312 | 12-3 I | 42 | 220 | 29.429 | 漫乱 | 利片 | |
| 256 | 12-5 I | 268 | 158 | 29.422 | III | 砂片 | | 313 | 12-3 I | 58 | 267 | 29.403 | 漫乱 | 利片 | |
| 257 | 12-3 H | 134 | 328 | 29.359 | III | 砂片 | | 314 | 12-3 I | 212 | 255 | 29.332 | 漫乱 | 利片 | |
| 258 | 12-3 I | 94 | 39 | 29.415 | 漫乱 | 利片 | | 315 | 12-3 I | 292 | 277 | 29.318 | 漫乱 | 利片 | |
| 259 | 12-3 I | 73 | 75 | 29.367 | 漫乱 | 利片 | | 316 | 12-3 I | 257 | 327 | 29.312 | III | 利片 | |
| 260 | 12-3 I | 143 | 168 | 29.343 | 漫乱 | 利片 | | 317 | 12-2 I | 129 | 202 | 29.244 | III | 利片 | |
| 261 | 12-3 H | 392 | 294 | 29.266 | III | 利片 | | 318 | 12-2 I | 120 | 306 | 29.230 | III | 砂片 | |
| 262 | 12-3 I | 383 | 153 | 29.260 | III | 利片 | | 319 | 12-2 I | 195 | 224 | 29.217 | 漫乱 | 利片 | |
| 263 | 12-3 I | 378 | 166 | 29.189 | 漫乱 | 利片 | | 320 | 12-2 I | 209 | 245 | 29.178 | III | 利片 | |
| 264 | 12-2 H | 82 | 365 | 29.200 | 漫乱 | 利片 | | 321 | 12-2 I | 195 | 288 | 29.205 | III | 砂片 | |
| 265 | 12-2 H | 191 | 315 | 29.164 | III | 利片 | | 322 | 12-2 I | 219 | 284 | 29.190 | III | 利片 | |
| 266 | 12-2 H | 156 | 395 | 29.162 | III | 利片 | 有弓 | 323 | 12-2 I | 237 | 278 | 29.211 | III | 利片 | 有弓 |
| 267 | 12-1 H | 89 | 248 | 29.183 | III | 砂片 | | 324 | 12-2 I | 215 | 343 | 29.301 | 漫乱 | 利片 | |
| 268 | 12-1 H | 82 | 278 | 29.138 | III | 砂片 | | 325 | 12-2 I | 240 | 268 | 29.185 | 漫乱 | 利片 | |
| 269 | 12-1 I | 194 | 26 | 29.059 | 漫乱 | 利片 | | 326 | 12-2 I | 250 | 397 | 29.135 | III | 砂片 | |
| 270 | 12-2 H | 380 | 187 | 29.049 | 漫乱 | 利片 | | 327 | 12-2 I | 353 | 247 | 29.153 | 漫乱 | 利片 | |
| 271 | 12-4 I | 127 | 51 | 29.482 | III | 利片 | | 328 | 12-1 I | 90 | 361 | 29.076 | 漫乱 | 利片 | |
| 272 | 12-4 H | 330 | 332 | 29.443 | 漫乱 | 砂片 | | 329 | 12-1 I | 122 | 249 | 29.068 | III | 利片 | |
| 273 | 12-2 H | 185 | 260 | 29.226 | III | 利片 | | 330 | 12-1 I | 139 | 273 | 29.056 | III | 利片 | |
| 274 | 6-9 H | 213 | 325 | 28.484 | 漫乱 | 利片 | | 331 | 12-1 I | 189 | 343 | 29.050 | III | 利片 | |
| 275 | 6-9 I | 30 | 182 | 28.779 | 漫乱 | 利片 | | 332 | 12-1 I | 194 | 357 | 29.055 | III | 砂片 | |
| 276 | 6-8 H | 15 | 284 | 28.626 | III | 利片 | 有弓 | 333 | 12-1 I | 224 | 325 | 29.046 | III | 利片 | |
| 277 | 6-8 H | 54 | 275 | 28.611 | III | 利片 | | 334 | 12-1 I | 215 | 378 | 29.026 | 漫乱 | 利片 | |
| 278 | 6-8 H | 37 | 383 | 28.557 | III | 利片 | 有弓 | 335 | 6-10 I | 160 | 387 | 28.808 | 漫乱 | 利片 | |
| 279 | 12-1 H | 306 | 198 | 29.233 | III | 利片 | | 336 | 6-9 I | 184 | 257 | 28.673 | III | 利片 | |
| 280 | 12-1 H | 326 | 295 | 29.244 | 漫乱 | 利片 | | 337 | 12-5 I | 163 | 320 | 29.135 | 漫乱 | 利片 | |
| 281 | 12-1 H | 348 | 252 | 29.183 | 漫乱 | 利片 | | 338 | 12-5 I | 185 | 339 | 29.140 | 漫乱 | 利片 | |

出土遺物属性表(4)

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標高 | 層位 | 器種 | 質地 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 339 | 12-5 I | 209 | 330 | 29.168 | 擾乱 | 剝片 | |
| 340 | 12-5 I | 247 | 353 | 29.192 | 擾乱 | 剝片 | |
| 341 | 12-5 I | 338 | 333 | 29.288 | 擾乱 | 剝片 | |
| 342 | 12-5 I | 365 | 348 | 29.295 | 擾乱 | 剝片 | |
| 343 | 12-4 I | 54 | 262 | 29.415 | III | 剝片 | |
| 344 | 12-3 I | 178 | 398 | 29.286 | III | 剝片 | |
| 345 | 12-3 I | 210 | 266 | 29.300 | 擾乱 | 剝片 | |
| 346 | 12-3 I | 293 | 297 | 29.368 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 347 | 12-3 I | 218 | 272 | 29.306 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 348 | 12-3 I | 257 | 220 | 29.277 | 擾乱 | 剝片 | |
| 349 | 12-2 I | 117 | 352 | 29.145 | 擾乱 | 剝片 | |
| 350 | 12-1 I | 117 | 252 | 29.013 | 擾乱 | 剝片 | |
| 351 | 12-1 I | 152 | 286 | 29.021 | III | 鉗片 | |
| 352 | 6-10 E | 166 | 290 | 29.251 | 擾乱 | 剝片 | |
| 353 | 6-10 E | 30 | 270 | 29.272 | 擾乱 | 剝片 | |
| 354 | 6-10 E | 14 | 310 | 29.278 | 擾乱 | 剝片 | |
| 355 | 6-10 E | 34 | 360 | 29.296 | 擾乱 | 剝片 | |
| 356 | 12-1 E | 317 | 352 | 29.339 | IV | 鉗片 | |
| 357 | 12-2 E | 119 | 231 | 29.648 | IV | 鉗片 | 有り |
| 358 | 12-2 E | 110 | 225 | 29.626 | IV | 鉗片 | |
| 359 | 12-2 E | 114 | 212 | 29.614 | 擾乱 | 剝片 | |
| 360 | 12-2 E | 91 | 212 | 29.682 | IV | 剝片 | |
| 361 | 12-2 E | 85 | 203 | 29.656 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 362 | 6-10 F | 208 | 121 | 29.181 | 擾乱 | 剝片 | |
| 363 | 6-10 F | 180 | 147 | 29.191 | 擾乱 | 剝片 | |
| 364 | 6-10 F | 31 | 13 | 29.285 | 擾乱 | 剝片 | |
| 365 | 12-1 F | 399 | 19 | 29.331 | IV | 鉗片 | |
| 366 | 12-1 F | 16 | 379 | 29.449 | III | 鉗片 | |
| 367 | 12-2 F | 254 | 266 | 29.527 | 擾乱 | 剝片 | |
| 368 | 12-2 F | 151 | 303 | 29.569 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 369 | 12-2 F | 29 | 280 | 29.509 | 擾乱 | 剝片 | |
| 370 | 12-3 F | 388 | 43 | 29.546 | 擾乱 | 剝片 | |
| 371 | 12-3 F | 375 | 59 | 29.617 | IV | 剝片 | |
| 372 | 6-9 G | 21 | 28 | 29.931 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 373 | 6-9 G | 383 | 146 | 28.921 | 擾乱 | 剝片 | |
| 374 | 12-1 G | 300 | 352 | 29.346 | 擾乱 | 剝片 | |
| 375 | 12-1 G | 228 | 10 | 29.351 | 擾乱 | 剝片 | |
| 376 | 12-1 G | 146 | 22 | 29.386 | 擾乱 | 剝片 | |
| 377 | 12-2 G | 385 | 66 | 29.432 | 擾乱 | 剝片 | |
| 378 | 12-2 G | 248 | 36 | 29.491 | IV | 鉗片 | |
| 379 | 12-2 G | 110 | 48 | 29.483 | 擾乱 | 鉗片 | 有り |
| 380 | 12-2 G | 17 | 121 | 29.400 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 381 | 12-2 F | 150 | 304 | 29.552 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 382 | 12-1 G | 90 | 80 | 29.397 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 383 | 12-1 I | 135 | 376 | 29.007 | III | 剝片 | |
| 384 | 12-1 I | 134 | 391 | 28.999 | III | 剝片 | |
| 385 | 6-10 I | 90 | 336 | 28.824 | III | 剝片 | |
| 386 | 6-10 I | 140 | 321 | 28.847 | III | 剝片 | |
| 387 | 12-3 I | 361 | 230 | 29.211 | III | 剝片 | |
| 388 | 12-5 G | 325 | 275 | 29.516 | 擾乱 | 剝片 | |
| 389 | 12-4 G | 364 | 224 | 29.434 | IV | 剝片 | |
| 390 | 12-4 H | 275 | 147 | 29.395 | 擾乱 | 剝片 | |
| 391 | 12-3 G | 95 | 71 | 29.385 | IV | 鉗片 | |
| 392 | 12-3 G | 39 | 289 | 29.433 | 擾乱 | 剝片 | |
| 393 | 12-3 G | 92 | 353 | 29.374 | IV | 剝片 | |
| 394 | 12-3 G | 204 | 318 | 29.361 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 395 | 12-3 H | 192 | 182 | 29.275 | 擾乱 | 剝片 | |

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標高 | 層位 | 器種 | 質地 |
|-----|---------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 396 | 12-3 II | 193 | 184 | 29.284 | 擾乱 | 剝片 | |
| 397 | 12-2 H | 124 | 86 | 29.184 | IV | 鉗片 | |
| 398 | 12-2 II | 99 | 129 | 29.169 | IV | 鉗片 | |
| 399 | 12-2 G | 336 | 264 | 29.415 | 擾乱 | 剝片 | |
| 400 | 12-1 G | 106 | 324 | 29.291 | IV | 剝片 | |
| 401 | 12-1 G | 360 | 224 | 29.254 | 擾乱 | 剝片 | |
| 402 | 12-1 G | 360 | 279 | 29.242 | 擾乱 | 剝片 | |
| 403 | 12-1 H | 298 | 57 | 29.244 | IV | 剝片 | |
| 404 | 12-1 H | 742 | 182 | 29.189 | 擾乱 | 剝片 | |
| 405 | 6-10 G | 303 | 361 | 28.925 | 擾乱 | 剝片 | |
| 406 | 6-10 H | 183 | 69 | 29.056 | IV | 剝片 | |
| 407 | 6-10 H | 130 | 267 | 29.019 | 擾乱 | 剝片 | |
| 408 | 6-9 II | 132 | 230 | 28.729 | 擾乱 | 剝片 | |
| 409 | 6-9 II | 150 | 226 | 28.663 | IV | 鉗片 | |
| 410 | 6-9 H | 188 | 311 | 28.625 | 擾乱 | 剝片 | |
| 411 | 12-2 H | 280 | 332 | 29.070 | 擾乱 | 剝片 | |
| 412 | 12-2 H | 280 | 333 | 29.066 | 擾乱 | 鉗片 | |
| 413 | 12-2 H | 283 | 332 | 29.065 | IV | 鉗片 | |
| 414 | 12-2 H | 310 | 383 | 29.026 | IV | 剝片 | |
| 415 | 12-2 H | 90 | 304 | 29.140 | 擾乱 | 剝片 | |
| 416 | 12-3 H | 87 | 246 | 29.314 | 擾乱 | 剝片 | |
| 417 | 12-5 I | 35 | 337 | 28.909 | 擾乱 | 剝片 | |
| 418 | 12-5 I | 32 | 326 | 28.899 | 擾乱 | 剝片 | |
| 419 | 12-5 I | 270 | 3 | 29.518 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 420 | 12-4 I | 70 | 242 | 29.358 | 擾乱 | 剝片 | |
| 421 | 12-4 I | 123 | 289 | 29.354 | IV | 剝片 | |
| 422 | 12-4 I | 296 | 328 | 29.321 | IV | 鉗片 | |
| 423 | 12-4 I | 378 | 311 | 29.303 | 擾乱 | 剝片 | |
| 424 | 12-3 G | 41 | 285 | 29.396 | 擾乱 | 剝片 | |
| 425 | 12-2 I | 359 | 186 | 29.006 | 擾乱 | 剝片 | |
| 426 | 12-2 I | 274 | 145 | 29.017 | 擾乱 | 剝片 | |
| 427 | 12-2 I | 240 | 198 | 29.054 | IV | 剝片 | |
| 428 | 12-2 I | 206 | 2 | 29.067 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 429 | 12-2 I | 266 | 193 | 29.048 | 擾乱 | 剝片 | |
| 430 | 12-2 I | 43 | 347 | 29.095 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 431 | 12-3 I | 230 | 269 | 29.231 | 擾乱 | 剝片 | |
| 432 | 12-2 I | 336 | 389 | 29.001 | 擾乱 | 剝片 | |
| 433 | 6-8 J | 392 | 314 | 28.137 | 擾乱 | 剝片 | |
| 434 | 6-10 J | 198 | 198 | 28.704 | 擾乱 | 剝片 | |
| 435 | 6-10 J | 140 | 65 | 28.755 | III | 剝片 | 有り |
| 436 | 6-10 J | 145 | 207 | 28.278 | III | 剝片 | |
| 437 | 6-10 J | 193 | 390 | 28.765 | III | 鉗片 | |
| 438 | 12-1 J | 347 | 362 | 28.864 | 擾乱 | 剝片 | |
| 439 | 12-1 J | 297 | 389 | 28.897 | III | 剝片 | |
| 440 | 12-1 J | 290 | 383 | 28.929 | III | 鉗片 | |
| 441 | 12-1 J | 284 | 383 | 28.932 | III | 鉗片 | |
| 442 | 12-1 J | 281 | 256 | 28.985 | III | 鉗片 | |
| 443 | 12-1 J | 237 | 188 | 28.968 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 444 | 12-1 J | 235 | 134 | 28.969 | III | 剝片 | |
| 445 | 12-1 J | 330 | 128 | 28.955 | III | 剝片 | |
| 446 | 12-1 J | 195 | 307 | 28.992 | 擾乱 | 剝片 | 有り |
| 447 | 12-1 J | 72 | 366 | 29.037 | III | 剝片 | |
| 448 | 12-1 J | 51 | 394 | 28.973 | 擾乱 | 剝片 | |
| 449 | 12-1 H | 48 | 378 | 28.995 | IV | 剝片 | |
| 450 | 12-2 J | 365 | 362 | 29.069 | 擾乱 | 剝片 | |
| 451 | 12-2 J | 324 | 298 | 28.955 | III | 剝片 | |
| 452 | 12-2 J | 325 | 296 | 28.964 | 擾乱 | 剝片 | 有り |

出土遺物属性表(5)

| 番号 | グリッド | E→W | S→N | 標高 | 地質 | 断面 | 地熱 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 450 | 12-2 J | 322 | 314 | 29.080 | III | 鉄片 | 有り |
| 454 | 12-2 J | 320 | 358 | 29.055 | III | 鉄片 | |
| 455 | 12-2 J | 246 | 252 | 29.058 | III | 鉄片 | |
| 456 | 12-2 J | 212 | 311 | 29.116 | III | 鉄片 | |
| 457 | 12-2 J | 212 | 144 | 29.073 | III | 鉄片 | |
| 458 | 12-2 J | 254 | 2 | 29.110 | III | 鉄片 | |
| 459 | 12-2 J | 46 | 155 | 29.156 | III | 鉄片 | |
| 460 | 12-2 J | 90 | 214 | 29.089 | 陶器 | 鉄片 | |
| 461 | 12-3 J | 298 | 342 | 29.160 | III | 鉄片 | |
| 462 | 12-3 J | 210 | 359 | 29.117 | 陶器 | 鉄片 | |
| 463 | 12-3 J | 328 | 167 | 29.147 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 464 | 12-3 J | 311 | 150 | 29.160 | III | 鉄片 | |
| 465 | 12-3 J | 295 | 103 | 29.186 | III | 鉄片 | |
| 466 | 12-3 J | 268 | 14 | 29.231 | 陶器 | 鉄片 | |
| 467 | 12-3 J | 203 | 73 | 29.284 | III | 鉄片 | |
| 468 | 12-3 J | 176 | 58 | 29.303 | III | 鉄片 | |
| 469 | 12-3 J | 196 | 129 | 29.236 | III | 鉄片 | |
| 470 | 12-3 J | 137 | 122 | 29.246 | 陶器 | 鉄片 | |
| 471 | 12-3 J | 126 | 155 | 29.306 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 472 | 12-3 J | 109 | 63 | 29.329 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 473 | 12-3 J | 80 | 53 | 29.366 | 陶器 | 鉄片 | |
| 474 | 12-3 J | 89 | 33 | 29.310 | 陶器 | 鉄片 | |
| 475 | 12-3 J | 112 | 14 | 29.320 | III | 鉄片 | |
| 476 | 12-3 J | 43 | 57 | 29.323 | 陶器 | 鉄片 | |
| 477 | 12-3 J | 11 | 219 | 29.256 | 陶器 | 鉄片 | |
| 478 | 12-3 J | 58 | 289 | 29.219 | 陶器 | 鉄片 | |
| 479 | 12-4 J | 249 | 230 | 29.210 | III | 鉄片 | |
| 480 | 12-4 J | 229 | 222 | 29.210 | III | 鉄片 | |
| 481 | 12-4 J | 306 | 43 | 29.380 | 陶器 | 鉄片 | |
| 482 | 12-4 J | 215 | 130 | 29.256 | III | 鉄片 | |
| 483 | 12-4 J | 136 | 5 | 29.397 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 484 | 12-4 J | 112 | 17 | 29.388 | 陶器 | 鉄片 | |
| 485 | 12-4 J | 136 | 46 | 29.340 | 陶器 | 鉄片 | |
| 486 | 12-4 J | 6 | 115 | 29.265 | 陶器 | 鉄片 | |
| 487 | 12-4 J | 22 | 219 | 29.119 | III | 鉄片 | |
| 488 | 12-4 J | 132 | 207 | 29.247 | 陶器 | 鉄片 | |
| 489 | 12-4 J | 149 | 244 | 29.204 | 陶器 | 鉄片 | |
| 490 | 12-4 J | 144 | 242 | 29.206 | 陶器 | 鉄片 | |
| 491 | 12-4 J | 166 | 246 | 29.219 | 陶器 | 鉄片 | |
| 492 | 12-4 J | 165 | 263 | 29.219 | 陶器 | 鉄片 | |
| 493 | 12-4 J | 182 | 285 | 29.201 | 陶器 | 鉄片 | |
| 494 | 12-4 J | 184 | 323 | 29.114 | 陶器 | 鉄片 | |
| 495 | 12-5 J | 360 | 400 | 28.960 | 陶器 | 鉄片 | |
| 496 | 12-5 J | 220 | 300 | 28.837 | 陶器 | 鉄片 | |
| 497 | 12-5 J | 364 | 212 | 29.097 | III | 鉄片 | |
| 498 | 12-5 J | 285 | 170 | 29.065 | 陶器 | 鉄片 | |
| 499 | 12-5 J | 273 | 85 | 29.147 | 陶器 | 鉄片 | |
| 500 | 12-5 J | 255 | 69 | 29.155 | 陶器 | 鉄片 | |
| 501 | 12-5 J | 170 | 103 | 29.034 | III | 鉄片 | |
| 502 | 13-1 A | 254 | 19 | 28.946 | 陶器 | 鉄片 | |
| 503 | 13-1 A | 13 | 24 | 28.978 | 陶器 | 鉄片 | |
| 504 | 13-2 A | 252 | 0 | 29.060 | III | 鉄片 | 有り |
| 505 | 13-2 A | 263 | 25 | 29.059 | 陶器 | 鉄片 | |
| 506 | 13-2 A | 272 | 33 | 29.060 | 陶器 | 鉄片 | |
| 507 | 13-2 A | 269 | 38 | 29.063 | 陶器 | 鉄片 | |
| 508 | 13-2 A | 276 | 40 | 29.061 | 陶器 | 鉄片 | |
| 509 | 13-2 A | 222 | 20 | 29.077 | III | 鉄片 | |

| 番号 | グリッド | E→W | S→N | 標高 | 地質 | 岩相 | 地熱 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|
| 510 | 13-2 A | 214 | 40 | 29.053 | 陶器 | 鉄片 | |
| 511 | 13-2 A | 267 | 46 | 29.102 | 陶器 | 鉄片 | |
| 512 | 13-2 A | 226 | 52 | 29.056 | 陶器 | 鉄片 | |
| 513 | 13-2 A | 242 | 48 | 29.057 | 陶器 | 鉄片 | |
| 514 | 13-2 A | 279 | 82 | 29.043 | 陶器 | 鉄片 | |
| 515 | 13-2 A | 280 | 104 | 29.037 | 陶器 | 鉄片 | |
| 516 | 13-2 A | 295 | 109 | 29.043 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 517 | 13-2 A | 298 | 155 | 29.056 | 陶器 | 鉄片 | |
| 518 | 13-2 A | 337 | 183 | 28.974 | 陶器 | 鉄片 | |
| 519 | 13-2 A | 300 | 182 | 29.017 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 520 | 13-2 A | 224 | 170 | 29.093 | 陶器 | 鉄片 | |
| 521 | 13-2 A | 220 | 170 | 29.090 | 陶器 | 鉄片 | |
| 522 | 13-2 A | 210 | 188 | 29.086 | 陶器 | 鉄片 | |
| 523 | 13-2 A | 228 | 193 | 29.056 | 陶器 | 鉄片 | |
| 524 | 13-2 A | 226 | 200 | 29.048 | 陶器 | 鉄片 | |
| 525 | 13-2 A | 253 | 204 | 29.033 | III | 鉄片 | 有り |
| 526 | 13-2 A | 239 | 211 | 29.043 | III | 鉄片 | |
| 527 | 13-2 A | 253 | 249 | 29.040 | III | 鉄片 | 有り |
| 528 | 13-2 A | 240 | 247 | 29.067 | 陶器 | 鉄片 | 有り |
| 529 | 13-2 A | 220 | 236 | 29.077 | 陶器 | 鉄片 | |
| 530 | 13-2 A | 226 | 277 | 29.084 | 陶器 | 鉄片 | |
| 531 | 13-2 A | 249 | 369 | 29.036 | 陶器 | 鉄片 | |
| 532 | 13-2 A | 228 | 367 | 29.014 | 陶器 | 鉄片 | |
| 533 | 13-2 A | 188 | 238 | 29.006 | 陶器 | 鉄片 | |
| 534 | 13-2 A | 94 | 385 | 29.066 | 陶器 | 鉄片 | |
| 535 | 13-2 A | 155 | 260 | 29.081 | 陶器 | 鉄片 | |
| 536 | 13-2 A | 197 | 225 | 29.102 | 陶器 | 鉄片 | |
| 537 | 13-2 A | 183 | 219 | 29.067 | 陶器 | 鉄片 | |
| 538 | 13-2 A | 190 | 81 | 29.046 | III | 鉄片 | |
| 539 | 13-2 A | 140 | 212 | 29.095 | III | 鉄片 | |
| 540 | 13-2 A | 77 | 315 | 29.052 | III | 鉄片 | |
| 541 | 13-2 A | 74 | 218 | 29.091 | III | 鉄片 | |
| 542 | 13-2 A | 72 | 210 | 29.097 | III | 鉄片 | |
| 543 | 13-2 A | 70 | 205 | 29.085 | 陶器 | 鉄片 | |
| 544 | 13-2 A | 188 | 187 | 29.088 | 陶器 | 鉄片 | |
| 545 | 13-2 A | 169 | 177 | 29.057 | 陶器 | 鉄片 | |
| 546 | 13-2 A | 134 | 183 | 29.065 | III | 鉄片 | |
| 547 | 13-2 A | 126 | 190 | 29.120 | 陶器 | 鉄片 | |
| 548 | 13-2 A | 181 | 158 | 29.060 | III | 鉄片 | |
| 549 | 13-2 A | 194 | 135 | 29.055 | III | 鉄片 | |
| 550 | 13-2 A | 176 | 135 | 29.107 | 陶器 | 鉄片 | |
| 551 | 13-2 A | 172 | 139 | 29.059 | 陶器 | 鉄片 | |
| 552 | 13-2 A | 150 | 127 | 29.104 | III | 鉄片 | |
| 553 | 13-2 A | 143 | 129 | 29.082 | III | 鉄片 | |
| 554 | 13-2 A | 140 | 122 | 29.071 | III | 鉄片 | |
| 555 | 13-2 A | 181 | 115 | 29.059 | III | 鉄片 | |
| 556 | 13-2 A | 196 | 102 | 29.087 | 陶器 | 鉄片 | |
| 557 | 13-2 A | 199 | 100 | 29.076 | 陶器 | 鉄片 | |
| 558 | 13-2 A | 198 | 96 | 29.074 | 陶器 | 鉄片 | |
| 559 | 13-2 A | 168 | 94 | 29.063 | 陶器 | 鉄片 | |
| 560 | 13-2 A | 186 | 74 | 29.122 | 陶器 | 鉄片 | |
| 561 | 13-2 A | 142 | 66 | 29.083 | III | 鉄片 | |
| 562 | 13-2 A | 121 | 77 | 29.171 | 陶器 | 鉄片 | |
| 563 | 13-2 A | 125 | 55 | 29.143 | III | 鉄片 | |
| 564 | 13-2 A | 96 | 55 | 29.116 | III | 鉄片 | 有り |
| 565 | 13-2 A | 92 | 69 | 29.108 | III | 鉄片 | |
| 566 | 13-2 A | 59 | 74 | 29.159 | III | 鉄片 | |

出土遺物属性表(6)

| 番号 | アリット | E→W | S→N | 標高 | 層位 | 器種 | 被熱 |
|-----|--------|-----|-----|--------|----|-------|----|
| 567 | 13-2 A | 47 | 73 | 29.105 | 田 | 鉢片 | |
| 568 | 13-2 A | 39 | 76 | 29.105 | 田 | 鉢片 | |
| 569 | 13-2 A | 1 | 49 | 29.122 | 田 | 鉢片 | |
| 570 | 13-2 A | 75 | 104 | 29.090 | 田 | 鉢片 | |
| 571 | 13-2 A | 85 | 67 | 29.105 | 田 | 鉢片 | |
| 572 | 13-2 A | 45 | 171 | 29.092 | 擾乱 | 鉢片 有り | |
| 573 | 13-2 A | 18 | 174 | 29.102 | 田 | 鉢片 | |
| 574 | 13-2 A | 7 | 137 | 29.120 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 575 | 13-2 A | 140 | 2 | 29.076 | 田 | 鉢片 | |
| 576 | 13-2 A | 196 | 5 | 29.072 | 田 | 鉢片 | |
| 577 | 13-2 A | 193 | 24 | 29.074 | 田 | 鉢片 | |
| 578 | 13-3 A | 386 | 82 | 29.107 | 田 | 鉢片 | |
| 579 | 13-3 A | 360 | 146 | 29.135 | 田 | 鉢片 | |
| 580 | 13-3 A | 267 | 117 | 29.100 | 田 | 鉢片 | |
| 581 | 13-3 A | 349 | 130 | 29.078 | 田 | 鉢片 | |
| 582 | 13-2 B | 1 | 4 | 29.059 | 田 | 鉢片 | |
| 583 | 13-3 A | 149 | 15 | 29.132 | 田 | 鉢片 | |
| 584 | 13-3 A | 14 | 137 | 29.117 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 585 | 13-3 A | 170 | 193 | 29.123 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 586 | 13-3 A | 114 | 230 | 29.087 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 587 | 13-3 A | 98 | 299 | 29.076 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 588 | 13-3 A | 96 | 340 | 29.054 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 589 | 13-4 A | 382 | 242 | 29.091 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 590 | 13-4 A | 356 | 333 | 29.066 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 591 | 13-4 A | 287 | 190 | 29.031 | 田 | 鉢片 | |
| 592 | 13-4 A | 213 | 64 | 29.095 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 593 | 13-4 A | 51 | 32 | 29.051 | 田 | 鉢片 | |
| ** | 13-4 A | 3 | 50 | 28.892 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 595 | 13-4 A | 190 | 308 | 28.872 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 596 | 13-4 A | 326 | 112 | 28.705 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 597 | 13-4 A | 395 | 260 | 28.544 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 598 | 7-10 A | 33 | 61 | 28.789 | 田 | 鉢片 | |
| 599 | 7-10 A | 306 | 160 | 28.650 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 600 | 7-9 A | 359 | 151 | 28.441 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 601 | 7-9 A | 370 | 141 | 28.429 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 602 | 7-8 A | 280 | 247 | 28.274 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 603 | 7-10 B | 161 | 136 | 28.791 | 田 | 鉢片 | |
| 604 | 7-10 B | 258 | 175 | 28.734 | 田 | 鉢片 | |
| 605 | 7-10 B | 319 | 255 | 28.628 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 606 | 7-10 B | 268 | 312 | 28.647 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 607 | 7-10 B | 183 | 277 | 28.675 | 田 | 鉢片 | |
| 608 | 7-10 A | 353 | 47 | 28.643 | 田 | 鉢片 | |
| 609 | 6-10 J | 90 | 340 | 28.797 | 田 | 鉢片 有り | |
| 610 | 13-1 B | 66 | 14 | 28.916 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 611 | 13-1 B | 68 | 14 | 28.934 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 612 | 13-1 B | 114 | 44 | 28.301 | 田 | 鉢片 | |
| 613 | 13-1 B | 45 | 154 | 28.867 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 614 | 13-1 B | 31 | 185 | 28.884 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 615 | 13-2 A | 134 | 376 | 29.066 | 田 | 鉢片 | |
| 616 | 13-2 A | 239 | 384 | 28.985 | 田 | 鉢片 | |
| 617 | 13-2 B | 290 | 27 | 29.056 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 618 | 13-2 B | 191 | 87 | 28.989 | 田 | 鉢片 | |
| 619 | 13-2 B | 197 | 97 | 28.986 | 田 | 鉢片 | |
| 620 | 13-2 B | 188 | 150 | 28.969 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 621 | 13-2 B | 225 | 193 | 28.753 | 田 | 鉢片 | |
| 622 | 13-2 B | 337 | 209 | 28.154 | 擾乱 | 鉢片 有り | |
| 623 | 13-2 B | 8 | 21 | 29.074 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 624 | 13-2 B | 43 | 17 | 29.053 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 625 | 13-2 B | 32 | 36 | 29.037 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 626 | 13-2 B | 72 | 109 | 29.060 | 田 | 鉢片 | |
| 627 | 13-3 B | 378 | 6 | 29.036 | 田 | 鉢片 | |
| 628 | 13-3 B | 388 | 23 | 29.048 | 田 | 鉢片 | |
| 629 | 13-3 B | 344 | 46 | 29.029 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 630 | 13-3 C | 339 | 167 | 28.957 | 田 | 鉢片 | |
| 631 | 13-2 B | 353 | 229 | 28.977 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 632 | 13-3 B | 190 | 215 | 28.849 | 擾乱 | 鉢片 有り | |
| 633 | 13-3 B | 265 | 308 | 28.761 | 田 | 鉢片 | |
| 634 | 13-3 C | 198 | 162 | 28.417 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 635 | 13-2 C | 177 | 83 | 28.748 | 田 | 鉢片 | |
| 636 | 13-2 B | 386 | 32 | 28.977 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 637 | 13-1 C | 363 | 105 | 28.680 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 638 | 7-10 D | 214 | 171 | 28.415 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 639 | 12-5 J | 110 | 100 | 28.569 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 640 | 12-5 J | 81 | 384 | 28.522 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 641 | 12-5 J | 78 | 384 | 28.517 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 642 | 13-5 A | 144 | 76 | 28.476 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 643 | 13-5 A | 196 | 78 | 28.498 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 644 | 13-5 A | 176 | 101 | 28.488 | 田 | 鉢片 | |
| 645 | 13-5 A | 255 | 157 | 28.384 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 646 | 13-5 A | 312 | 198 | 28.418 | 田 | 鉢片 | |
| 647 | 13-5 A | 328 | 186 | 28.456 | 田 | 鉢片 | |
| 648 | 13-5 A | 363 | 260 | 28.455 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 649 | 13-5 A | 358 | 253 | 28.449 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 650 | 13-5 A | 317 | 214 | 28.295 | 田 | 鉢片 有り | |
| 651 | 13-5 A | 222 | 294 | 28.236 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 652 | 13-5 A | 208 | 281 | 28.234 | 田 | 鉢片 | |
| 653 | 13-5 A | 200 | 284 | 28.250 | 田 | 鉢片 | |
| 654 | 13-5 A | 178 | 312 | 28.201 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 655 | 13-3 C | 57 | 338 | 28.078 | 田 | 鉢片 有り | |
| 656 | 12-6 G | 310 | 91 | 29.574 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 657 | 12-6 G | 337 | 111 | 29.474 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 658 | 12-6 G | 314 | 133 | 29.586 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 659 | 12-6 G | 358 | 152 | 29.568 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 660 | 12-6 G | 384 | 364 | 29.552 | 田 | 鉢片 | |
| 661 | 12-6 H | 339 | 74 | 29.562 | 田 | 鉢片 | |
| 662 | 12-6 H | 346 | 92 | 29.537 | 田 | 鉢片 | |
| 663 | 12-6 H | 330 | 95 | 29.496 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 664 | 12-6 H | 313 | 82 | 29.470 | 田 | 鉢片 | |
| 665 | 12-6 H | 311 | 82 | 29.510 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 666 | 12-6 H | 300 | 85 | 29.479 | 田 | 鉢片 | |
| 667 | 12-6 H | 280 | 74 | 29.445 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 668 | 12-6 H | 316 | 163 | 29.488 | 田 | 鉢片 | |
| 669 | 12-6 H | 283 | 167 | 29.414 | 田 | 鉢片 | |
| 670 | 12-6 H | 283 | 111 | 29.433 | 田 | 鉢片 | |
| 671 | 12-6 H | 306 | 118 | 29.543 | 田 | 鉢片 | |
| 672 | 12-6 H | 328 | 124 | 29.450 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 673 | 12-6 H | 317 | 135 | 29.450 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 674 | 12-6 H | 317 | 137 | 29.475 | 田 | 鉢片 | |
| 675 | 12-6 H | 366 | 140 | 29.444 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 676 | 12-6 H | 317 | 157 | 29.507 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 677 | 12-6 H | 240 | 51 | 29.396 | 田 | 鉢片 | |
| 678 | 12-6 H | 256 | 72 | 29.343 | 田 | 鉢片 | |
| 679 | 12-6 H | 233 | 93 | 29.352 | 擾乱 | 鉢片 | |
| 680 | 12-6 H | 233 | 142 | 29.325 | 田 | 鉢片 | |

出土遺物属性表(7)

| 番号 | アリーフ | E-W | S-N | 標 | 高 | 幅 | 厚 | 形 | 種類 | 地質 |
|-----|--------|-----|-----|--------|-----|----|----|---|----|----|
| 681 | 12-6 H | 171 | 21 | 29.286 | 田 | 剥片 | | | | |
| 682 | 12-6 H | 193 | 66 | 29.365 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 683 | 12-6 H | 121 | 74 | 29.164 | 田 | 剥片 | | | | |
| 684 | 12-6 I | 338 | 18 | 29.286 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 685 | 12-6 I | 389 | 47 | 29.295 | 田 | 剥片 | | | | |
| 686 | 12-2 D | 200 | 269 | 28.532 | 擾乱 | 剥片 | | | | |
| 687 | 12-2 D | 230 | 314 | 28.457 | 田 | 剥片 | | | | |
| 688 | 12-1 E | 23 | 10 | 28.502 | 田 | 剥片 | | | | |
| 689 | 12-1 E | 85 | 23 | 28.568 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 690 | 12-1 E | 122 | 36 | 28.545 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 691 | 12-1 E | 140 | 52 | 28.499 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 692 | 12-1 E | 112 | 71 | 28.546 | 田 | 砂片 | | | | |
| 693 | 12-1 E | 230 | 93 | 28.415 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 694 | 12-1 E | 238 | 115 | 28.414 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 695 | 12-1 E | 320 | 136 | 28.339 | 田 | 砂片 | | | | |
| 696 | 12-1 E | 342 | 153 | 28.367 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 697 | 12-1 E | 353 | 163 | 28.298 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 698 | 12-1 E | 359 | 196 | 28.366 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 699 | 6-10 E | 80 | 171 | 28.190 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 700 | 6-10 E | 90 | 194 | 28.214 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 701 | 6-10 E | 96 | 187 | 28.197 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 702 | 6-10 E | 97 | 189 | 28.192 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 703 | 6-10 E | 124 | 167 | 28.127 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 704 | 6-10 E | 187 | 180 | 28.085 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 705 | 6-10 E | 110 | 223 | 28.253 | 擾乱 | 砂片 | 有り | | | |
| 706 | 6-10 E | 123 | 239 | 28.227 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 707 | 6-10 E | 152 | 226 | 28.201 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 708 | 6-10 E | 182 | 212 | 28.086 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 709 | 6-10 E | 196 | 212 | 28.070 | 田 | 砂片 | | | | |
| 710 | 6-10 E | 187 | 224 | 28.145 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 711 | 6-10 E | 167 | 261 | 28.140 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 712 | 6-10 E | 155 | 266 | 28.194 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 713 | 6-10 E | 118 | 276 | 28.213 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 714 | 6-10 E | 221 | 219 | 28.085 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 715 | 6-10 E | 237 | 238 | 28.031 | 田 | 砂片 | | | | |
| 716 | 6-10 E | 249 | 255 | 28.034 | 田 | 砂片 | | | | |
| 717 | 6-10 E | 290 | 287 | 28.112 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 718 | 6-10 E | 235 | 309 | 28.118 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 719 | 6-10 E | 243 | 373 | 28.105 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 720 | 6-10 E | 238 | 336 | 28.134 | 田 | 砂片 | | | | |
| 721 | 6-10 E | 277 | 333 | 28.095 | 田 | 砂片 | | | | |
| 722 | 6-10 E | 287 | 386 | 28.120 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 723 | 6-10 E | 219 | 391 | 28.160 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 724 | 6-10 E | 294 | 275 | 28.027 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 725 | 6-10 E | 295 | 286 | 28.026 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 726 | 6-10 E | 332 | 248 | 27.786 | 田 | 砂片 | | | | |
| 727 | 6-10 E | 339 | 251 | 27.781 | 田 | 砂片 | | | | |
| 728 | 6-10 E | 344 | 252 | 27.765 | 田 | 砂片 | | | | |
| 729 | 6-10 E | 366 | 228 | 27.614 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 730 | 6-10 E | 366 | 214 | 27.673 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 731 | 6-10 E | 370 | 239 | 27.718 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 732 | 6-10 E | 380 | 277 | 27.734 | 田 | 砂片 | | | | |
| 733 | 6-10 E | 374 | 291 | 27.858 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 734 | 6-10 E | 374 | 336 | 27.853 | 田 | 砂片 | | | | |
| 735 | 6-10 E | 334 | 340 | 27.987 | 田 | 砂片 | | | | |
| 736 | 6-9 F | 200 | 120 | 27.428 | 田 | 砂片 | | | | |
| 737 | 6-9 F | 19 | 239 | 28.047 | 田 | 砂片 | | | | |
| 738 | 6-9 F | 171 | 21 | 29.286 | 田 | 剥片 | | | | |
| 739 | 12-4 F | 387 | 254 | 28.525 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 740 | 12-5 F | 134 | 301 | 28.498 | N | 砂片 | | | | |
| 741 | 12-6 F | 381 | 282 | 28.425 | III | 砂片 | | | | |
| 742 | 12-6 F | 341 | 248 | 28.535 | III | 砂片 | | | | |
| 743 | 12-6 F | 181 | 244 | 28.428 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 744 | 12-6 F | 156 | 281 | 28.363 | 擾乱 | 砂片 | 有り | | | |
| 745 | 12-6 F | 168 | 305 | 28.465 | 擾乱 | 砂片 | 有り | | | |
| 746 | 6-9 J | 286 | 278 | 28.425 | III | 砂片 | | | | |
| 747 | 6-10 J | 115 | 59 | 28.738 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 748 | 6-10 J | 210 | 97 | 28.680 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 749 | 7-10 A | 375 | 166 | 28.582 | 田 | 砂片 | | | | |
| 750 | 12-2 J | 152 | 257 | 29.017 | 田 | 砂片 | | | | |
| 751 | 12-2 J | 250 | 310 | 28.995 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 752 | 12-2 J | 253 | 315 | 28.996 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 753 | 12-2 J | 287 | 362 | 29.065 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 754 | 12-2 J | 55 | 394 | 29.022 | III | 砂片 | | | | |
| 755 | 13-2 A | 4 | 180 | 29.088 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 756 | 13-2 A | 138 | 28 | 29.056 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 757 | 13-2 A | 138 | 137 | 29.058 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 758 | 13-2 A | 198 | 196 | 29.068 | III | 砂片 | | | | |
| 759 | 13-2 A | 294 | 169 | 28.998 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 760 | 13-2 A | 318 | 80 | 28.960 | III | 砂片 | | | | |
| 761 | 13-2 A | 304 | 130 | 28.941 | III | 砂片 | | | | |
| 762 | 13-2 A | 326 | 338 | 28.880 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 763 | 13-2 A | 320 | 340 | 28.889 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 764 | 13-2 A | 316 | 340 | 28.921 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 765 | 13-2 A | 306 | 396 | 28.883 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 766 | 13-2 A | 237 | 363 | 28.903 | 擾乱 | 砂片 | 有り | | | |
| 767 | 13-2 A | 142 | 237 | 29.042 | 田 | 砂片 | 有り | | | |
| 768 | 13-2 A | 90 | 236 | 29.045 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 769 | 13-2 A | 85 | 234 | 29.040 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 770 | 13-2 A | 89 | 216 | 29.058 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 771 | 13-2 A | 58 | 294 | 29.068 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 772 | 13-2 A | 16 | 249 | 29.035 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 773 | 13-3 A | 191 | 56 | 29.023 | N | 砂片 | | | | |
| 774 | 13-3 A | 280 | 128 | 29.053 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 775 | 13-3 A | 315 | 329 | 29.016 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 776 | 13-3 A | 223 | 359 | 28.971 | 田 | 砂片 | | | | |
| 777 | 12-4 J | 349 | 236 | 29.188 | 田 | 砂片 | | | | |
| 778 | 13-4 A | 331 | 141 | 28.984 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 779 | 13-4 A | 367 | 197 | 28.963 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 780 | 13-4 A | 230 | 182 | 28.923 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 781 | 13-4 A | 213 | 182 | 28.961 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 782 | 13-4 A | 45 | 27 | 28.881 | 田 | 砂片 | | | | |
| 783 | 13-4 A | 52 | 39 | 28.888 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 784 | 13-4 A | 5 | 95 | 28.788 | 田 | 砂片 | 有り | | | |
| 785 | 13-4 A | 68 | 137 | 28.835 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 786 | 13-4 A | 195 | 143 | 28.972 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 787 | 13-4 A | 65 | 176 | 28.766 | 田 | 砂片 | | | | |
| 788 | 13-4 A | 44 | 197 | 28.738 | 田 | 砂片 | | | | |
| 789 | 13-4 A | 12 | 205 | 28.615 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 790 | 13-4 A | 135 | 287 | 28.788 | 田 | 砂片 | | | | |
| 791 | 13-4 A | 197 | 350 | 28.787 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 792 | 12-6 J | 250 | 70 | 28.526 | 田 | 砂片 | | | | |
| 793 | 12-5 J | 15 | 360 | 28.485 | 擾乱 | 砂片 | | | | |
| 794 | 12-5 J | 27 | 361 | 28.563 | 擾乱 | 砂片 | | | | |

出土遺物属性表(8)

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標 高 | 層位 | 器種 | 状態 |
|-----|--------|-----|-----|--------|----|----|----|
| 795 | 13-5 A | 60 | 16 | 28.460 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 796 | 13-5 A | 112 | 50 | 28.414 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 797 | 13-5 A | 132 | 58 | 28.421 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 798 | 13-5 A | 157 | 56 | 28.475 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 799 | 13-5 A | 170 | 62 | 28.444 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 800 | 13-5 A | 207 | 35 | 28.548 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 801 | 13-5 A | 279 | 7 | 28.680 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 802 | 13-5 A | 231 | 113 | 28.425 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 803 | 13-5 A | 263 | 118 | 28.428 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 804 | 13-5 A | 293 | 145 | 28.465 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 805 | 13-5 A | 357 | 82 | 28.713 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 806 | 13-5 A | 379 | 70 | 28.816 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 807 | 13-5 A | 166 | 167 | 28.290 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 808 | 13-5 A | 184 | 283 | 28.171 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 809 | 13-5 A | 210 | 303 | 28.163 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 810 | 13-5 A | 242 | 306 | 28.158 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 811 | 13-5 A | 257 | 314 | 28.170 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 812 | 13-5 A | 378 | 357 | 28.250 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 813 | 7-9 E | 190 | 195 | 28.368 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 814 | 7-10 C | 200 | 266 | 28.698 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 815 | 13-2 B | 54 | 3 | 28.366 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 816 | 13-2 B | 49 | 92 | 28.953 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 817 | 13-2 B | 47 | 95 | 28.389 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 818 | 13-3 B | 378 | 169 | 28.885 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 819 | 13-3 B | 142 | 109 | 28.898 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 820 | 13-3 B | 170 | 143 | 28.840 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 821 | 13-3 B | 95 | 371 | 28.534 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 822 | 13-4 B | 49 | 212 | 28.155 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 823 | 13-4 B | 59 | 369 | 27.988 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 824 | 13-4 B | 367 | 289 | 28.489 | 櫻丸 | 鉢片 | 有り |
| 825 | 13-4 C | 381 | 77 | 28.365 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 826 | 13-3 D | 56 | 31 | 28.921 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 827 | 12-2 E | 143 | 99 | 29.510 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 828 | 12-2 E | 73 | 223 | 29.557 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 829 | 12-2 E | 60 | 280 | 29.577 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 830 | 12-1 E | 73 | 59 | 29.412 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 831 | 12-1 E | 384 | 318 | 29.243 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 832 | 6-10 E | 18 | 306 | 29.215 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 833 | 6-10 E | 48 | 374 | 29.196 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 834 | 6-10 E | 64 | 367 | 29.211 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 835 | 6-10 E | 122 | 336 | 29.125 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 836 | 6-10 E | 123 | 240 | 29.115 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 837 | 6-10 E | 277 | 198 | 28.780 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 838 | 6-10 E | 258 | 290 | 28.965 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 839 | 6-10 E | 371 | 349 | 28.768 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 840 | 6-10 E | 286 | 388 | 29.021 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 841 | 6-9 F | 27 | 181 | 28.826 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 842 | 6-10 F | 2 | 116 | 29.194 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 843 | 6-10 F | 22 | 350 | 29.213 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 844 | 12-6 F | 138 | 272 | 29.383 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 845 | 12-6 G | 215 | 199 | 29.298 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 846 | 12-6 G | 221 | 205 | 29.368 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 847 | 12-6 G | 310 | 234 | 29.416 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 848 | 12-6 G | 64 | 333 | 29.034 | Ⅲ | 櫻丸 | |
| 849 | 12-6 G | 190 | 397 | 29.033 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 850 | 12-6 H | 249 | 45 | 29.288 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 851 | 12-6 H | 153 | 146 | 29.150 | Ⅲ | 鉢片 | |

| 番号 | グリッド | E-W | S-N | 標 高 | 層位 | 器種 | 状態 |
|-----|--------|-----|-----|--------|----|----|----|
| 852 | 12-6 H | 287 | 91 | 29.300 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 853 | 12-3 G | 53 | 269 | 29.340 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 854 | 12-3 G | 40 | 294 | 29.375 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 855 | 12-2 G | 38 | 234 | 29.239 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 856 | 12-1 H | 257 | 310 | 29.018 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 857 | 12-2 H | 29 | 72 | 29.198 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 858 | 12-3 H | 223 | 176 | 29.194 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 859 | 12-3 H | 190 | 185 | 29.265 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 860 | 12-3 H | 188 | 186 | 29.222 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 861 | 12-6 I | 369 | 88 | 29.118 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 862 | 12-5 I | 54 | 86 | 29.156 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 863 | 12-5 I | 58 | 91 | 29.184 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 864 | 12-5 I | 24 | 128 | 29.143 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 865 | 12-5 I | 85 | 171 | 29.111 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 866 | 12-4 I | 363 | 63 | 29.345 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 867 | 12-3 H | 191 | 188 | 29.241 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 868 | 6-10 J | 50 | 194 | 28.648 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 869 | 12-1 J | 153 | 45 | 28.912 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 870 | 12-1 J | 223 | 224 | 28.833 | Ⅲ | 鉢片 | 有り |
| 871 | 12-5 J | 372 | 92 | 29.101 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 872 | 12-5 J | 160 | 98 | 28.894 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 873 | 12-5 I | 198 | 323 | 29.041 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 874 | 12-5 J | 240 | 316 | 28.726 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 875 | 12-5 A | 222 | 110 | 28.374 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 876 | 12-5 A | 275 | 128 | 28.381 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 877 | 12-4 A | 10 | 44 | 28.782 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 878 | 12-4 J | 36 | 390 | 28.836 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 879 | 12-4 A | 73 | 22 | 28.844 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 880 | 12-4 A | 259 | 78 | 28.668 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 881 | 12-3 I | 222 | 349 | 29.131 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 882 | 7-10 A | 187 | 107 | 28.574 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 883 | 12-4 J | 109 | 369 | 28.954 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 884 | 12-5 A | 238 | 213 | 28.238 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 885 | 12-5 A | 262 | 203 | 28.228 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 886 | 12-4 A | 36 | 245 | 28.541 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 887 | 12-4 A | 180 | 350 | 28.666 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 888 | 12-2 A | 329 | 379 | 28.790 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 889 | 12-1 B | 134 | 58 | 28.718 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 890 | 12-2 B | 246 | 70 | 28.814 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 891 | 12-4 B | 238 | 124 | 28.480 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 892 | 12-4 B | 259 | 345 | 28.148 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 893 | 12-4 B | 114 | 232 | 28.089 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 894 | 12-4 B | 111 | 229 | 28.099 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 895 | 12-4 B | 90 | 106 | 28.242 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 896 | 6-10 E | 237 | 216 | 28.879 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 897 | 6-10 E | 272 | 222 | 28.764 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 898 | 6-10 E | 258 | 235 | 28.824 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 899 | 6-10 E | 251 | 243 | 28.852 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 900 | 6-10 E | 275 | 291 | 28.831 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 901 | 6-10 E | 128 | 240 | 29.060 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 902 | 6-10 E | 103 | 362 | 29.084 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 903 | 12-3 G | 106 | 169 | 29.217 | 櫻丸 | 鉢片 | 有り |
| 904 | 12-4 G | 383 | 256 | 29.287 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 905 | 12-6 F | 73 | 242 | 29.047 | Ⅲ | 鉢片 | |
| 906 | 12-6 F | 65 | 386 | 29.172 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 907 | 12-6 F | 200 | 293 | 29.003 | 櫻丸 | 鉢片 | |
| 908 | 12-3 A | 373 | 166 | 28.888 | 櫻丸 | 鉢片 | 有り |

弥生・平安時代

遺構と遺物

竪穴住居跡

1号住居跡（第5図）

調査区の南側で検出された。

プランは長軸8m、短軸7.7mのほぼ円形を呈し、2号住居跡（平安時代）に切られている。ローム面を床面としていることから、壁は検出されなかった。周溝は幅20~30cm、確認面からの深さは8~40cmで、部分的に浅深が認められ、北東側が途切れている。ピットは多数検出されたが、主柱穴は深さ30cm以上の4個と考えられる。しかし、北西のピットは確認できず、2号住居跡に切られていると考えられる。炉は径約90cmの石囲炉であるが、2号住居跡によって北側半分が切られている。炉内は火熱を受けて赤変し、礫も火熱を受けている。礫は抜けている部分もある。床はほぼ平坦であるが、南側のローム面が傾斜していることから南側の床面は確認することはできなかった。

出土遺物

土器（第7図1、第13図11）

1はピット、11は周溝（西側）出土である。1は壺形土器の口縁部である。口縁上部に平行沈線が巡り、ほぼ等間隔に粘土粒が付く。頸部にも2個一対の粘土粒が付き、内面に1条の沈線が巡る。11は壺形土器の胴部である。口縁部は無文帯で、胴部地文はL R 単節斜縦文（横位回転）である。

2号住居跡（第6図）

調査区の南側で検出された。

プランは一辺2.5mのほぼ方形を呈し、1号住居跡（弥生時代）を切っている。確認面からの深さは40cmで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。ピットは住居内に5個検出されたが、主柱穴は各コーナーの4個である。カマドは南壁の東側に構築されている。袖部は壊れているが、芯材と考えられる拳大や人頭大の川原石が残っていた。燃焼部は火熱を受けて赤変している。煙道部は溝状に検出され、壁外へ約1.4m延びる。床はほぼ平坦で、全体的に堅い。

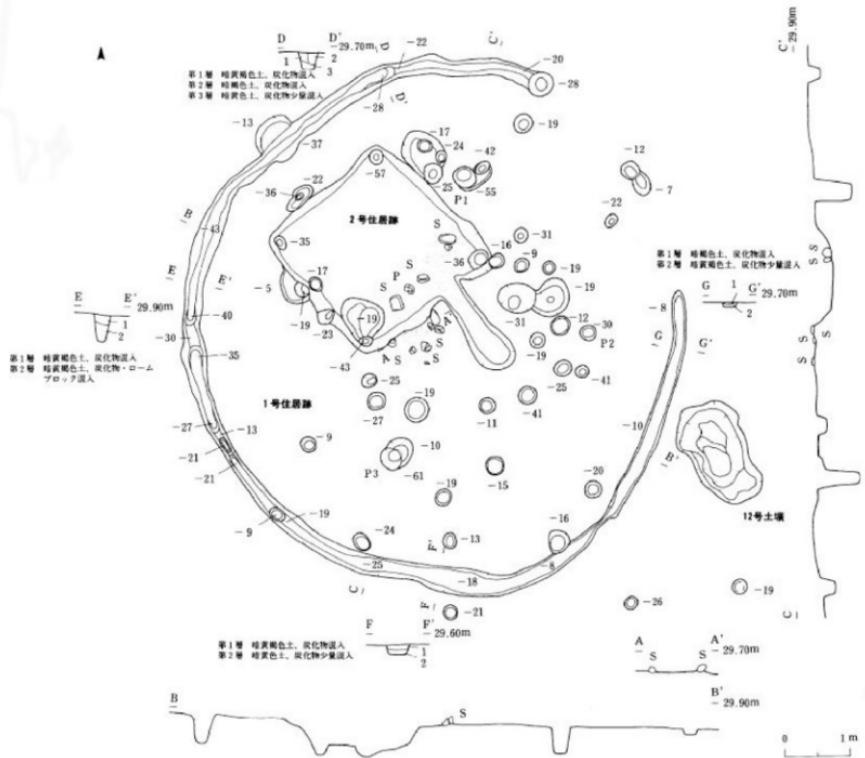
出土遺物

土器（第7図2）

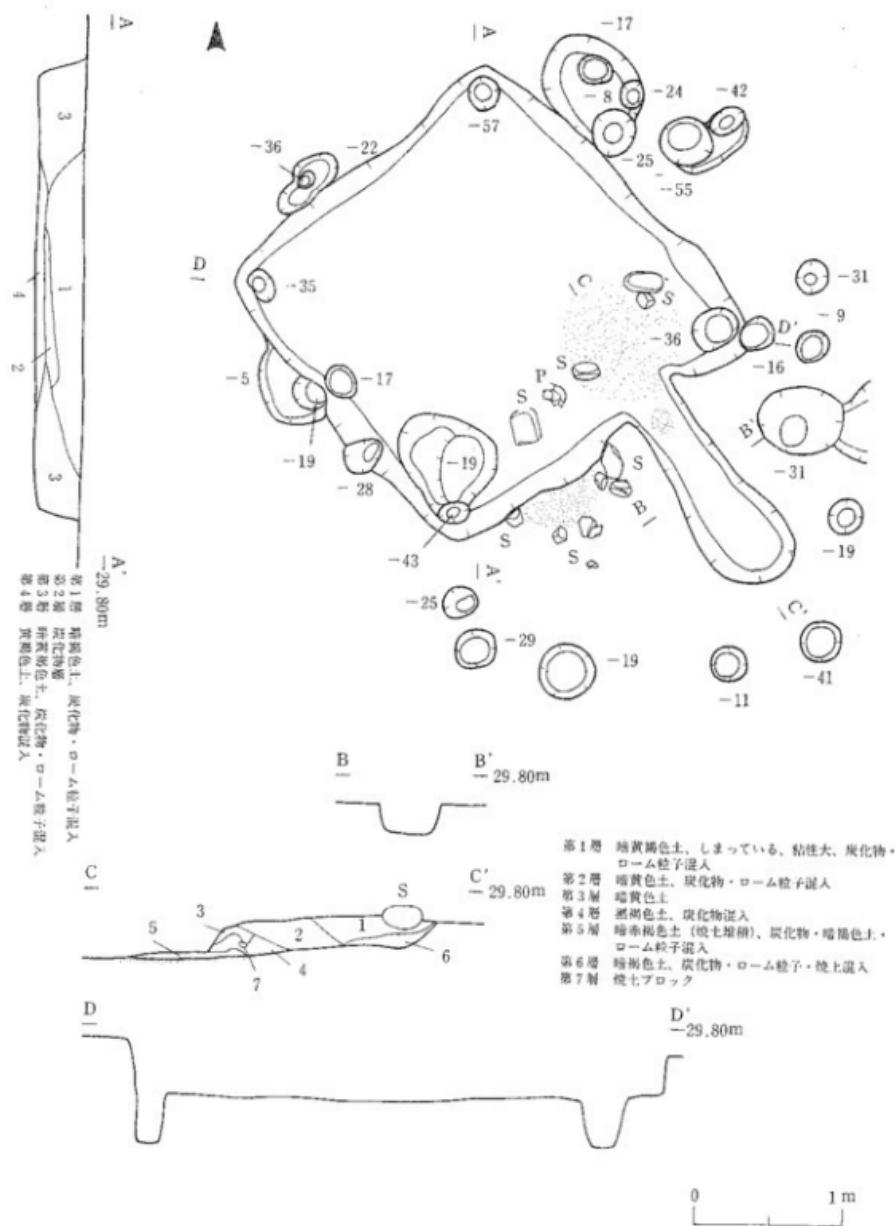
2は床面出土の赤褐色土器坏である。底部切り離し回転糸切り無調整で、底部より緩く内湾しながら立ち上がる。

竪穴造構

1号竪穴造構（第8図）

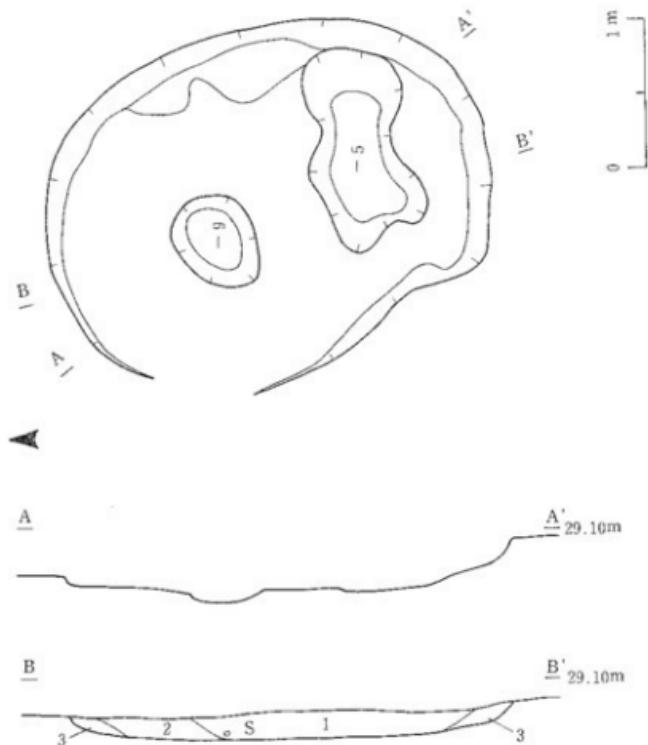


第5図 1号住居跡



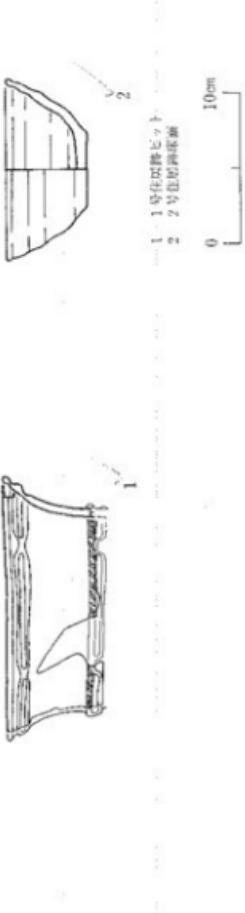
第6図 2号住居跡

第8図 1号縫穴遺構



第1層 細褐色土、炭化物・ローム粒子・ロームブロック混入
第2層 黒褐色土、炭化物混入
第3層 明黄色土、ロームブロック混入

第7図 遺構内出土土器



調査区の西側で検出された。

プランは長軸3m、短軸2.3mの橢円形を呈し、確認面からの深さは20cmで、壁は緩く立ち上がる。底面は凹凸が認められる。

出土遺物

石器（第14図1）

1は石錐で、無茎のものである。石質は硬質頁岩である。

土壙（第9～11図）

14基検出された。調査区全体から検出されているが、中央部に多い。断面形がフラスコ状ないしは袋状を呈するものが5基で、他は平面形が円形、橢円形を呈する比較的浅いものである。7、8号土壙は隣接して検出され、確認面からの深さは7号土壙が3m、8号土壙が1.3mで、7号土壙は8号土壙の約2倍である。7号土壙の覆土には黄褐色土（ローム層）が多量に入っている。7号土壙発見時に8号土壙構築の際の土を捨てたものと考えられる。

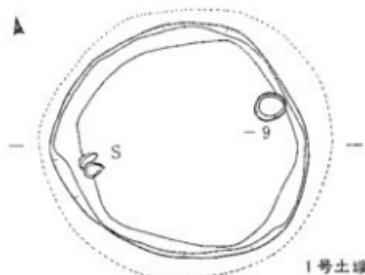
出土遺物

土器（第12図3～10、第13図12～24）

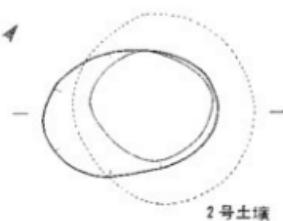
5基の土壙から出土している。3～8、12～16は1号土壙、17は2号土壙、18は5号土壙、9、10、19～23は6号土壙、24は8号土壙出土である。6～8、15、16、22～24は甕形土器である。口

土 壙 一 駄 表

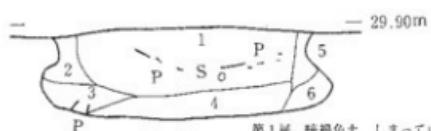
| 番号 | 規 模(cm) | | | 平 面 形 | 断面形 | 出 土 遺 物 |
|----|---------|-----|-----|-------|-----|--|
| | 長 軸 | 短 軸 | 深 さ | | | |
| 1 | 172 | 157 | 60 | 橢円形 | 4 | 第12図3～8、第13図12～16(弥生)、第14図2(ヘラ状石器)、3～7(くぼみ石)、8(壁石) |
| 2 | 118 | 80 | 115 | 橢円形 | 5 | 第13図17(弥生) |
| 3 | 147 | 142 | 14 | 橢円形 | 1 | |
| 4 | 67 | 51 | 14 | 橢円形 | 1 | |
| 5 | 99 | 72 | 15 | 橢円形 | 1 | 第13図18(弥生) |
| 6 | 96 | 92 | 84 | 橢円形 | 5 | 第12図9、10、第13図19～23(弥生) |
| 7 | 155 | 305 | 35 | 橢円形 | 5 | 第13図3(ヘラ状石器) |
| 8 | 140 | 133 | 129 | 橢円形 | 5 | 第13図24(弥生)、第13図4(ヘラ状石器) |
| 9 | 142 | 93 | 35 | 橢円形 | 2 | |
| 10 | 117 | 74 | 17 | 橢円形 | 1 | |
| 11 | 122 | 98 | 33 | 橢円形 | 2 | |
| 12 | 170 | 88 | 42 | 橢円形 | 2 | |
| 13 | 115 | 93 | 12 | 橢円形 | 1 | |
| 14 | 120 | 110 | 40 | 橢円形 | 3 | |



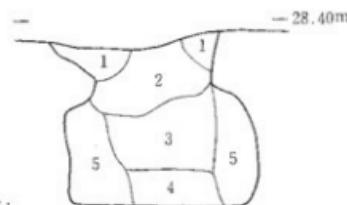
1号土壤



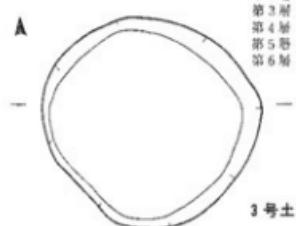
2号土壤



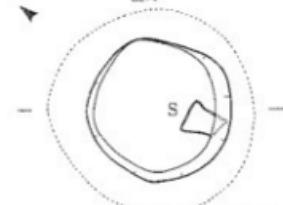
第1層 暗褐色土、しまっている。炭化物多量
ローム粒子少量混入
第2層 棕色土、しまっている。炭化物混入
第3層 暗黄褐色土、しまっている
第4層 暗褐色土、しまっている。ローム粒子多量混入
第5層 棕色土、やや暗い
第6層 暗黄褐色土、ローム粒子多量混入



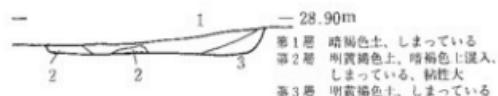
第1層 黄褐色土、粘性大
第2層 暗褐色土、しまっている。炭化物・
ローム粒子混入
第3層 暗褐色土、しまっている。ローム粒
子少量混入
第4層 暗褐色土、しまっている
第5層 暗黄褐色土、ローム粒子・ブロック
混入



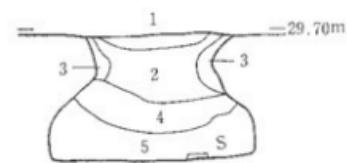
3号土壤



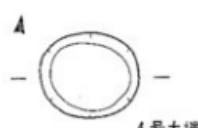
6号土壤



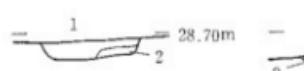
第1層 暗褐色土、しまっている
第2層 明黄褐色土、暗褐色土混入、
しまっている。粘性大
第3層 明黄褐色土、しまっている



第1層 暗褐色土、しまっている。炭化物・ローム粒子
混入
第2層 暗褐色土、炭化物・ローム粒子混入、ボソボソ
第3層 暗黄褐色土
第4層 暗褐色土、炭化物・ローム粒子混入、ボソボソ
第5層 暗褐色土、炭化物・ローム粒子少量混入、ボソ
ボソ



4号土壤

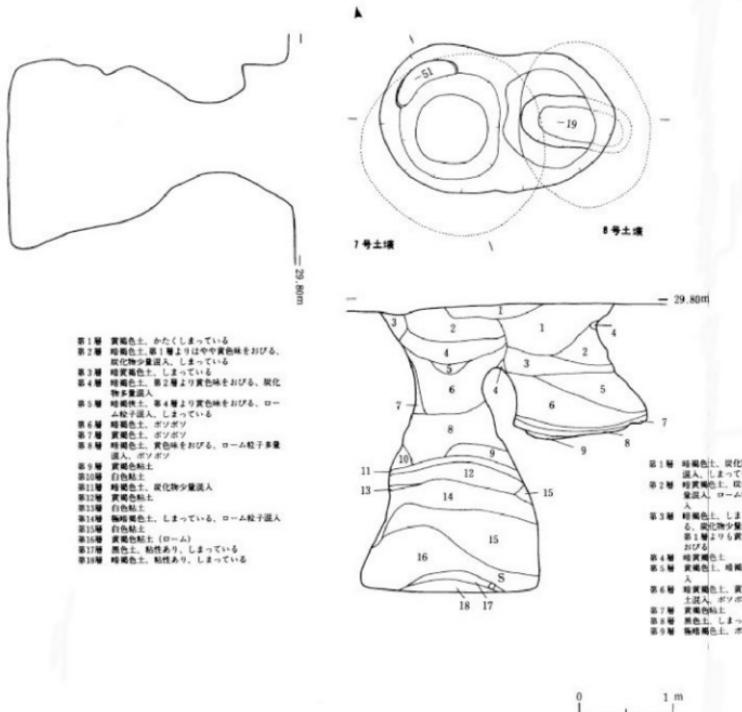


5号土壤

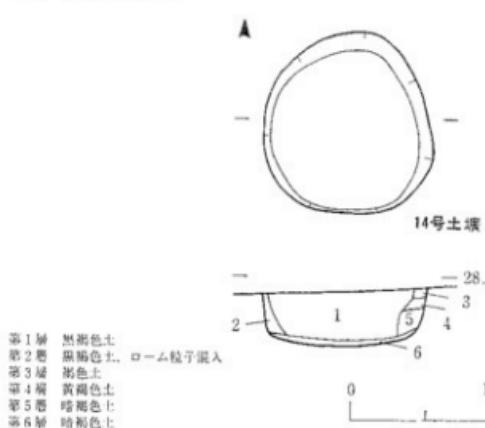
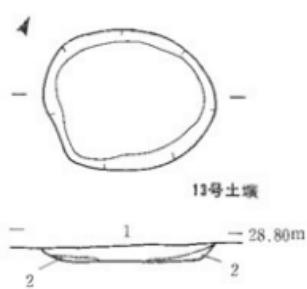
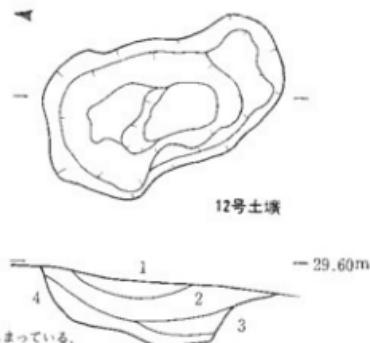
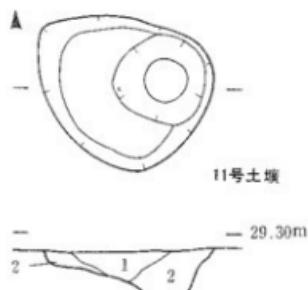
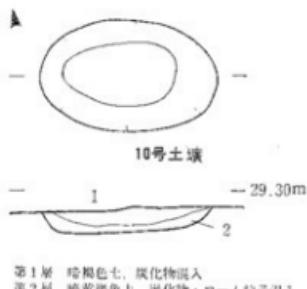
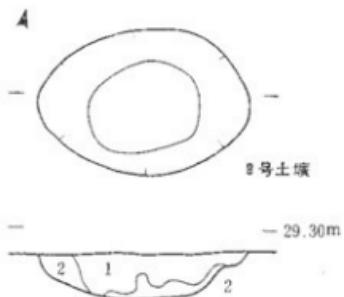
第1層 始褐色土、板火土・ローム粒子ブロック混入、ボソボソ
第2層 始武褐色土、暗褐色土上少量混入、しまって
いる。粘性大

層1層 暗褐色土、ローム粒子少量混入
第2層 暗褐色土、しまっている
第3層 暗黄褐色土、暗褐色土上混入

第9図 土 壤



第10図 土 壤



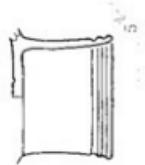
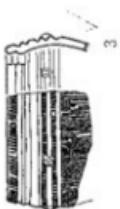
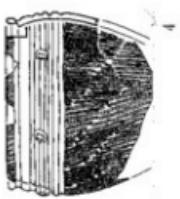
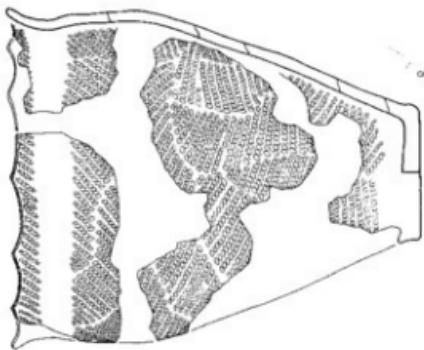
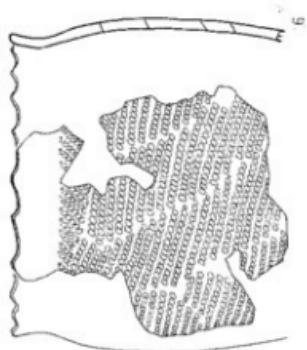
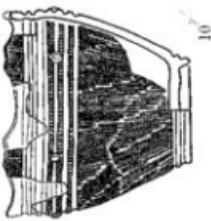
第11図 土 壤

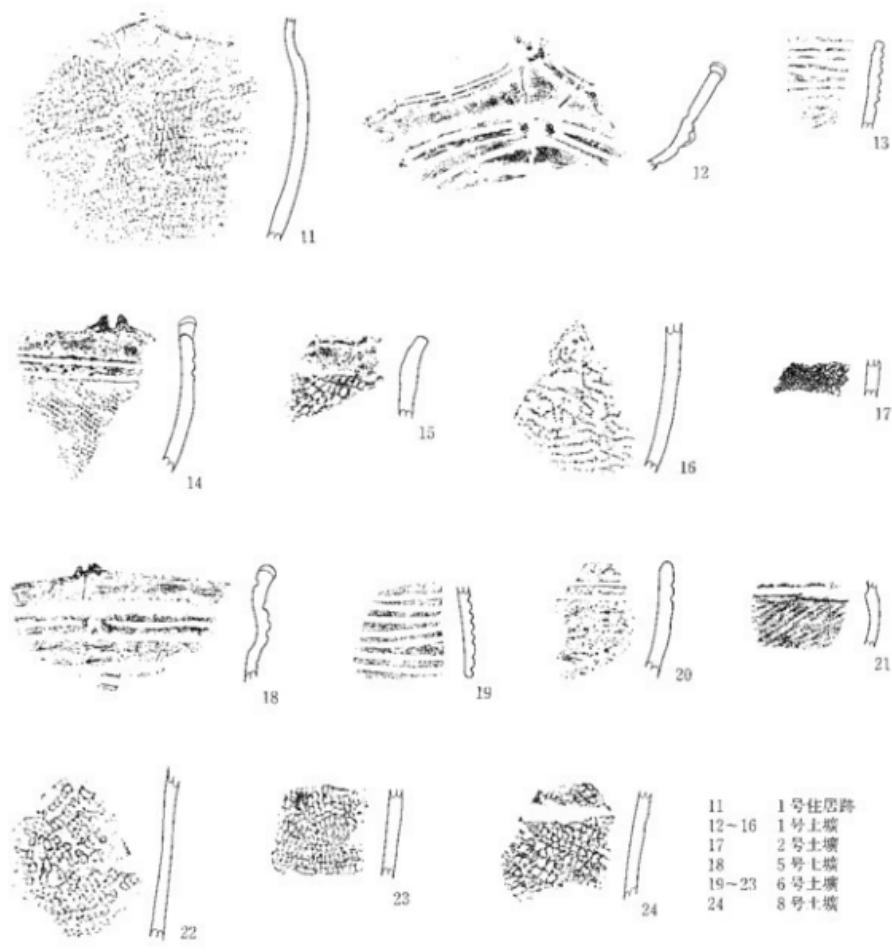
第12圖 遺構內出土土器

—34—

10cm

3~8 1号土罐
9、10 6号七瓣





第13図 遺構内出土土器



縁部が外反し、波状口縁のものが多い。6、15は口縁部が外反し、波状口縁である。口縁部が無文帯で、6の胴部地文は上部がLR単節斜繩文（横位回転）、他はLR単節斜繩文（縦位回転）で、15の胴部地文はLR単節斜繩文（縦位回転）である。7は口縁部がほぼ直立するもので、波状口縁である。口縁部が無文帯で、胴部地文はLR単節斜繩文（横・斜・縦位回転）である。8は口縁上部に地文が残り、口縁部の中間を磨消したものである。口縁部が外反し、波状口縁である。地文は胴上部及び口縁上部がLR単節斜繩文（横位回転）で、他はLR単節斜繩文（縦・斜位回転）で

ある。16、22～24は胴部の破片である。地文は16がLR無節斜縄文(横・縦位回転)、22がLR單節斜縄文(横・斜位回転)、24がRL單節斜縄文(横位回転)である。3、4、9、10、13、14、17、18、20、21は鉢形土器である。平行沈線を施すものが多いが、13は変形工字文と考えられる。平行沈線に1個ないしは2個一対の粘土粒が付くものも認められ、9、10には低い台が付く。3、4、10は口縁部が内湾気味に立ち上がり、口縁部に沈線を施すものである。3、4は平縁口縁で、地文施文後に平行沈線を施し、ほぼ等間隔に粘土粒が付く。内面に1条の沈線が巡り、地文はLR單節斜縄文(斜位回転)である。9は体下部で低い台が付く。地文はLR單節斜縄文(横位回転)である。10は口唇部に二叉の波状突起をもつものである。地文施文後に平行沈線を施し、波状突起の下方に粘土粒が付く。低い台が付き、体下部には平行沈線が巡る。内面に1条の沈線が巡り、地文はLR單節斜縄文(斜位回転)である。14、20は口縁部に平行沈線が巡るものである。14の口唇部には、頂部に刻みの入る突起をもつ。地文は14がLR單節斜縄文(縦位回転)、20がLR無節斜縄文(縦位回転)である。18は頸部から口縁上部にかけて内湾し、その上部が外反する器形で、口唇部に刻みの入る小突起をもつ。口縁部には平行沈線が施され、2個一対の粘土粒が付く。内面に1条の沈線が巡るが、突起部分で途切れる。13は体部がほぼ直立するもので、平縁口縁である。口縁部に変形工字文が施されているものと考えられ、内面に1条の沈線が巡る。地文はLR單節斜縄文(横位回転)である。5、12、19は高環形土器である。12は体部が丸味をもって立ち上がり、口縁部が外反する。口唇部には沈線が施され、刻みの入る突起をもつ。体部には変形工字文が施され、2個一対の粘土粒が付く。内面には1条の沈線が巡り、内外面にミガキ調整が行われている。5、19は脚部である。5は脚下部に平行沈線が、体部の内面底部に沈線による円文が施され、内外面にミガキ調整が行われている。19は小破片であり明確にとらえることはできないが、平行沈線間に変形工字文または鋸歯状文が施されていると考えられる。

石器(第14図2～8)

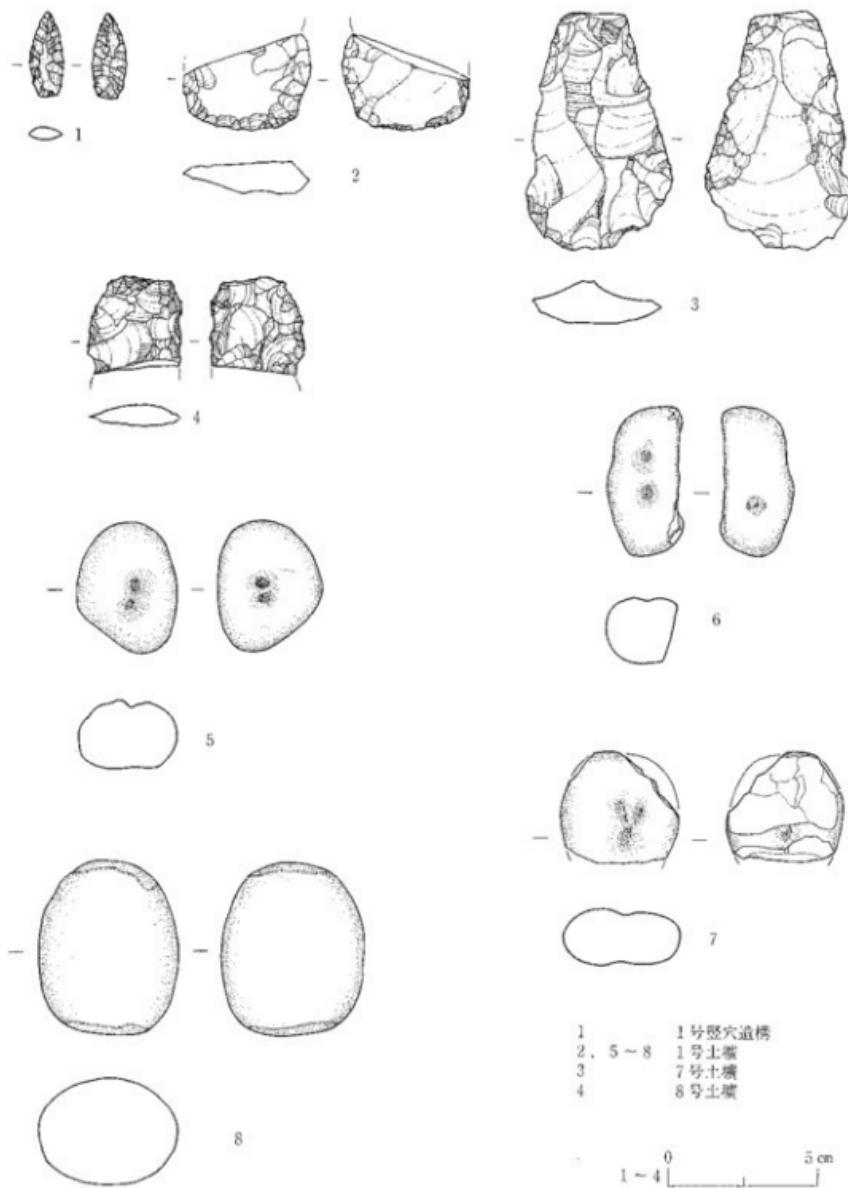
3基の土壙から出土している。2、5～8は1号土壙、3は7号土壙、4は8号土壙出土である。2～4はヘラ状石器で、2、4は破損している。左右対称で、両面調整のものである。2、3の刃部は丸味をもつ。石質は全て硬質頁岩である。5～7はくぼみ石である。全て両面にくぼみ部が認められるもので、5は破損している。8は磨石である。両面が磨れているもので、断面は円形に近い形をなす。

溝状土壙

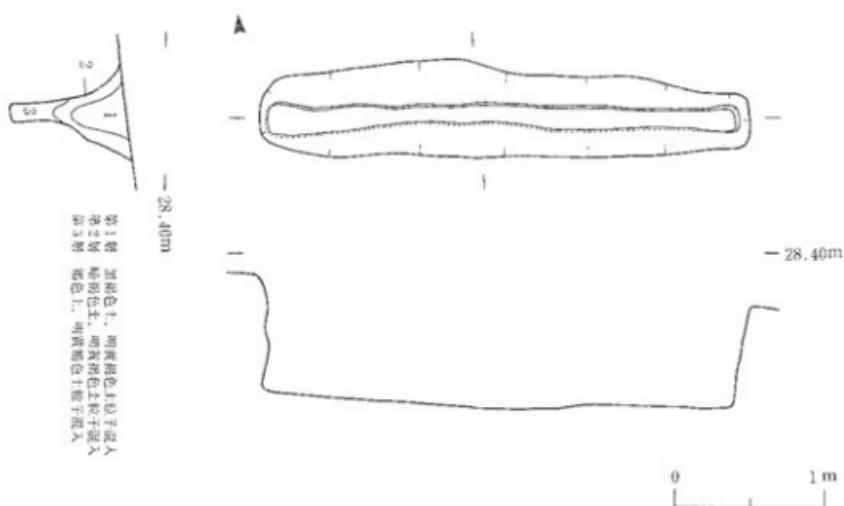
1号溝状土壙(第15図)

調査区の東側で検出された。

プランは長軸3.3m、短軸55～65cmの溝状を呈し、確認面からの深さは80cmである。縦断面は西側の底部が壁外へ若干張り出し、横断面は「Y」字状を呈する。出土遺物はない。



第14図 遺構内出土石器



第15図 1号溝状土壤

出土土器

遺構内・外出土土器を、弥生時代、平安時代に大別し、弥生時代の土器については器形と文様について分類した。なお、遺物包含層における層位的な区別は認められなかった。

第Ⅰ群土器

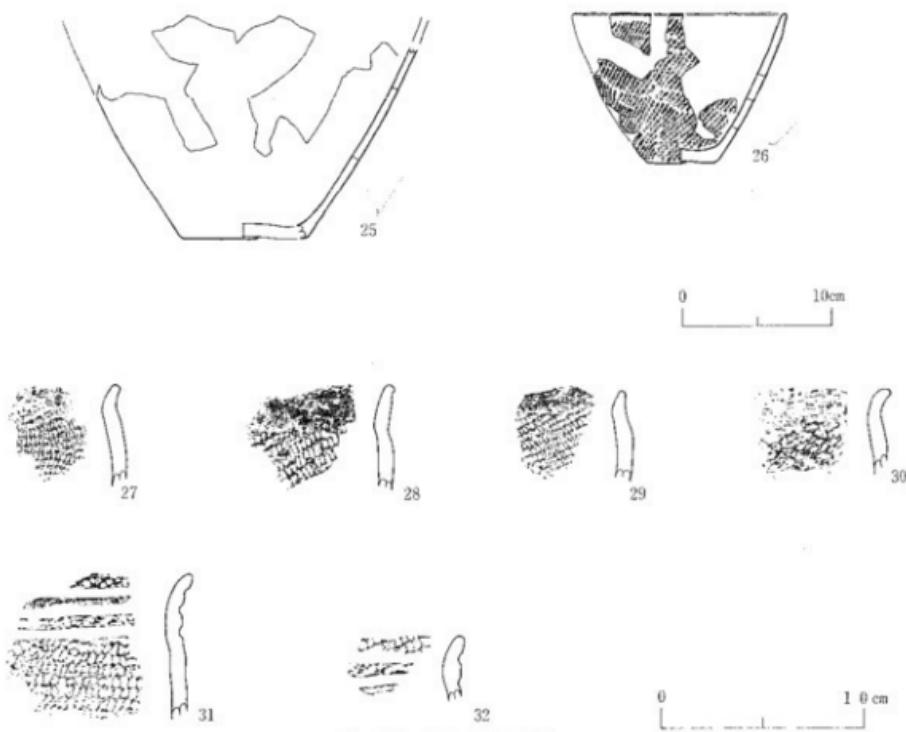
弥生時代の土器で、甕形土器、鉢形土器、高環形土器、壺形土器がある。

1類 (第12図6~8、第13図11、15、16、22~24、第16図27~32)

甕形土器である。口縁部が外反し、胴上部に張りのある器形のものが多い。波状口縁と平縁口縁が認められる。文様は口縁部無文帯のもの、口縁上部に地文が残るもの、沈線が巡るものがある。6、7、15、27~30は口縁部が無文帯のものである。6、15、27~30は口縁部が外反するもので、6、15は波状口縁である。地文は15、30がLR単節斜繩文(縦位回転)、27~29がLR単節斜繩文(横位回転)である。7は口縁部がほぼ直立するもので、波状口縁である。8は口縁上部に地文が残り、口縁部の中間を磨消したものである。口縁部が外反し、波状口縁である。31、32は沈線が巡るものである。口縁部が外反し、地文施文後に31は3条、32は数条の沈線を施している。地文はいずれも口縁部がLR単節斜繩文(横位回転)で、31の胴部はLR単節斜繩文(斜位回転)である。

2類 (第12図3、4、9、10、第13図12~14、17、18、20、21、第16図26)

鉢形土器である。比較的小型で甕形に近いもの、体部がほぼ直立するものがある。3、4、9、10、14、17、18、20、21、26は比較的小型で甕形に近い器形をなすもので、口縁部に沈線を施すものが多い。3、4、10は口縁部が内湾気味に立ち上がり、口縁部に沈線を施すものである。3、4



第16図 遺構外出土器

は平縁口縁である。いずれも地文施文後に平行沈線を施し、ほぼ等間隔に粘土粒が付く。内面に1条の沈線が巡る。9は体下部で低い台が付く。地文はLR単節斜繩文（横位回転）である。10は口唇部に二又の波状突起をもつものである。地文施文後に平行沈線を施し、波状突起の下方に粘土粒が付く。低い台が付き、体下部には平行沈線が巡る。また、内面に1条の沈線が巡る。14、20は口縁部に平行沈線が巡るものである。14の口唇部には、頂部に刻みの入る突起をもつ。18は頸部から口縁上部にかけて内湾しその上部が外反する器形で、口唇部に刻みの入る小突起をもつ。口縁部には平行沈線が施され、2個一対の粘土粒が付く。内面に1条の沈線が巡るが、突起部分で切れている。26は器高の割には口径が比較的大きいものである。平縁口縁で、地文はLr無節斜繩文（横位回転）である。13は体部がほぼ直立するもので、平縁口縁である。口縁部に変形工字文が施されているものと考えられ、内面に1条の沈線が巡る。地文はLR単節斜繩文（横位回転）である。

3種（第12図5、第13図12、19）

高環形土器である。体部と脚部の資料である。12は頸部が内湾気味にくびれて口縁部が外傾する器形で、高环と考えられる。口唇部に沈線が施され、二又の小突起をもつ。体部に変形工字文を施

し、2個一对の粘土粒が付く。内面に1条の沈線が巡り、内外面にミガキ調整が行われている。5、19は脚部である。5は脚下部に平行沈線が、体部内面の底部に沈線による円文が施され、内外面にミガキ調整が行われている。19は平行沈線間に変形工字文または鉤曲状文が施されている。

4類（第7図1、第16図25）

壺形土器である。1は広口で、口縁部が外反するものである。口縁上部に平行沈線が施され、上から2条目の沈線には等間隔に粘土粒を付け、上・下両方から押圧して粘土粒を盛り上げている。頭部にも平行沈線が巡り、2個一对の粘土粒を付けている。地文が残っている部分もあり、地文はLR単節斜縫文（横位回転）で、この部分にはベンガラの付着が認められる。内面には1条の沈線が巡り、内外面にミガキ調整が行われている。25は体部下半であるが、壺形の器形をなすものである。比較的薄手で、外面はミガキ調整が行われている。

第II群土器（第7図2）

平安時代の土器である。

2は赤褐色土器坏である。底部切り離し回転糸切り無調整で、底部より緩く内湾しながら立ち上がる。

遺構出土石器

石鎚（第17図9、10）

2点出土している。9は無茎で、基部に丸味がある。10は細身のもので、一部欠けている部分もある。石質はいずれも硬質頁岩である。

槍先状石器（第17図11）

両面調整のもので、先端部を欠く。基部は丸味があり、両面にアスファルトの付着が認められる。石質は硬質頁岩である。

石匙（第17図12～15）

4点出土している。全て縱型であるが、13、14は破損品である。石質は全て硬質頁岩である。

ヘラ状石器（第17～19図16～33）

18点出土している。左右対称で、両面調整のものである。短柵形、撥形等をなすものが多く、小型のものも含めた。石質は全て硬質頁岩である。

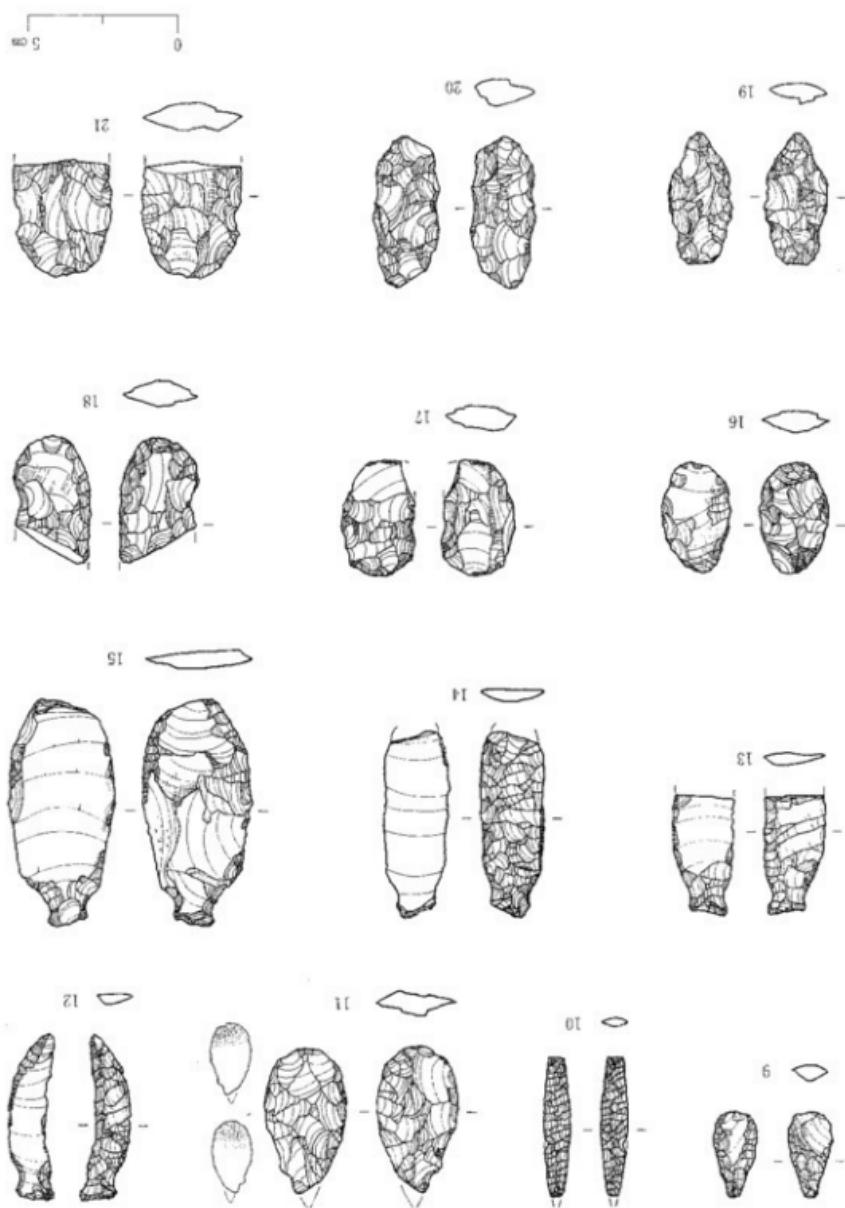
削器（第19図34）

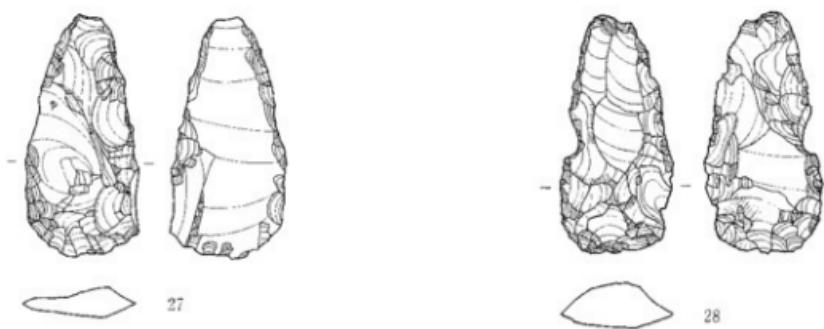
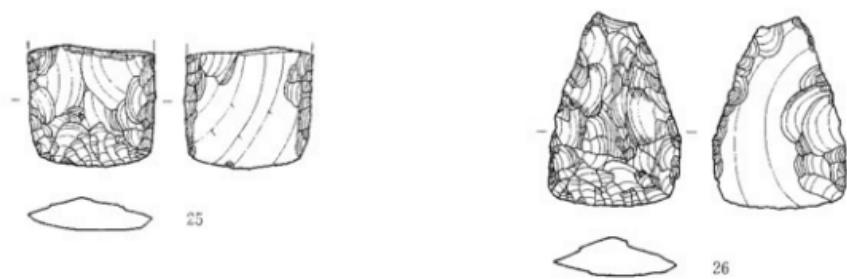
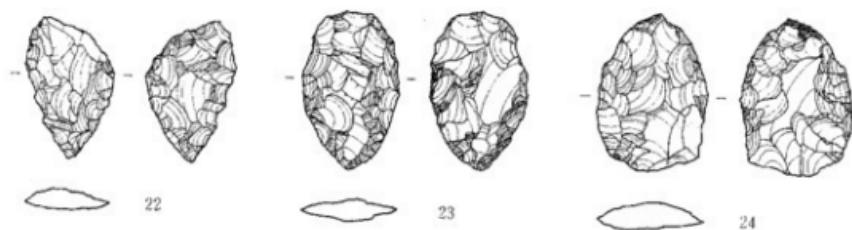
両側縁に二次加工を施して刃部を作り出しているものである。石質は黒曜石である。

石斧（第20図35、36）

2点出土している。いずれも破損しているが、刃部は丸味をもつものである。36は片刃である。石質はいずれも凝灰岩である。

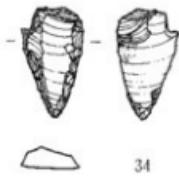
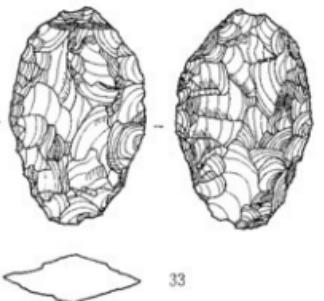
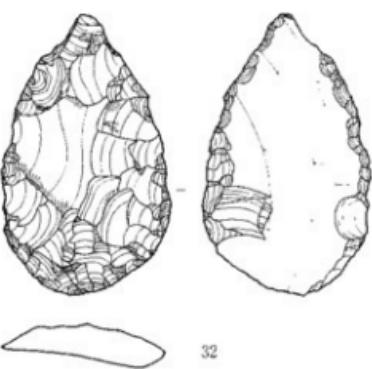
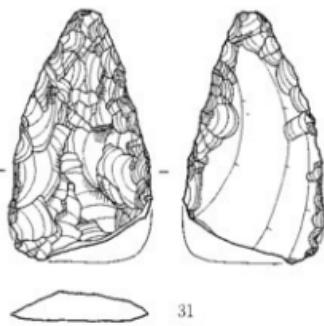
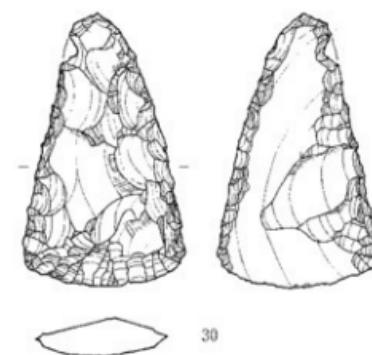
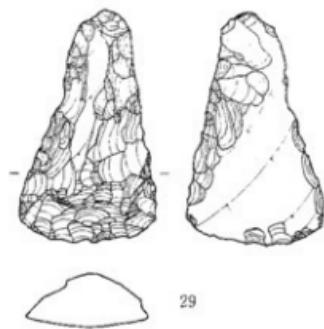
第17图 通都外出土石器





0 5 cm

第18図 遺構外出土土器



0 5 cm

第19図 遺構外出土石器



第20図 遺構外出土石器

石錐（第21図37、38）

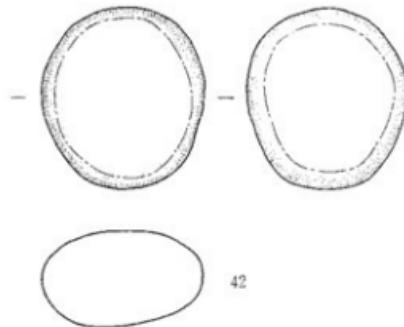
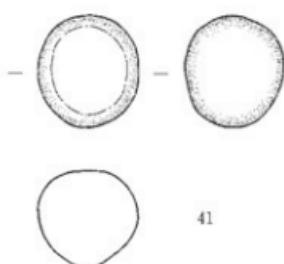
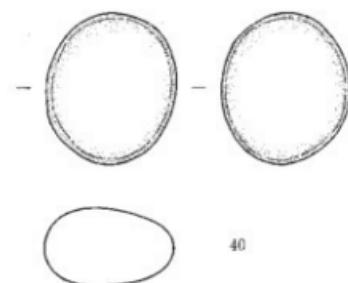
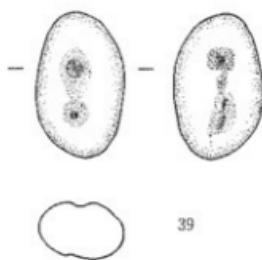
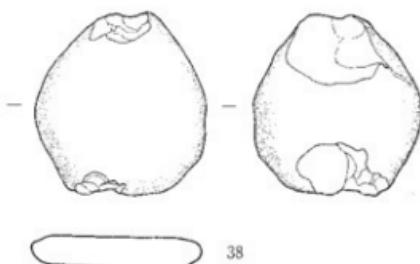
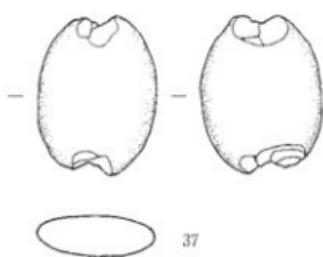
2点出土している。ほぼ扁平な自然縛の両端に抉りをいれるもので、いずれも両面から打ち欠いている。

くぼみ石（第21図39）

自然縛の両面にくぼみ部が数ヶ所認められるものである。

磨石（第21図40～42）

3点出土している。自然縛の片面ないしは両面が磨れているものである。40、42は両面、41は片面使用で、42の側面には敲打痕が認められる。



0 10cm

第21図 遺構外出土石器

C地区

縄文・弥生時代

遺構と遺物

竪穴住居跡

1号住居跡（第22図）

調査区の北側で検出された。

プランは長軸3.2m、短軸2.8mの楕円形を呈し、確認面からの深さは13cmで、壁は緩く立ち上がる。ピットは2個検出されたが、主柱穴は不明である。炉は土器埋設部、掘り込み部、一段深い掘り込み部からなる。土器埋設部は深鉢形土器を埋設し、周辺は火熱を受けて赤変している。掘り込み部は側面と底面の一部が火熱を受けて赤変している。一段深い掘り込み部は壁に接している。床はほぼ平坦で堅い。

出土遺物

土器（第30図1）

1は炉埋設土器である。口縁部がやや内湾ぎみに直立する深鉢形土器で、垂下する二重の沈線で細長い逆「U」字文を施している。沈線間は磨消無文帶である。地文はR L単節斜縄文（縦位回転）である。

2号住居跡（第23図）

調査区の東側で検出された。

ピットと炉の検出で、平面形及び規模は不明である。ピットは5個検出されたが、主柱穴は不明である。炉は土器埋設部である。深鉢形土器を埋設し、周辺が強く火熱を受けて赤変している。床はほぼ平坦である。

出土遺物

土器（第30図2）

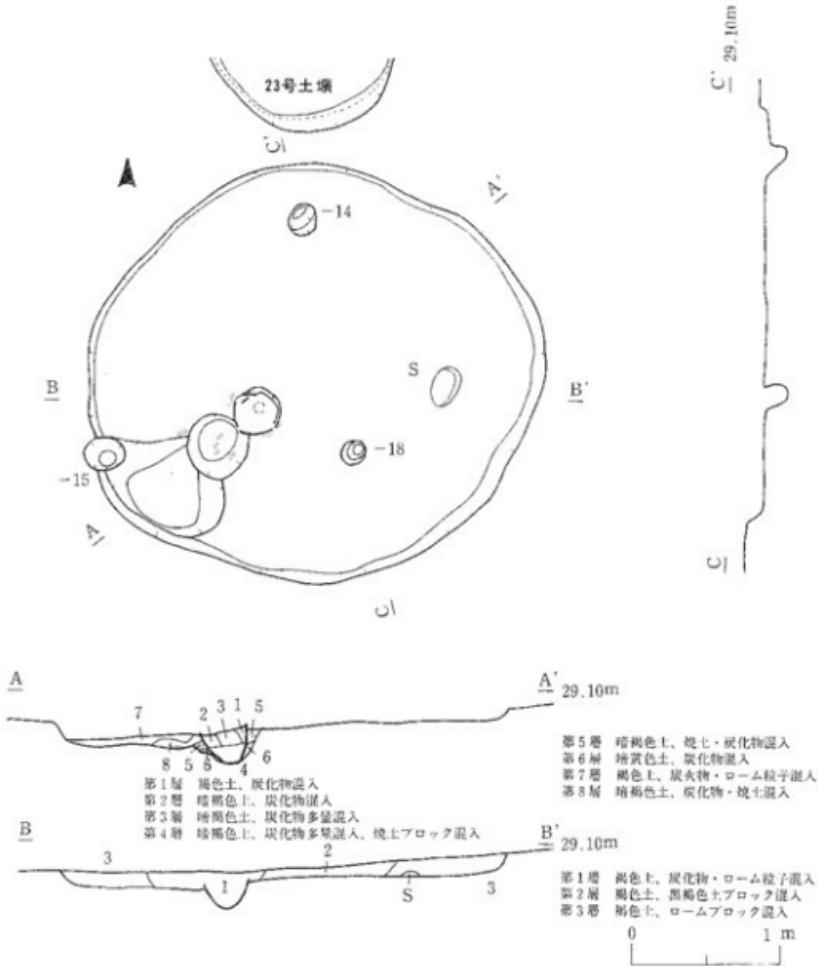
2は炉埋設土器である。胴部が膨らみ口縁部が外反する深鉢形土器で、細い沈線で縦位の楕円文と、逆「U」文との組み合わせが施されるものである。沈線間は磨消無文帶である。地文はR L単節斜縄文（縦位回転）である。

竪穴遺構

1号竪穴遺構（第24図）

調査区の中央部北西側で検出された。

プランは長軸3.3m、短軸2.4mの不整楕円形を呈し、確認面からの深さは30cmで、壁は緩く立ち



第22図 1号住居跡

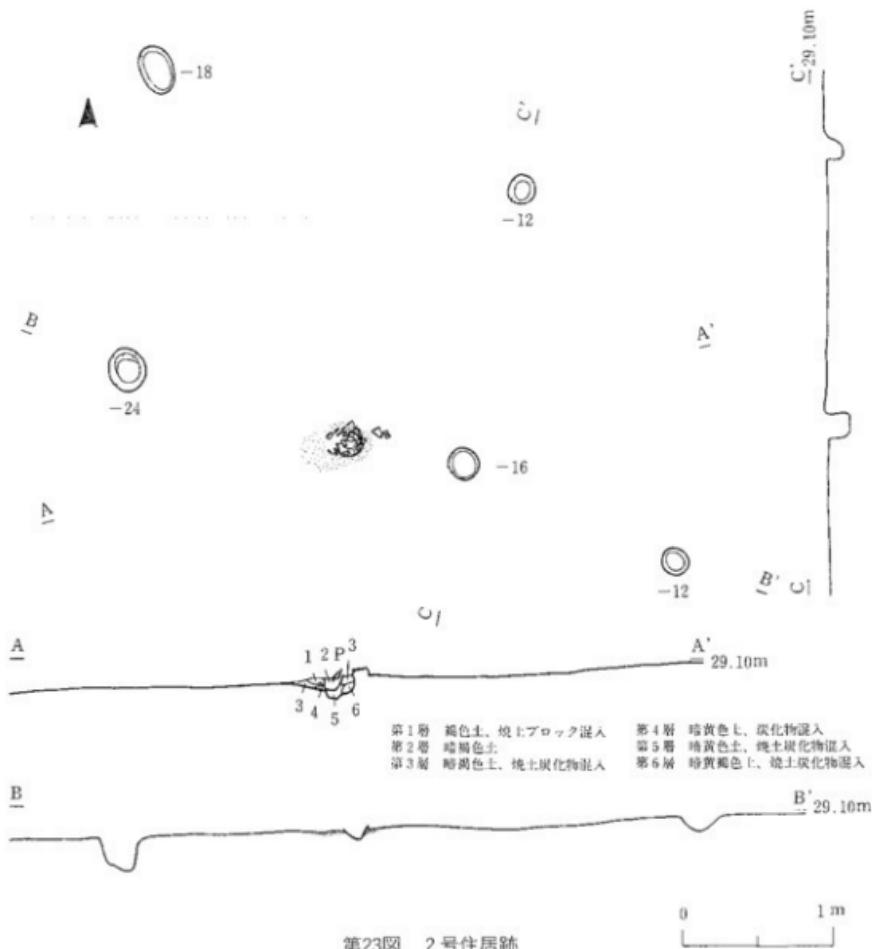
上がる。ビットは1個のみの検出である。底面はやや凹凸がみられる。東壁面側に長軸1.1m、短軸90cm、深さ37cmの橢円形を呈する浅い掘り込みが認められた。

出土遺物

土器 (第31図5~24)

全て覆土出土である。内外面に縄文を施すもの、羽状縄文を施すもの、同程度の太さのLとRの原体を交互に束ねて回転施文するもの、0段多条の単節斜縄文を施すものである。22~24は底部で、施文は0段多条のRL原体によるものである。

石器 (第33図5)



5は石錐である。扁平な自然礫の両端を打ち欠いている。

2号竪穴造構（第25図）

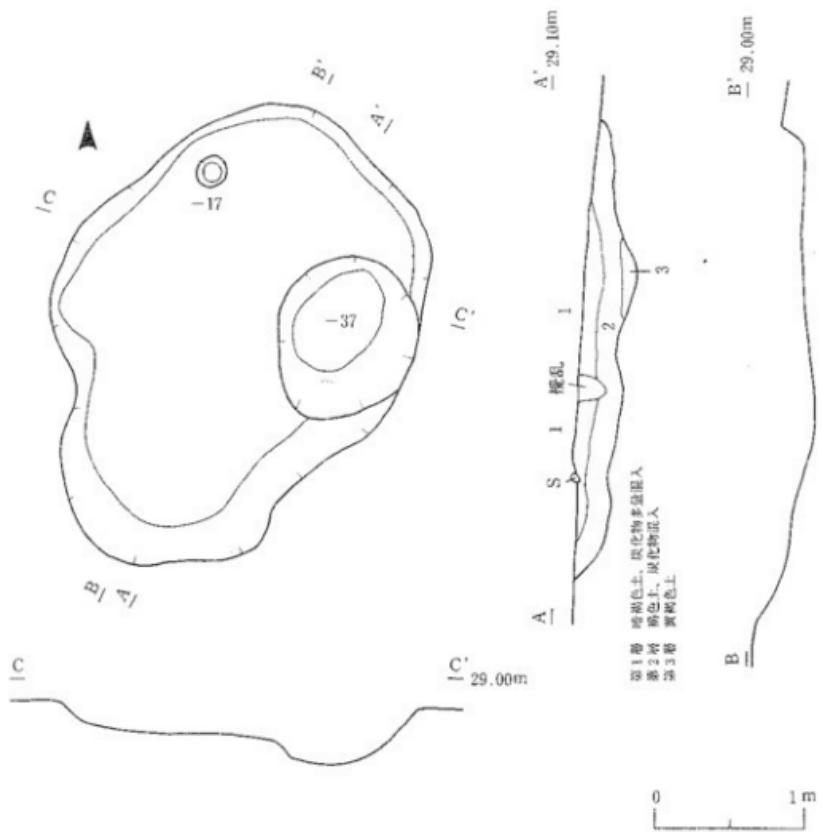
調査区の中央部で検出された。

プランは長軸3.8m、短軸2mの不整椭円形を呈し、確認面からの深さは20cmで、壁は緩く立ち上がる。西壁側面に長軸1m、短軸90cm、深さ9cmの椭円形を呈する浅い掘り込みが認められた。

出土遺物

土器（第32図25）

25は覆土出土である。羽状縄文を施すものである。



第24図 1号竖穴遺構

土壤出土遺物

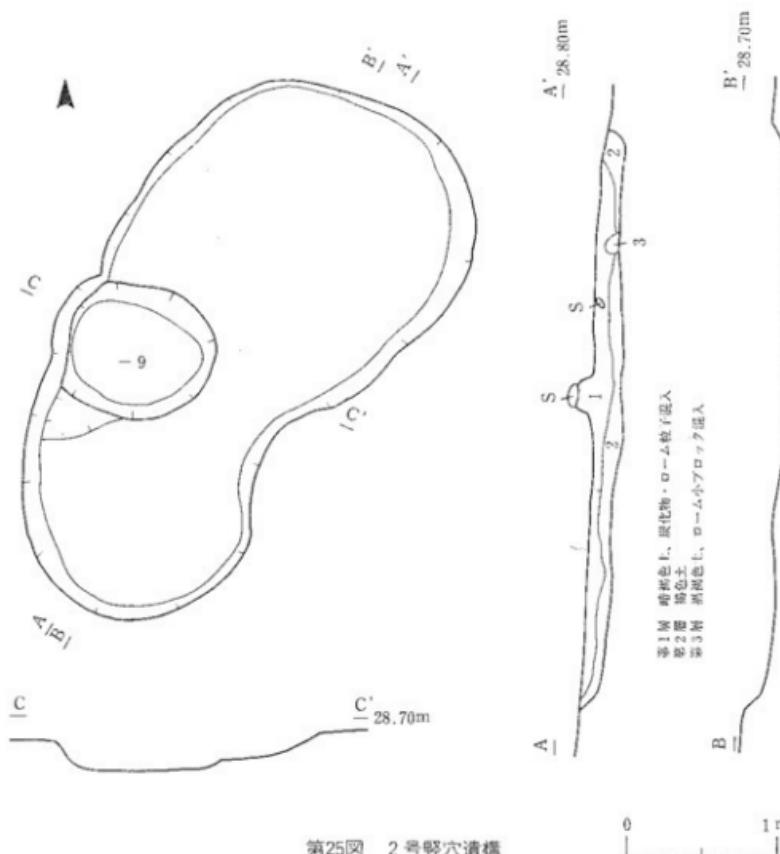
(縄文時代)

土器 (第30図4、第32図26、27、32~35、37~44)

8基の土壤から出土している。全て深鉢形土器と考えられ、地文のみのものである。斜縄文、羽状縄文、条痕文、同程度の太さのLとRの原体を交互に束ねて回転施文するものである。26、27、35、37~41は単節斜縄文を施すもので、4、15、19号土壤から出土している。43、44は無節斜縄文を施すもので、23号土壤から出土している。34は羽状縄文を施すもので、15号土壤から出土している。4は条痕文を施すもので、11号土壤から出土している。32、33、42は同程度の太さのLとRの原体を交互に束ねて回転施文するもので、9、10、22号土壤から出土している。

石器 (第33図1~4、6)

4基の土壤から出土している。4は鋸歯状石器である。縁辺を両面加工し、鋸歯状に作り出した



第25図 2号竪穴遺構

もので、石質はメノウである。4号土壌から出土している。2は磨石で、棒状の自然礫の全面が磨かれているもので、11号土壌から出土している。3はヘラ状石器で、縦長剝片を素材とし、刃部が弧状を呈するものである。石質は硬質頁岩である。6は石鍤で、扁平な自然礫の両端を打ち欠いている。12号土壌から出土している。4は櫛型石匙で、細身のものである。15号土壌から出土している。石質は頁岩である。

(弥生時代)

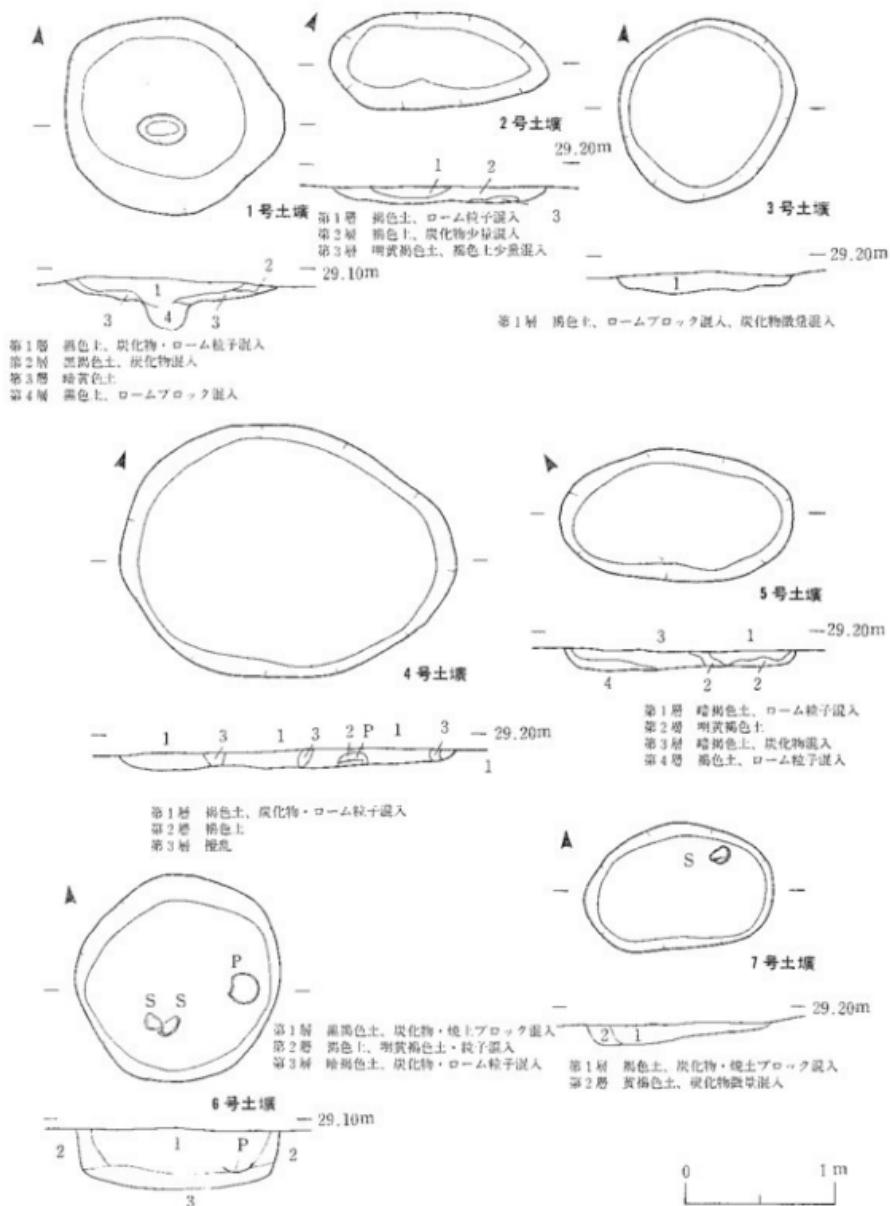
土器 (第30図3、第32図28~31、36)

2基の土壙から出土している。3、28~30は高環形土器で、3の部体には変形工字文が施される。31は鉢形土器である。全て地文はLR単節斜繩文(横位回転)である。6号土壙から出土している。36は腹形土器で、口唇部にLR単節斜繩文(横位回転)が施されている。16号上壙から出土している。

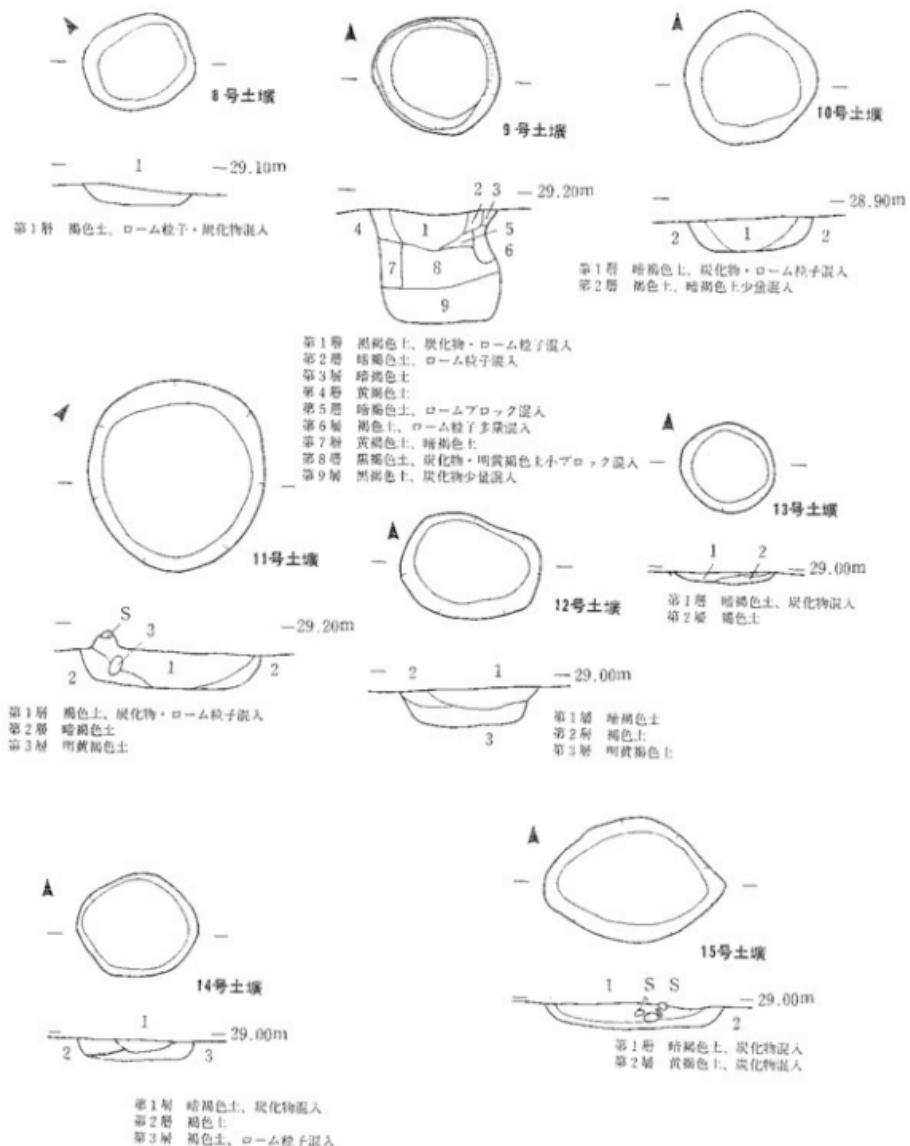
土壤一覽表

| 番号 | 規 模 (cm) | | | 平面形 | 断面形 | 出土遺物 |
|----|-----------|-----------|-----|-----|-----|----------------------------|
| | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | |
| 1 | 145 | 131 | 15 | 楕円形 | 1 | |
| 2 | 146 | 63 | 20 | 楕円形 | 1 | |
| 3 | 124 | 117 | 14 | 楕円形 | 1 | |
| 4 | 216 | 176 | 13 | 楕円形 | 1 | 第32図26、27(縄文)、第33図1(圓筒状石器) |
| 5 | 157 | 87 | 14 | 楕円形 | 2 | |
| 6 | 139 | 136 | 39 | 円形 | 3 | 第30図3、第32図28~31(弥生) |
| 7 | 126 | 84 | 13 | 楕円形 | 1 | |
| 8 | 74 | 60 | 12 | 楕円形 | 2 | |
| 9 | 84 | 79 | 73 | 円形 | 3 | 第32図32(縄文前期) |
| 10 | 88 | 88 | 22 | 円形 | 2 | 第32図33(縄文前期) |
| 11 | 127 | 124 | 76 | 円形 | 3 | 第30図4、第33図2(磨石) |
| 12 | 93 | 70 | 24 | 楕円形 | 2 | 第33図3(ヘラ状石器)、6(石鍬) |
| 13 | 69 | 60 | 8 | 楕円形 | 1 | |
| 14 | 82 | 71 | 24 | 楕円形 | 2 | |
| 15 | 119 | 84 | 17 | 楕円形 | 2 | 第32図34、35(縄文)、第33図4(石匙) |
| 16 | 推定 160 | 推定 130 | 89 | 楕円形 | 4 | 第32図36(弥生) |
| 17 | 125 | 112 | 59 | 楕円形 | 4 | |
| 18 | 90 | 85 | 71 | 楕円形 | 3 | |
| 19 | 131 | 129 | 97 | 円形 | 5 | 第32図37~41(縄文中期) |
| 20 | 142 | 78 | 17 | 楕円形 | 1 | |
| 21 | 90 | 89 | 25 | 円形 | 1 | |
| 22 | 79 | 73 | 13 | 楕円形 | 1 | 第32図42(縄文前期) |
| 23 | 142 | 130 | 104 | 楕円形 | 4 | 第32図43、44(縄文) |
| 24 | 142 | 125 | 148 | 楕円形 | 5 | |
| 25 | 110 | 109 | 136 | 円形 | 5 | |

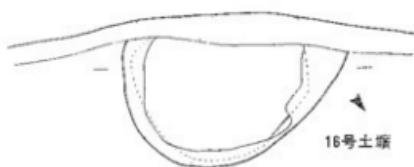




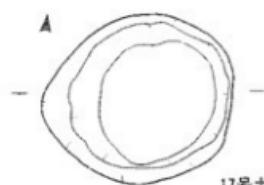
第26図 土 壤



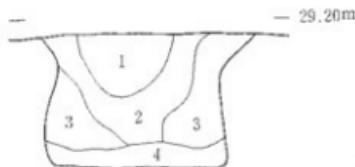
第27図 土 壴



16号土壤



17号土壤

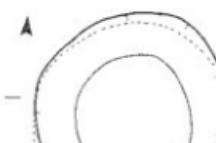


第1層 黒褐色土、炭化物混入
第2層 暗褐色土、炭化物・ローム粒子混入
第3層 棕色土
第4層 着褐色土、炭化物多量混入

第1層 黒褐色土、炭化物・ローム粒子・純土小ブロック混入
第2層 棕色土、炭化物混入
第3層 棕色土、黒褐色土混入
第4層 黒褐色土、炭化物多量混入

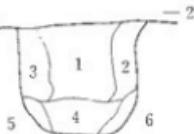


18号土壤



19号土壤

— 29.00m —



第1層 黒褐色土、炭化物・明黄褐色土ブロック混入
第2層 暗褐色土
第3層 明黄褐色土混入
第4層 暗褐色土、明黄褐色土小ブロック混入
第5層 暗褐色土、ローム粒子混入
第6層 棕色土、ローム粒子混入

19号土壤

— 28.90m —



20号土壤

— 28.00m —

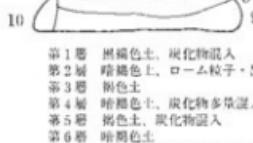


第1層 暗褐色土、炭化物・ローム粒子混入
第2層 棕色土、炭化物混入
第3層 にぶい黄褐色土、ローム粒子混入

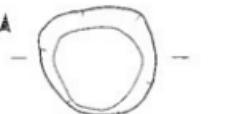


21号土壤

— 29.10m —

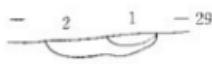


第1層 黒褐色土、炭化物混入
第2層 暗褐色土、ローム粒子・黒褐色土混入
第3層 棕色土
第4層 暗褐色土、炭化物多量混入
第5層 棕色土、炭化物混入
第6層 暗褐色土
第7層 棕色土、明黄褐色土ブロック混入
第8層 黑褐色土、炭化物少量混入
第9層 棕色土、炭化物・ローム粒子混入
第10層 黄褐色土



22号土壤

— 29.10m —

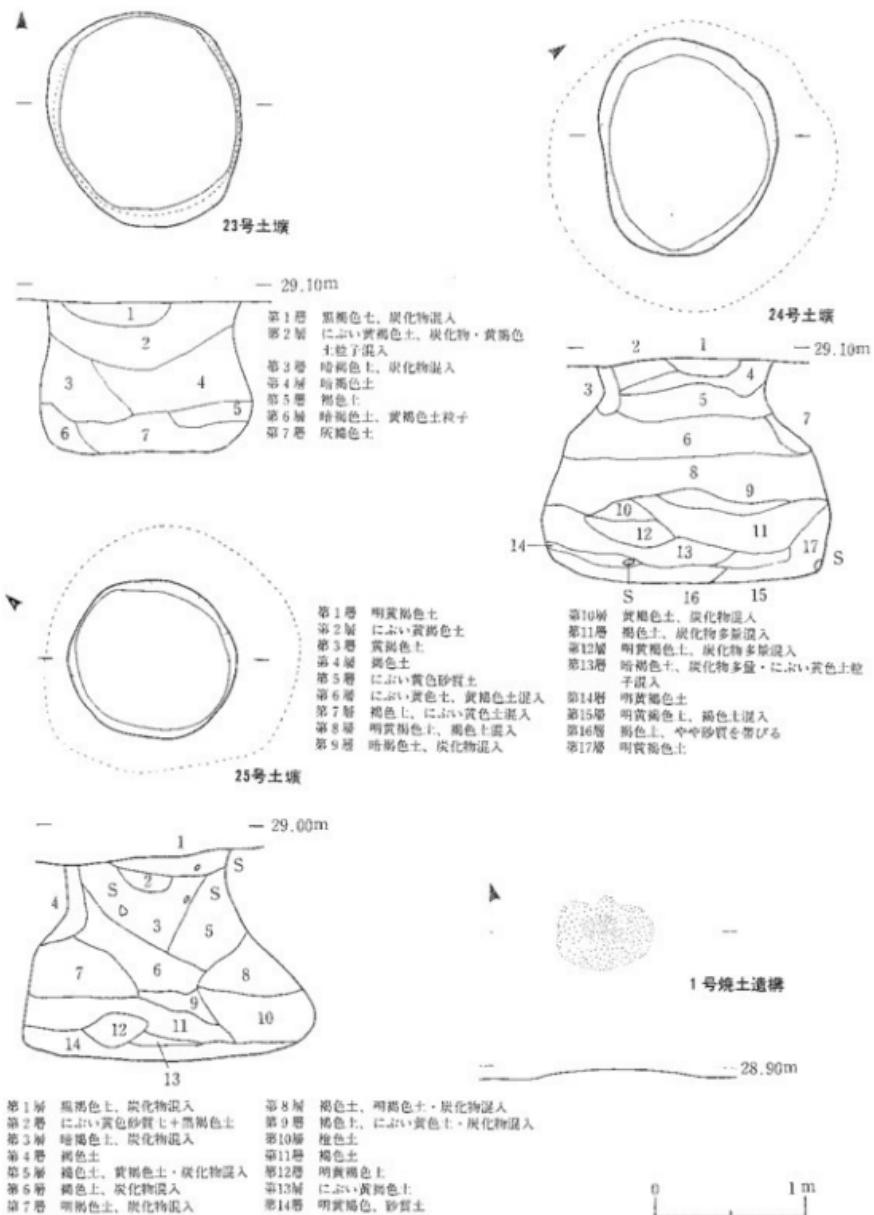


第1層 暗褐色土、炭化物混入
第2層 暗褐色土、炭化物混入

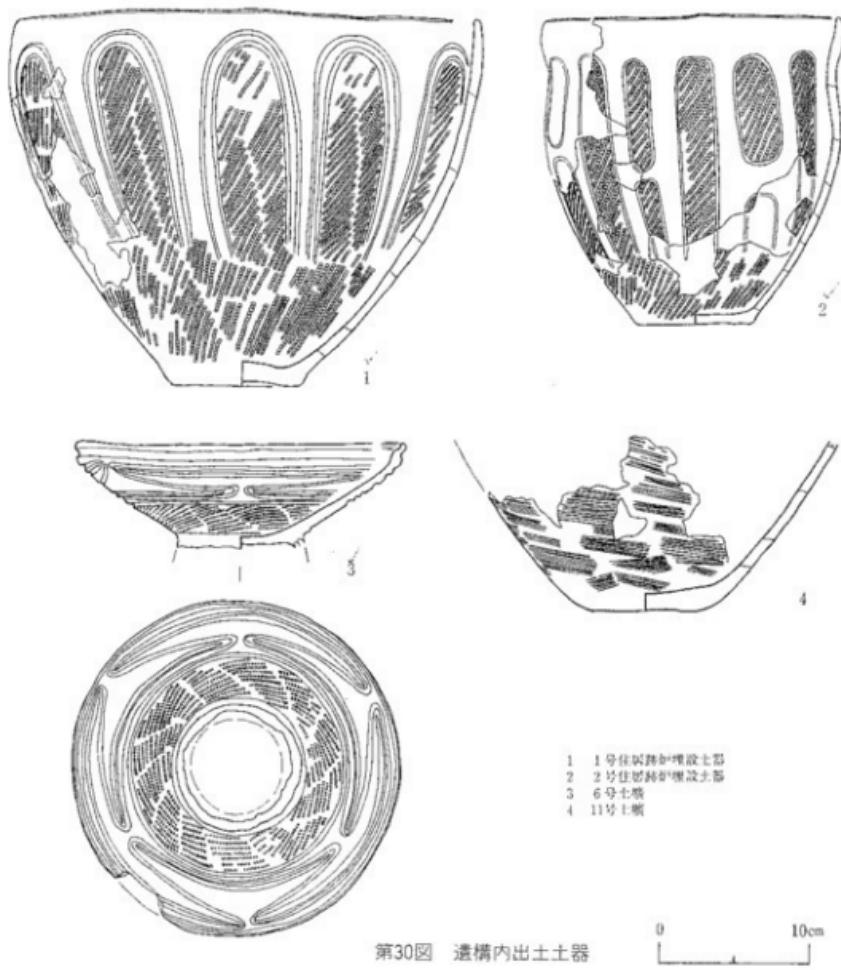
6 1 m

第1層 暗褐色土、炭化物混入
第2層 棕色土、ローム粒子混入

第28図 土 壤



第29図 土壌、焼土遺構



第30図 遺構内出土土器

焼土造構（第29図）

調査区の西側で検出された。

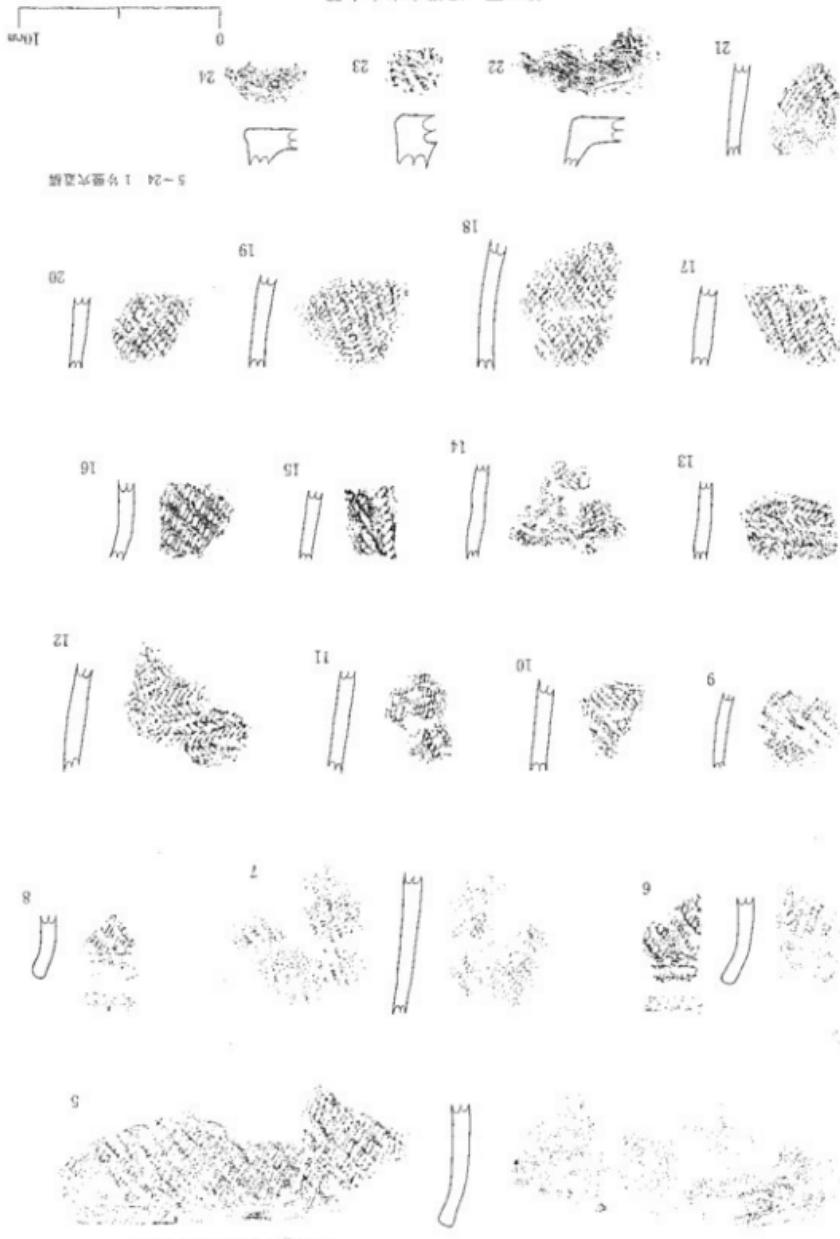
ローム面で確認された。平面形は長軸65cm、短軸45cmの橢円形を呈し、強く火熱を受けている。焼土の厚さは13cmである。

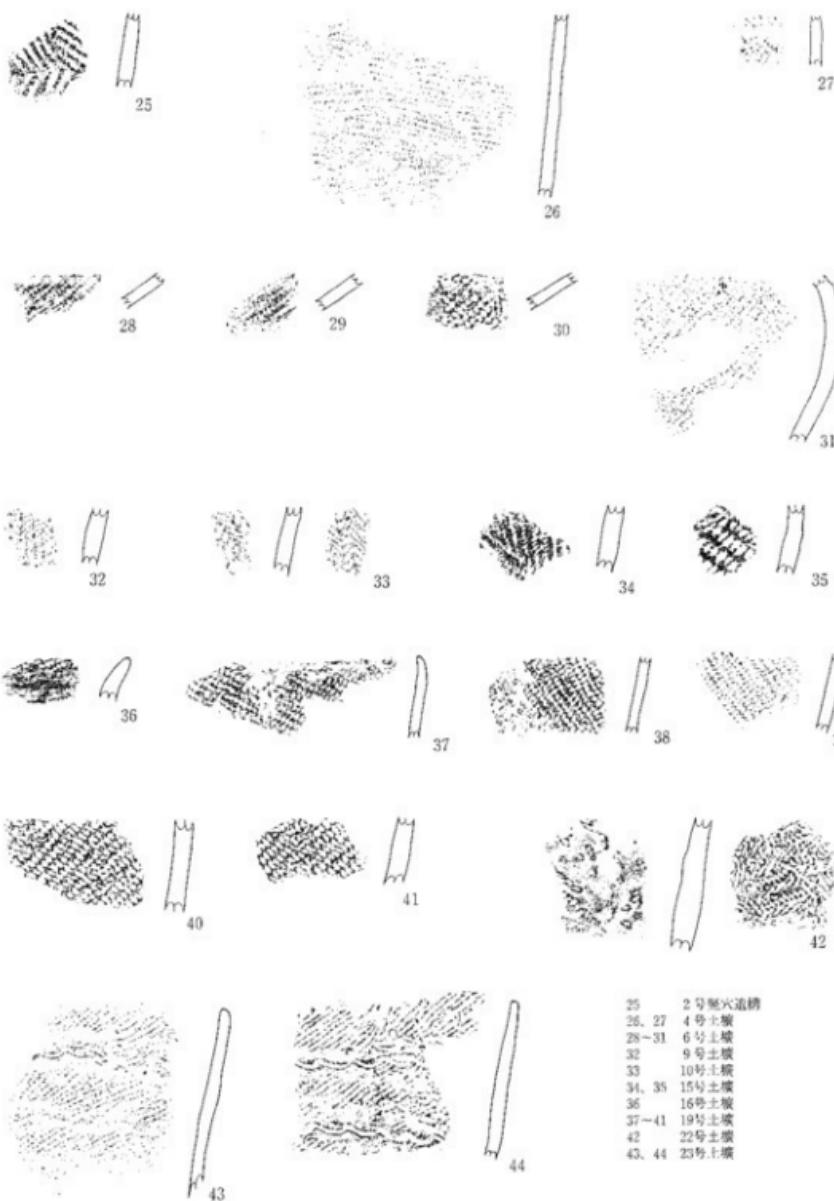
土壤

1号土壤（第34図）

調査区の中央部で検出された。

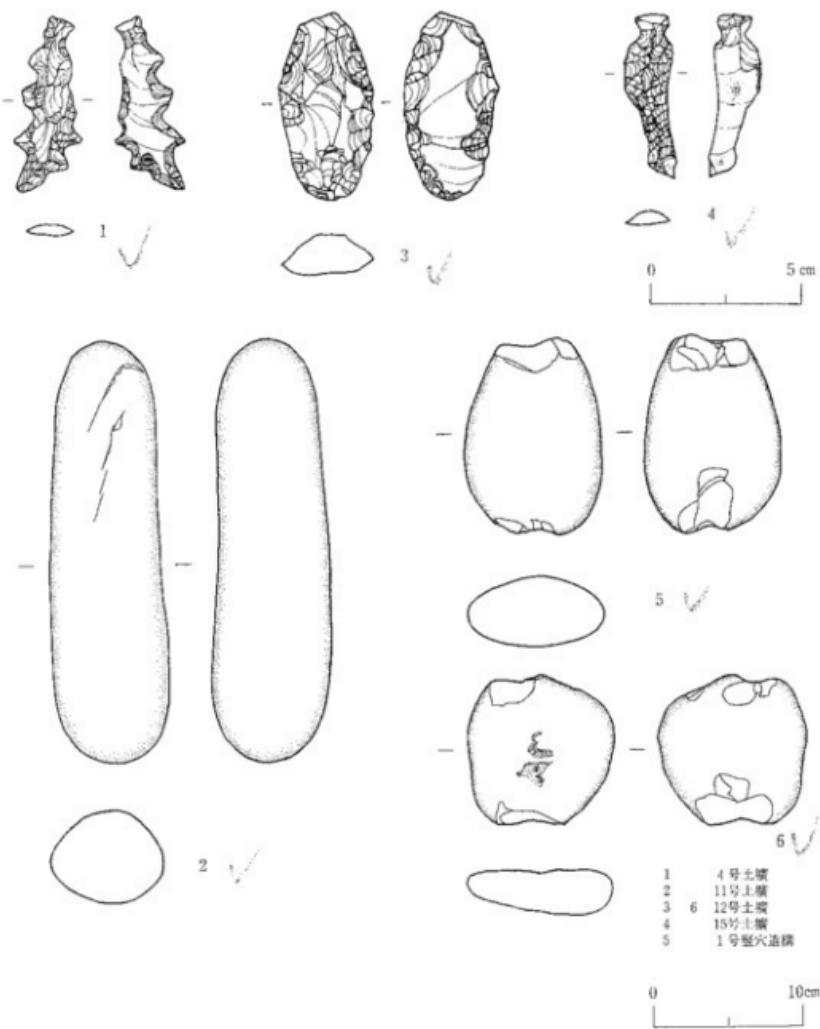
第31圖 遷都內出土土器





第32図 遺構内出土土器

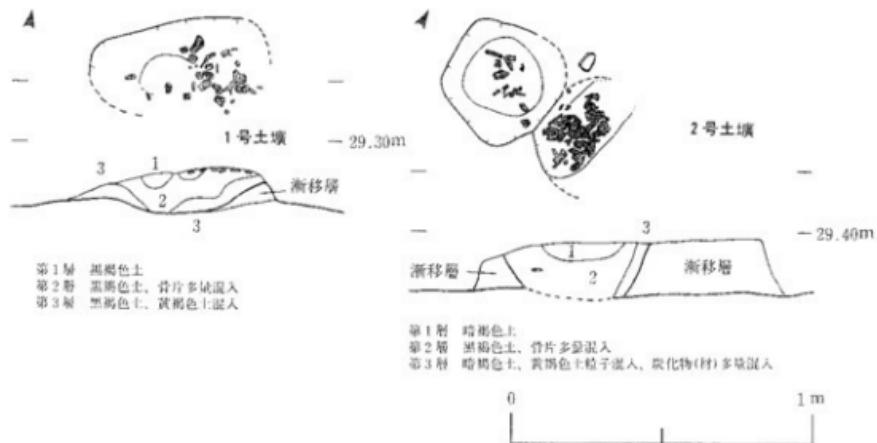
0 10cm



第33図 遺構内出土石器

第II層（黒褐色土）面で確認されたが、遺構は判然としない。骨は60×30cmの範囲で検出され、確認面からの深さは15cmである。骨片に少量の炭化材が混じり合う形で出土した。骨片は長さ2～5cm程度のものが多く、大型のものは出土していない。また、規則的なまとまり方は呈していない。周辺に火熱を受けた痕跡はみられない。

なお、遺存状況が良好であった骨片7点の鑑定結果については、分析報告を参照されたい。



第34図 1、2号土壤

2号土壤 (第34図)

調査区の中央部で検出された。1号土壤の東、4.5mに位置する。

1号土壤と同様に第II層（黒褐色土）面で確認されたが、遺構は判然としない。骨は $60 \times 40\text{cm}$ の範囲で検出され、確認面からの深さは20cmである。骨片と炭化材が1号土壤よりまとまった形で出土した。骨片は長さ2~7cm程度のものや、細片が多く出土しており、大型のものは出土していない。また、規則的なまとまり方は呈していない。周辺に火熱を受けた痕跡はみられない。

なお、遺存状態が良好であった骨片のまとまり2点の鑑定結果については、分析報告を参照されたい。

出土土器

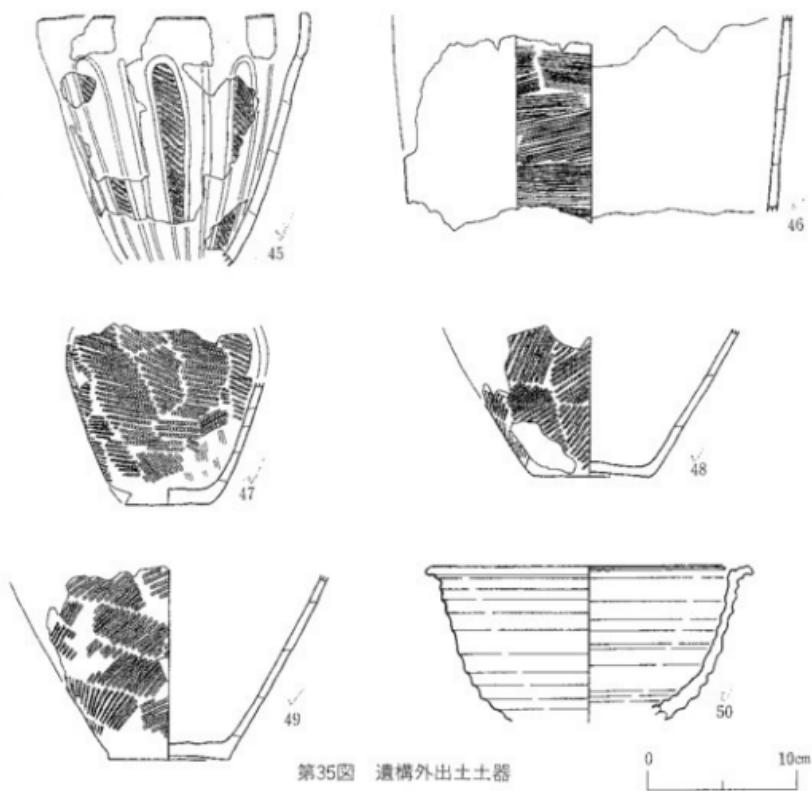
遺構内・外出土土器を施文様により群に大別し、類に細別した。なお、遺物包含層における層位的な区別は認められなかった。

弥生土器の器種は、a類（壺形土器）、b類（鉢形土器）、c類（高環形土器）、d類（壺形土器）とした。

第I群土器 (第31図5~24、第32図25、32~35、42、第36図51、52)

1類 (5~7、51)

内外面に縄文を施すものである。5~7の外面は0段多条のRL単節斜縄文（横位回転）で、5の内面はLR単節斜縄文（斜位回転）、6はRL単節斜縄文（縦位回転）、7は外面と同じ0段多条のRL単節斜縄文（横位回転）である。5、6の口唇部には同一原体による縄文が施されている。



第35図 遺構外出土土器

0 10cm

51は両面ともR L単節斜縄文で、外面が縦位回転、内面が横位回転である。

2類 (9~11, 25, 34, 52)

羽状縄文を施すものである。LR・RL原体を用いた非結束羽状縄文と考えられる。

3類 (12~15, 32, 33, 42)

同程度の太さのLとRの原体を交互に束ねて回転施文したものである。節が組紐の場合と異なり離れている。

4類 (16~21)

0段多条の単節斜縄文を施すものである。全て0段多条のRL単節斜縄文(横位回転)である。

5類 (35)

単節斜縄文を施すものである。地文はRL単節斜縄文(縦位回転)である。

6類 (22~24)

底部に縄文を施すものである。0段多条のRL原体を用いている。

第II群土器（第30図1、2、第35図45、第36図54、55）

沈線区画の磨消帯を有するもので、幅の狭い磨消帯が縱位方向へ展開する。全て深鉢形土器である。1は口縁部がやや内湾ぎみに直立するもので、二重の細長い逆「U」字文が施されるものである。2は胴部が膨らみ口縁部が外反するもので、縱位の楕円文と逆「U」字文との組み合せが施されるものである。45は細長い逆「U」字文と縱位の沈線が施されるものである。地文は1、2、55がRL單節斜繩文（縱位回転）、45がLR單節斜繩文（縱位回転）、54がRLR複節斜繩文（縱位回転）である。

第III群土器（第30図4、第32図26、27、37~41、43、44、第35図46、48、49、第36図53）

地文のみのものを一括した。斜繩文、条痕文を施すものであるが、斜繩文は第I群土器と区別されるものである。

1類（43、44、53）

無節斜繩文を施すものである。全てLR無節斜繩文（横位回転）である。43、44には緩やかな「S」字状の繩の結び目がみられる。また53にも繩の結び目がみられる。全て深鉢形土器である。

2類（26、27、37~41）

単節斜繩文を施すものである。LR及びRL原体を縱位、横位、斜位に回転施文するもので、全て深鉢形土器である。

3類（4、46）

条痕文を施すものである。条痕は器面に対し横位、斜位に施すものである。いずれも深鉢形土器である。

第IV群土器（第36図56、57）

羊齒状文を施すものである。いずれも体部が湾曲しながら立ち上がる浅鉢形土器である。口縁部の沈線間に末端の咬み合う羊齒状文が施されている。

第V群土器（第30図3、第32図28~30、第36、37図58~74）

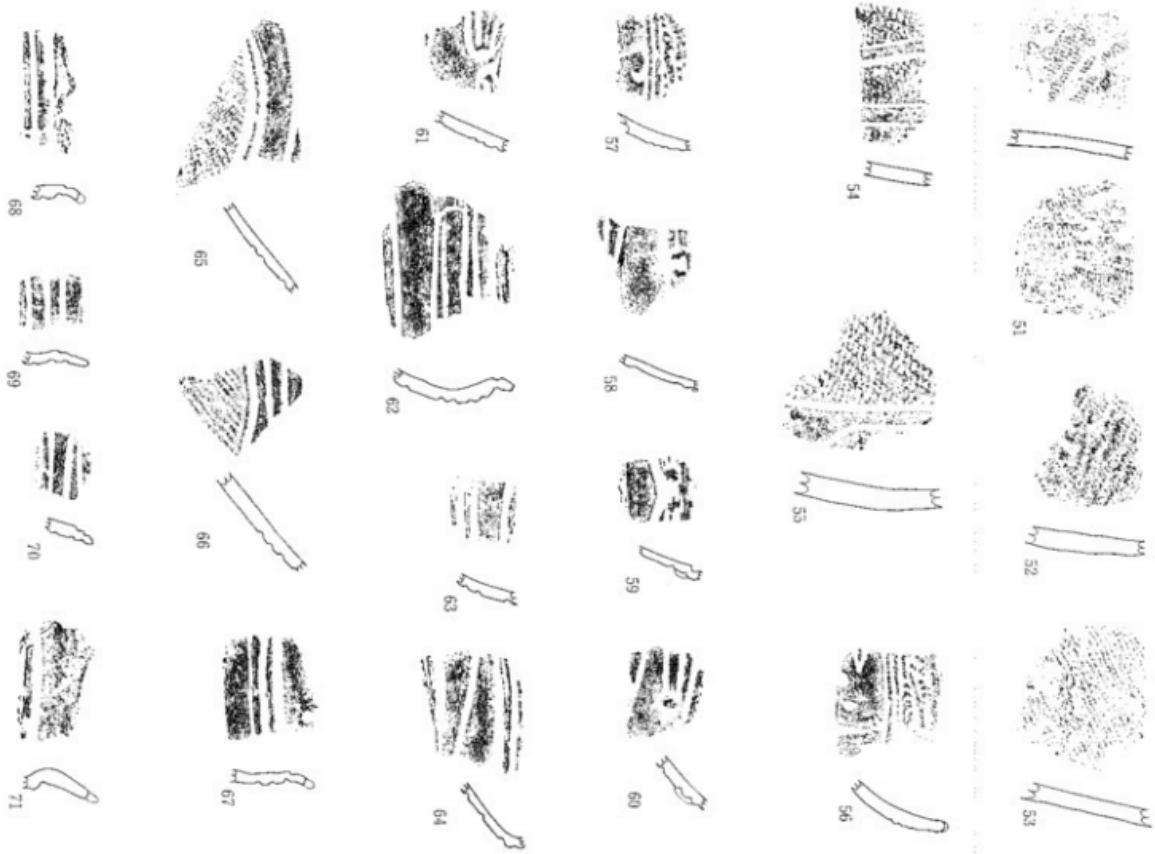
変形工字文、口縁部に数条の平行沈線を施すものである。

1類

変形工字文を施すものである。

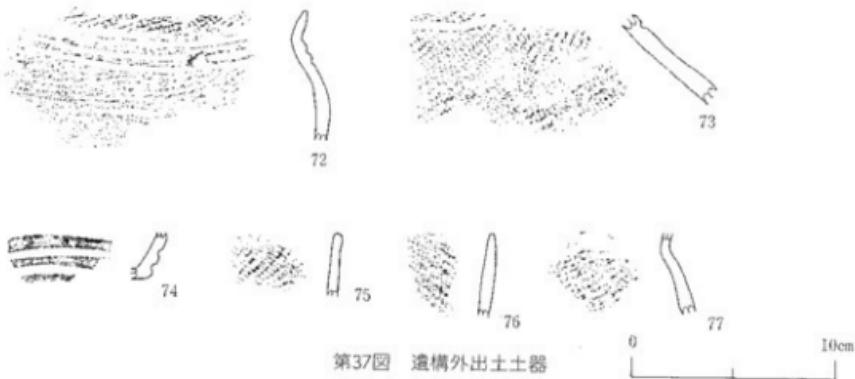
b類（58、59、61~63）

変形工字文を施すもので、粘土粒が貼付されるもの（58、59）と貼付されないもの（61~63）がある。59の内面には2条の沈線が施される。62、63は同一個体で、体部から口縁部にかけて内湾し、口縁部が外反するものである。



第36圖 遺構外出土土器

0 10cm



第37図 遺構外出土土器

c類 (3、28~30、60、64~66)

変形工字文を施すもので、粘土粒が貼付されるものは60だけである。3は体部から口縁部にかけてや内溝ぎみに上方に広がり、口縁部が外反する。体部には2条の平行沈線間に変形工字文を施している。地文は全てLR単節斜繩文(横位回転)である。

2類

口縁部から体部に数条の平行沈線を施すものである。

a類 (72)

地文施文後に、頸部に数条の平行沈線を施すものである。波状口縁を呈し、口縁部が外反するものである。地文はLR単節斜繩文(横位・斜位回転)である。

b類 (67~71、74)

67~71は口縁部が外反する鉢形土器である。67、68、71は山形口縁をなし、67、68の頂部には刻みが施され、内面には1条の沈線が巡る。67の内面には横方向のミカキがみられる。74は底部からいくぶん内溝ぎみに上方へ立ち上がるもので、内外面とも磨かれている。

d類 (73)

厚手で、大型の器形をなすものである。頸部に2条の平行沈線が施され、体部内外面に刷毛目調整痕が認められる。地文はLR単節斜繩文(横位・斜位回転)である。

第VI群土器 (第32図31、36、第35図47~49、第37図75~77)

地文のみのものを一括した。第I・III群土器とは区別されるものである。

a類 (36、48、49)

36は口縁部が外反し、口縁上部に繩文が施されるものである。地文は36、49がLR単節斜繩文(横位回転)、48がRL単節斜繩文(縦位回転)である。

b類 (31、47、75~77)

31、47、77は体部上半に最大径をもつもので、31、77はやや厚手、75、76は薄手のものである。

地文は31、77がL R 単節斜櫛文（横位回転）、47が縦位・斜位回転である。75、76はR L 単節斜櫛文で、75が縦位回転、76が横位回転である。

第VII群土器（第35図50）

赤褐色上器である。鉢で体部下半から上半にかけてやや内湾ぎみに立ち上がり、口縁部が外傾する。内外面ともロクロ痕が認められる。胎土には1~2mmの砂粒を多く含む。

遺構出土石器

石鏃（第38図7、8）

2点出土している。いずれも有茎のものである。石質は7が黒曜石、8が頁岩である。

石錐（第38図9）

錐部が短いもので、尖端が摩耗している。石質は頁岩である。

石匙（第38~40図10~38）

29点出土している。38以外は全て縦型で、細身で長身のものが多い。32~37は下部が欠損している。石質は頁岩が多い。

槍先状石器（第40図39、40）

2点出土している。いずれも木葉形を呈している。石質は39が頁岩、40はチャートである。

ヘラ状石器（第40、41図41~54、第42図55、59、第43図68）

17点出土している。平面形が撥形ないしは短冊形を呈するものがほとんどで、両面調整のものが多い。49~52は裏面の両側縁に細部調整を施したものである。石質は全て硬質頁岩である。

搔器（第42図56~58）

3点出土している。縁辺に調整を施し、刃部を作り出している。石質は頁岩である。

削器・削器状石器（第42、43図60~67）

8点出土している。縦長剥片を利用したもので、一側縁ないし二側縁に調整を施して刃部を作り出している。石質は頁岩である。

鋸齒縁石器（第43図69）

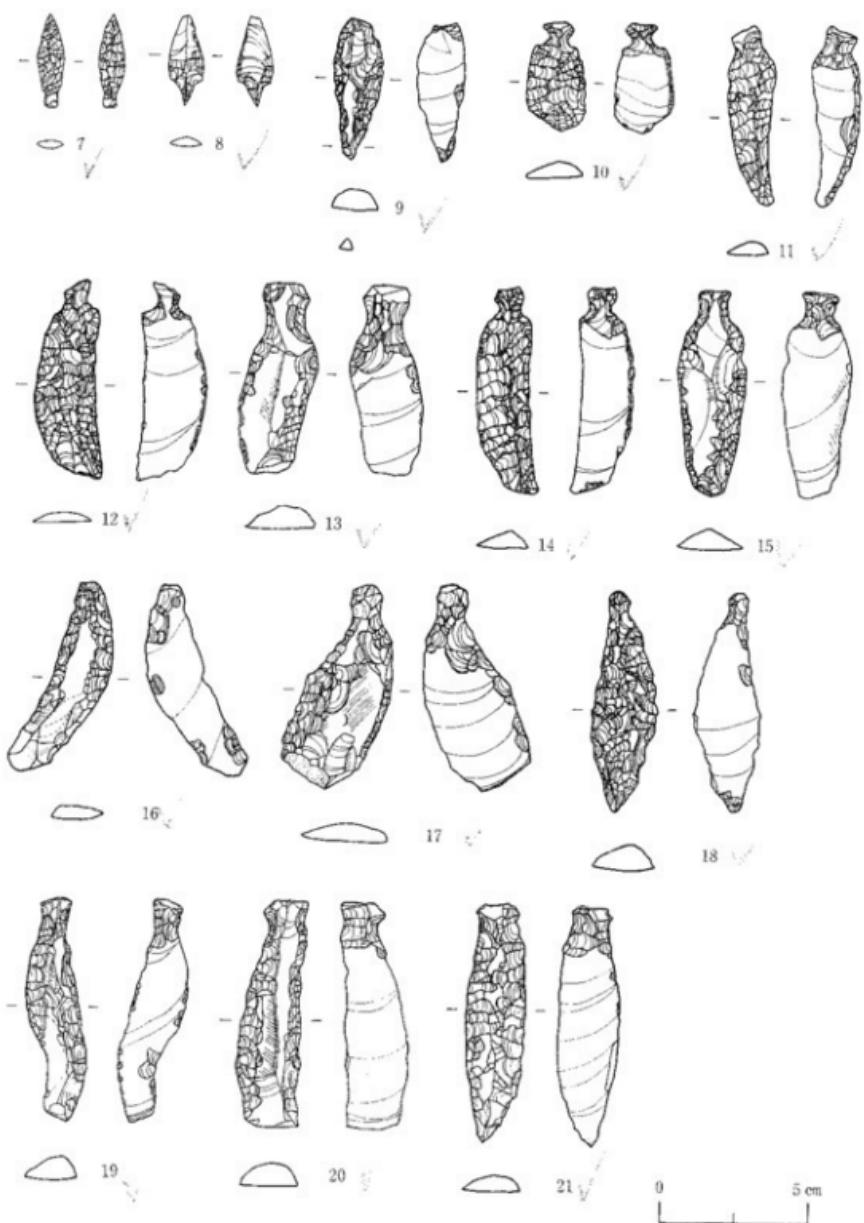
平面形が半月状をなすもので、両面加工を施している。上部にアスファルトが付着している。石質は硬質頁岩である。

磨製石斧（第44図70~73）

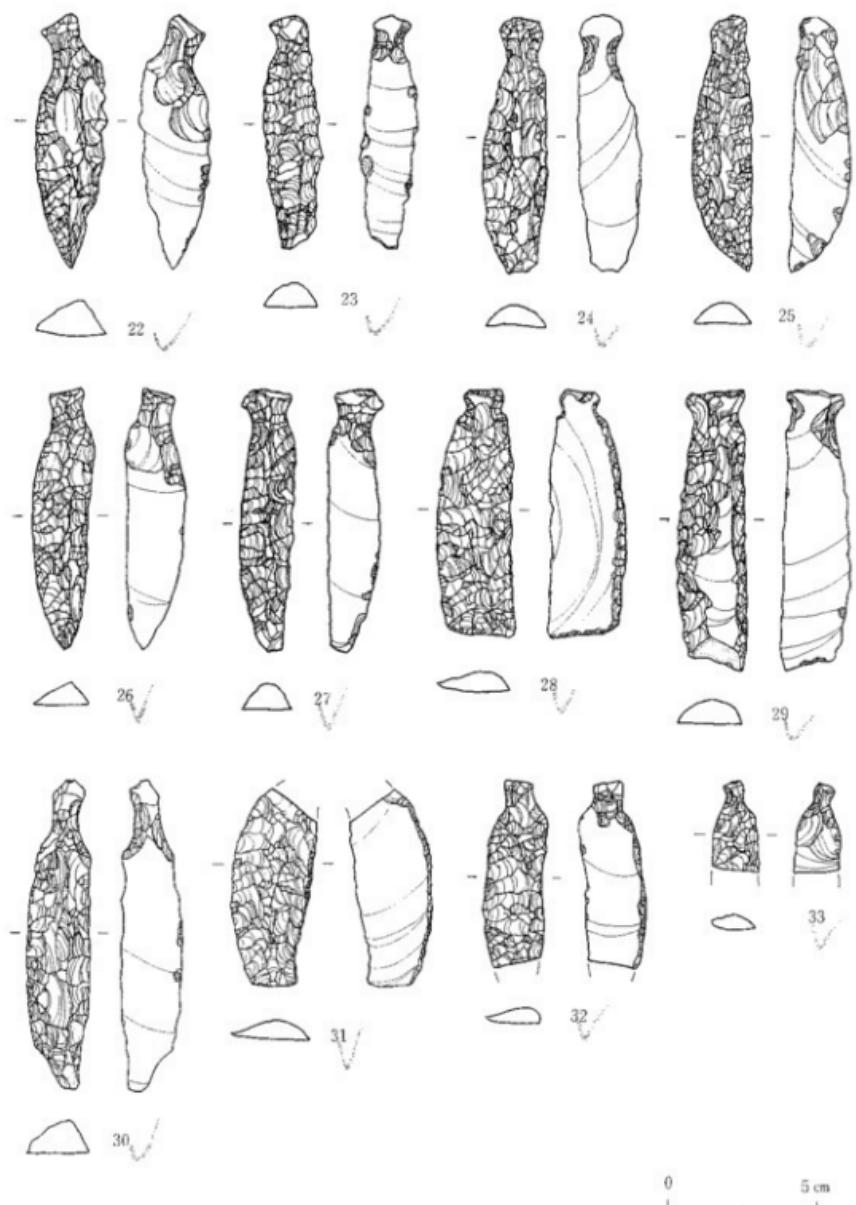
4点出土している。71、72は上部、73は下部が欠損している。刃部は円刃を呈している。石質は凝灰岩である。

石錐（第45~52図74~135）

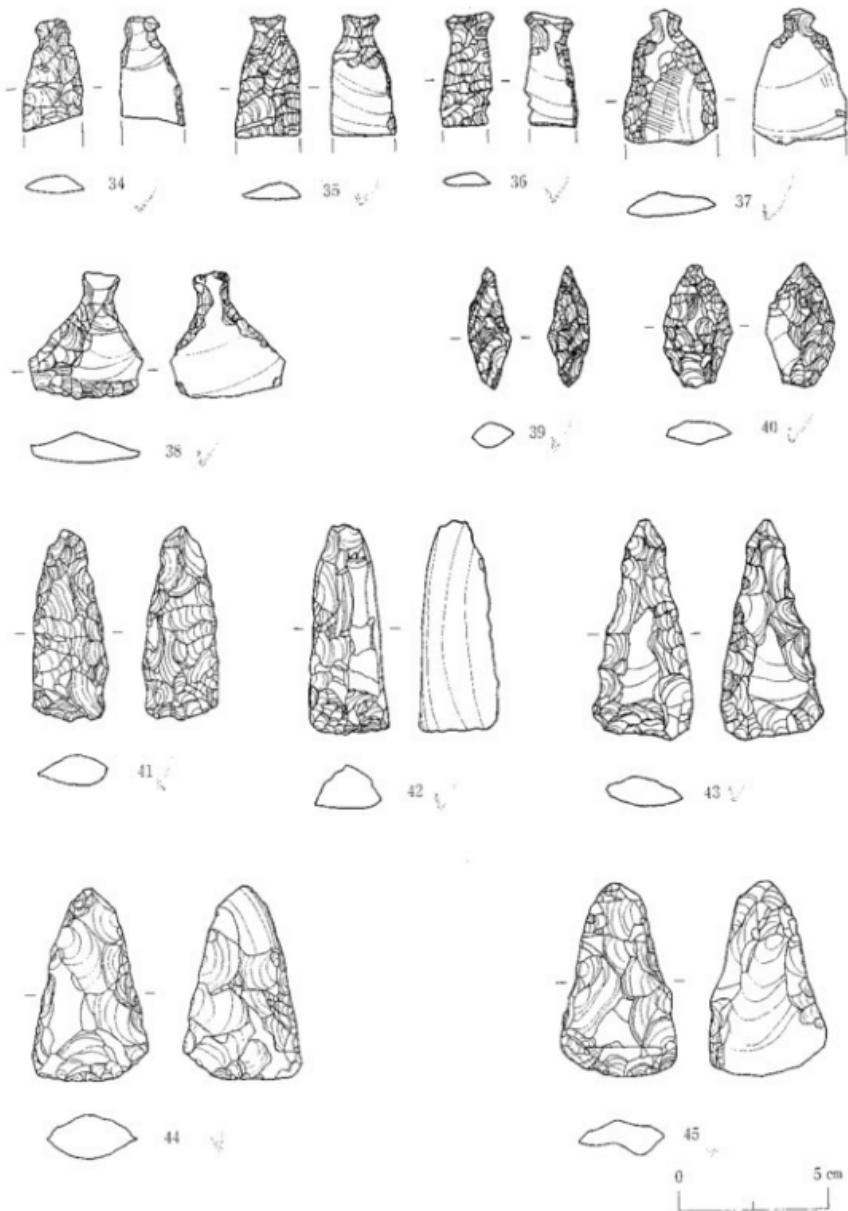
62点出土している。扁平な自然石の両端を打ち欠いているものである。134、135の平坦面にはく



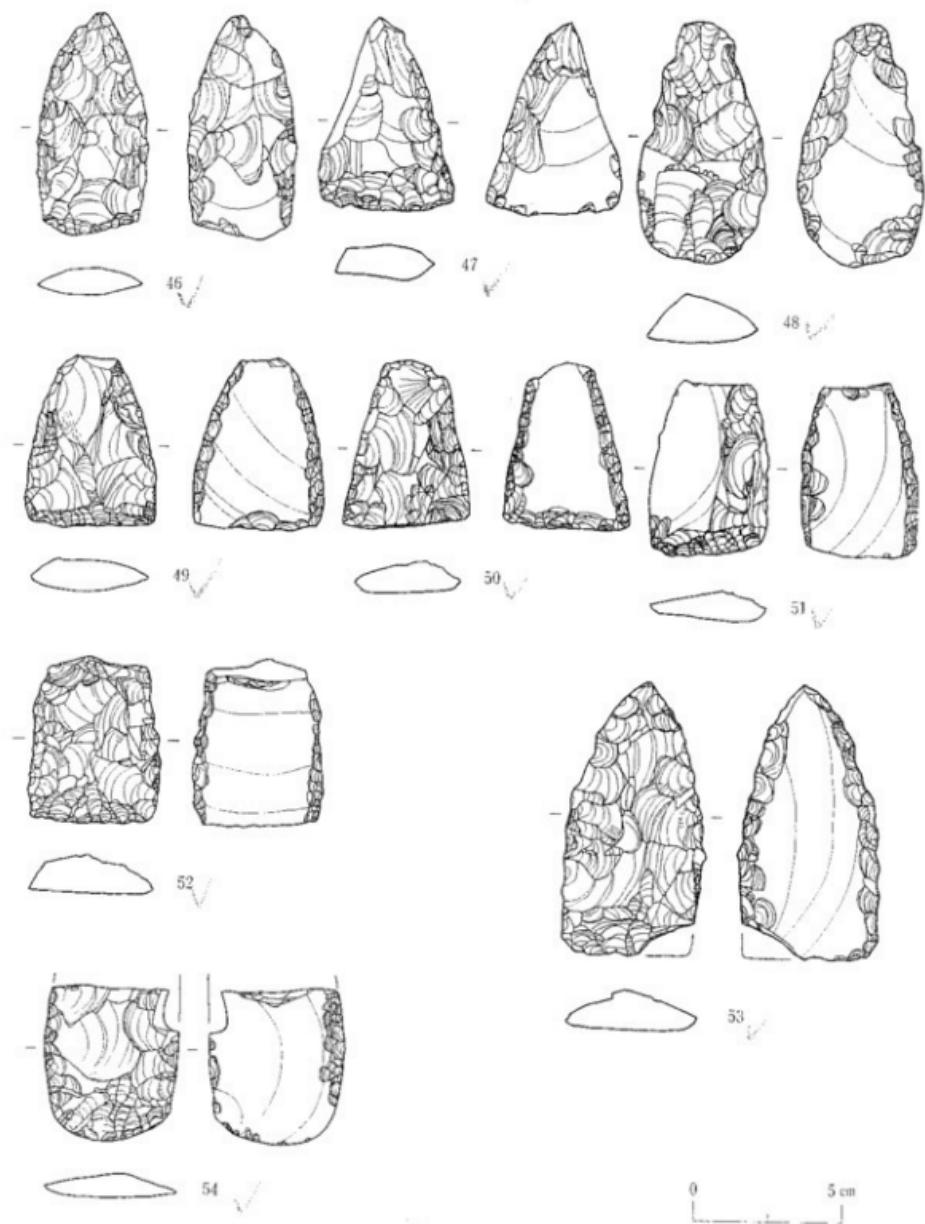
第38図 遺構外出土石器



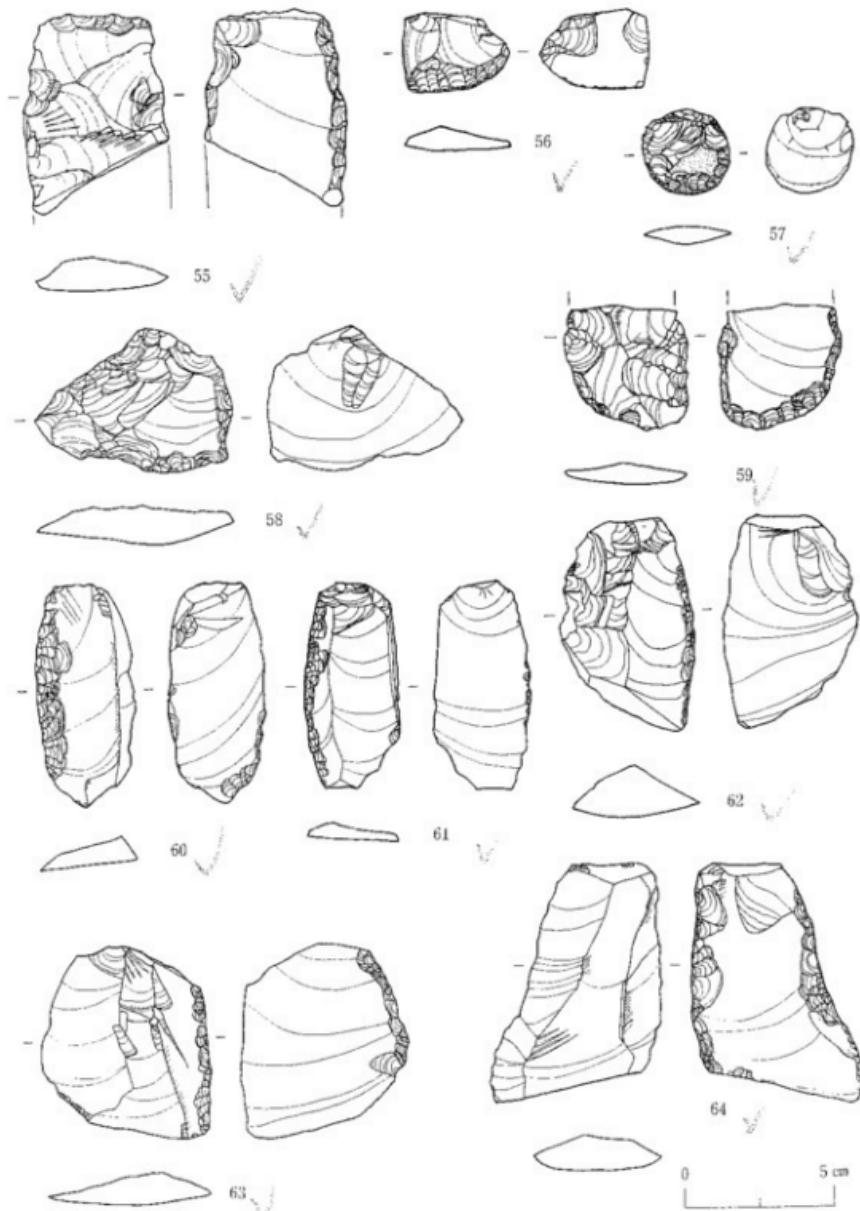
第39図 遺構出土石器



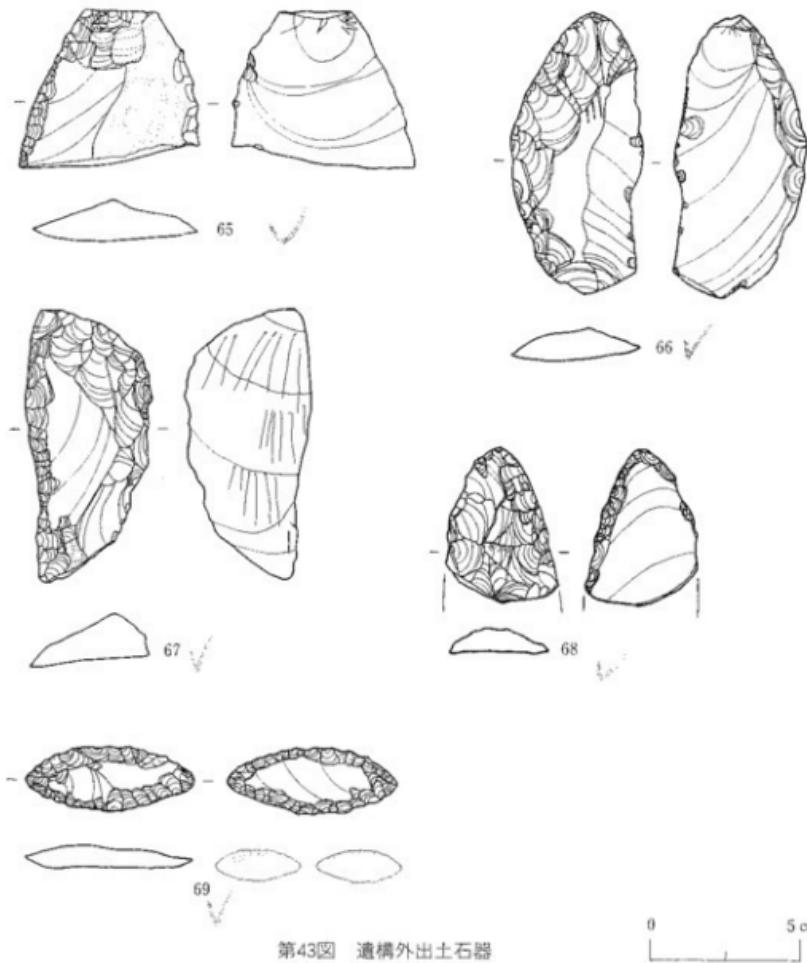
第40図 透構外出土石器



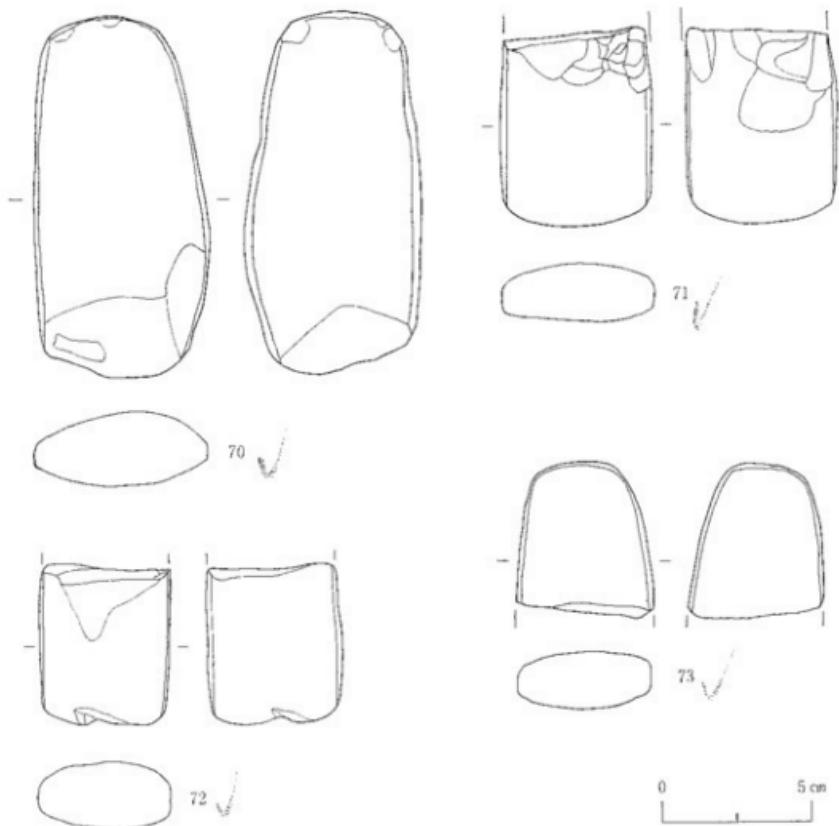
第41図 遺構出土石器



第42図 遺構外出土石器



第43図 遺構外出土石器



第44図 遺構外出土石器

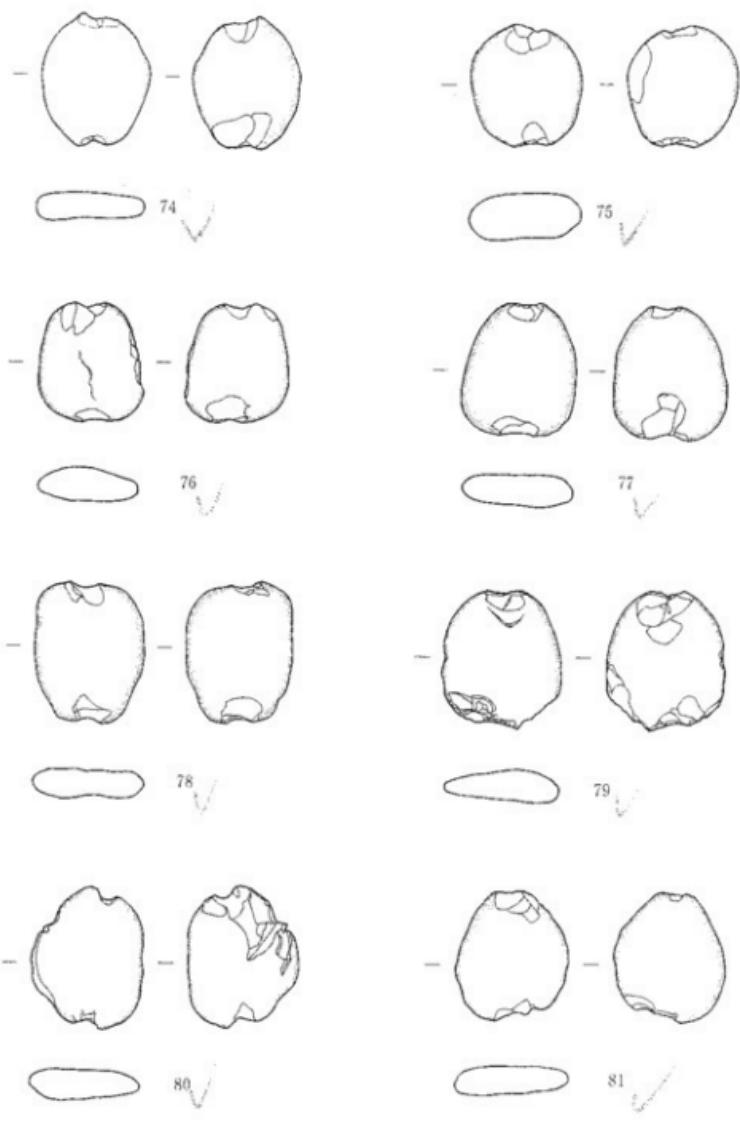
ほみがあり、「くぼみ石」としても使用されている。

磨石（第52、53図136～143）

8点出土している。両面が磨れているもので、比較的扁平なものと、やや肉厚のものがある。143の中央部にはくぼみがみられる。

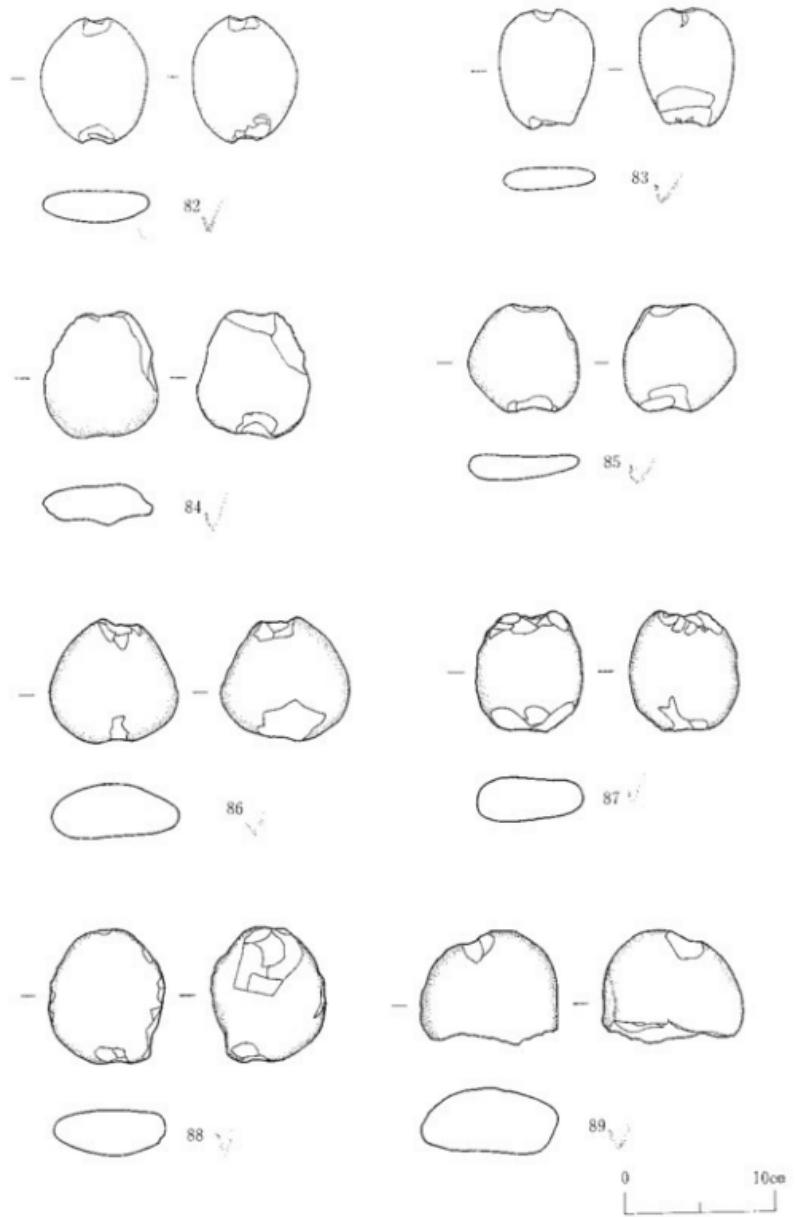
石皿状石器（第54図144～146）

やや肉厚で扁平なものである。全面的に磨れている。

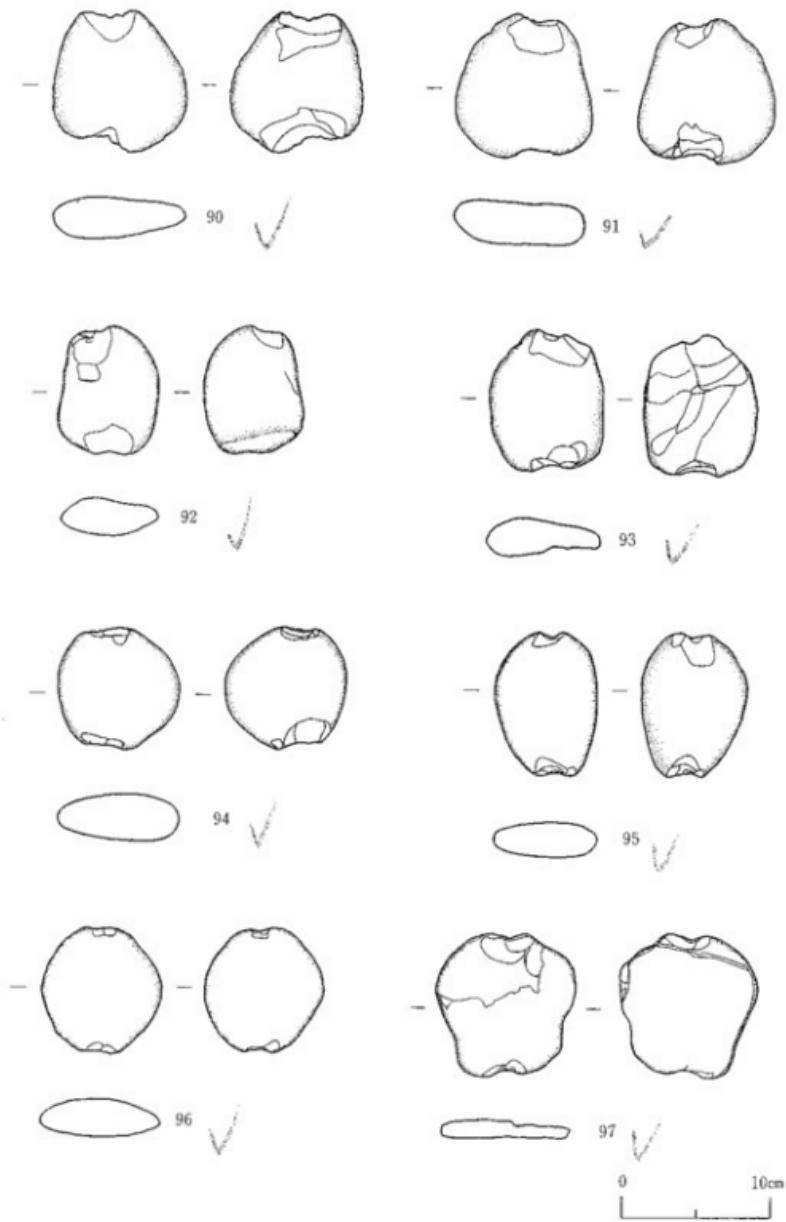


0 10cm

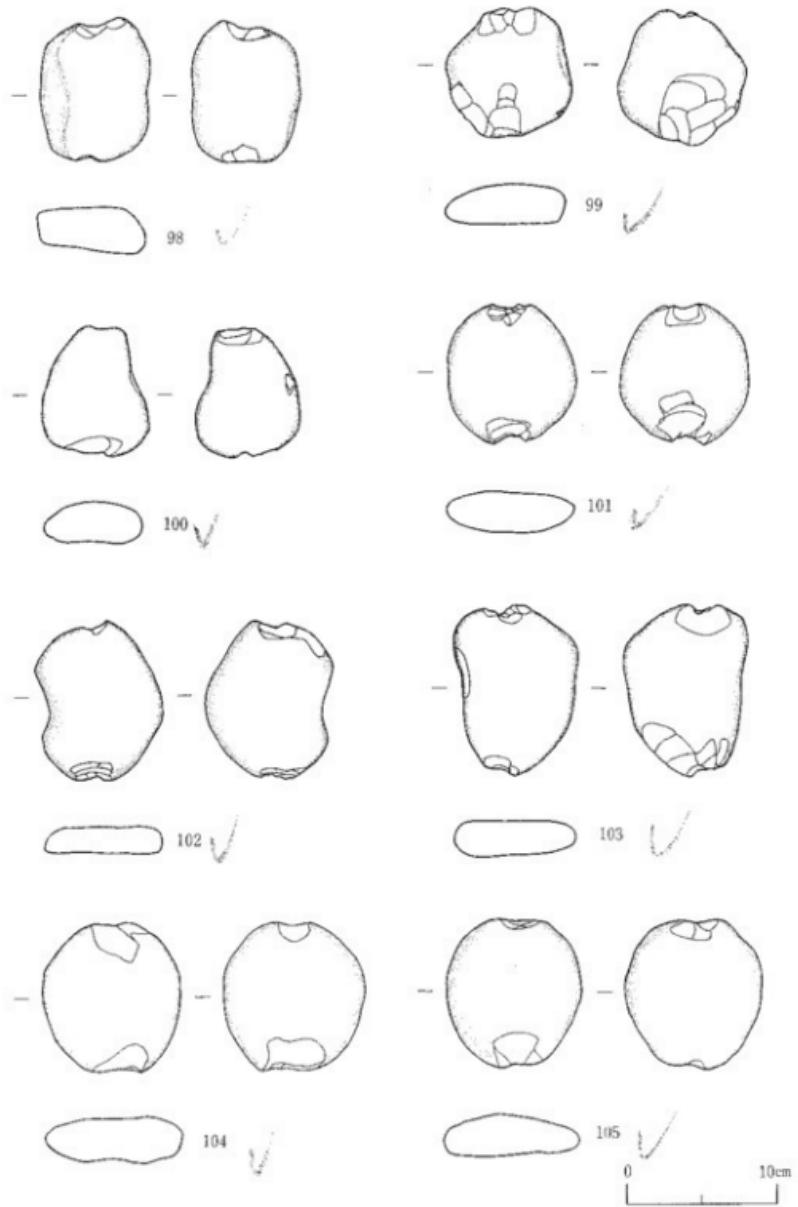
第45図 還構出土石器



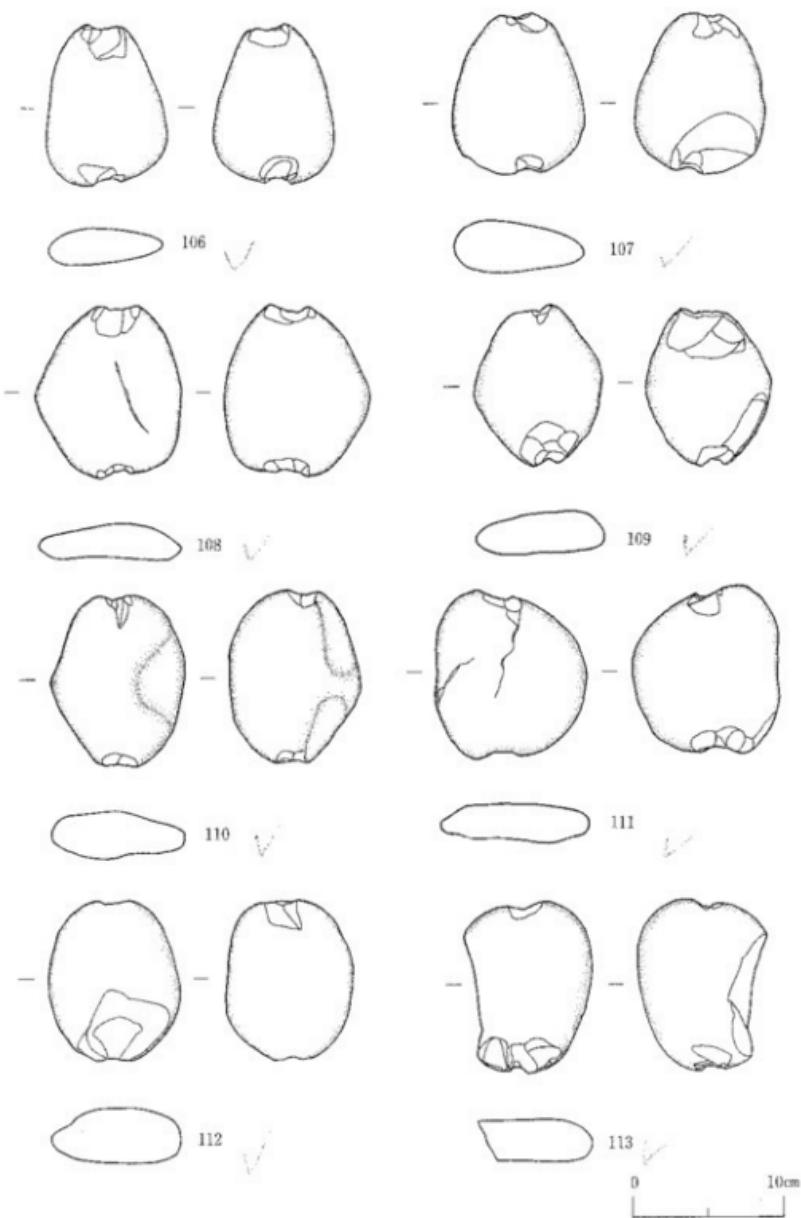
第46図 遺構外出土石器



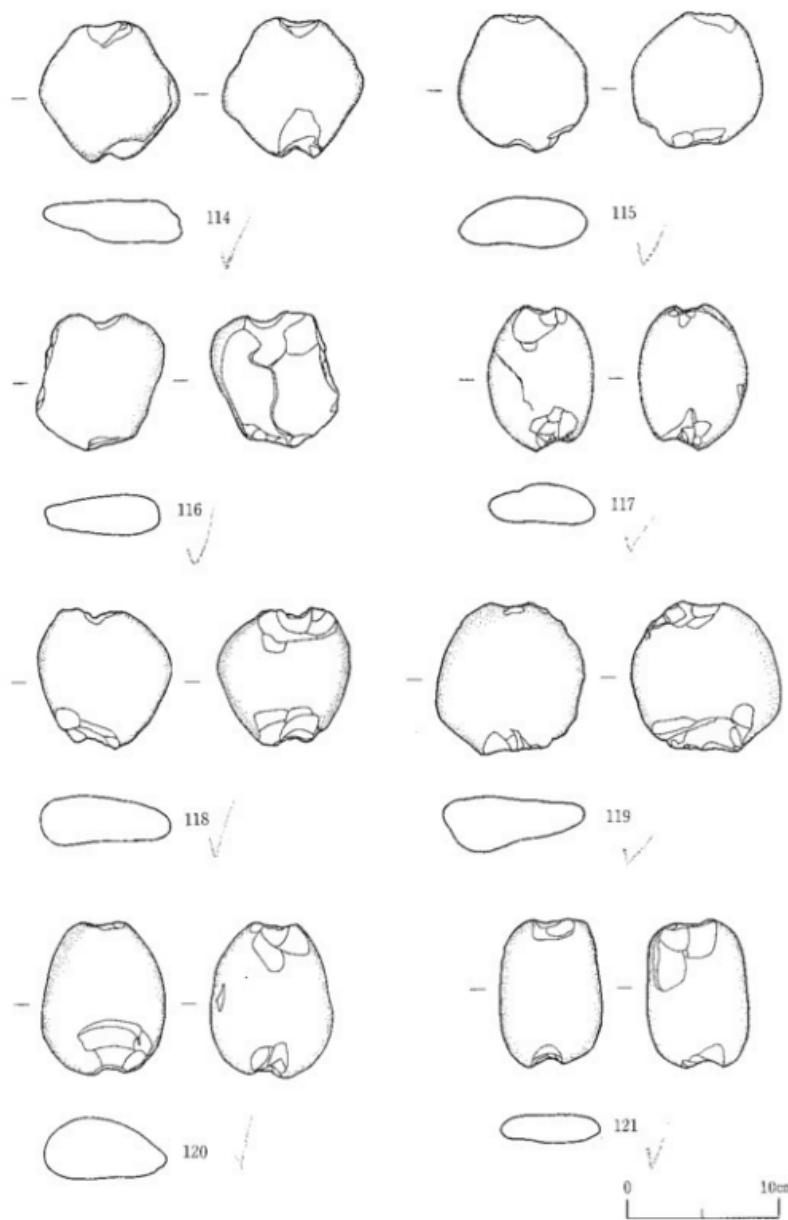
第47図 遺構外出土石器



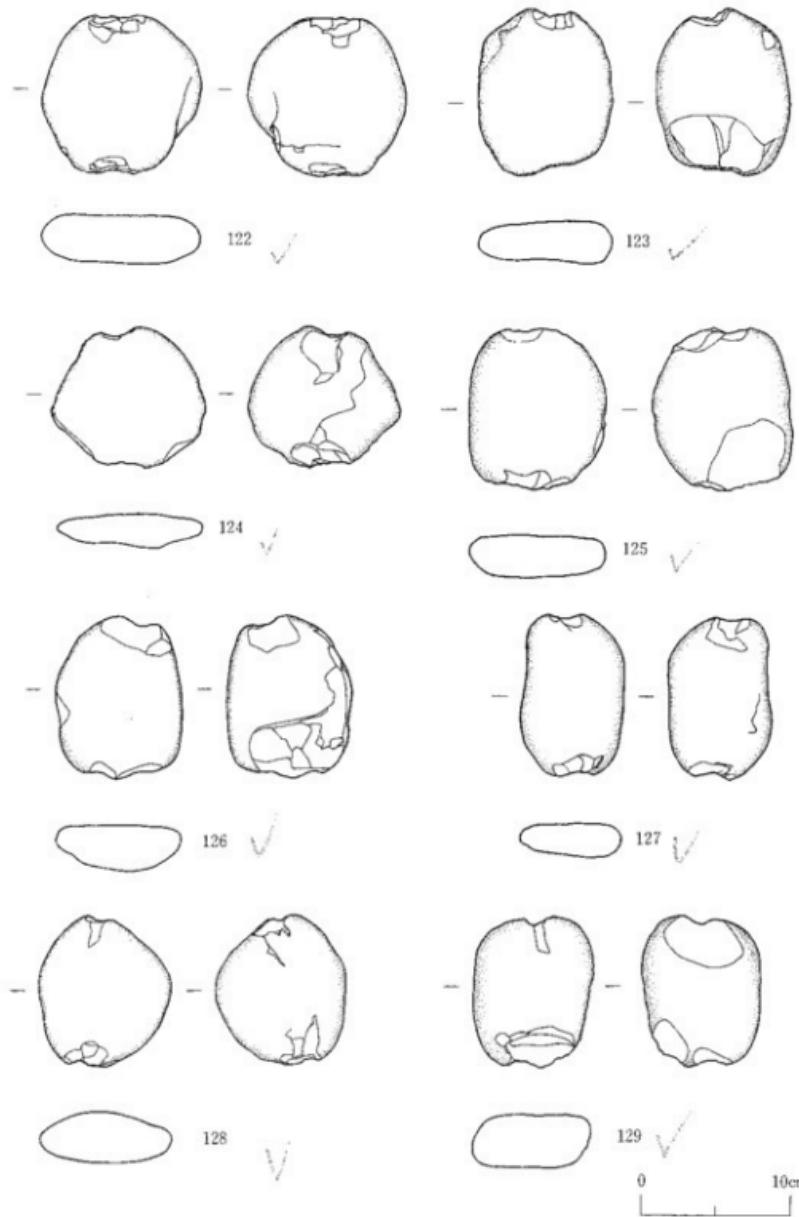
第48図 遺構外出土石器



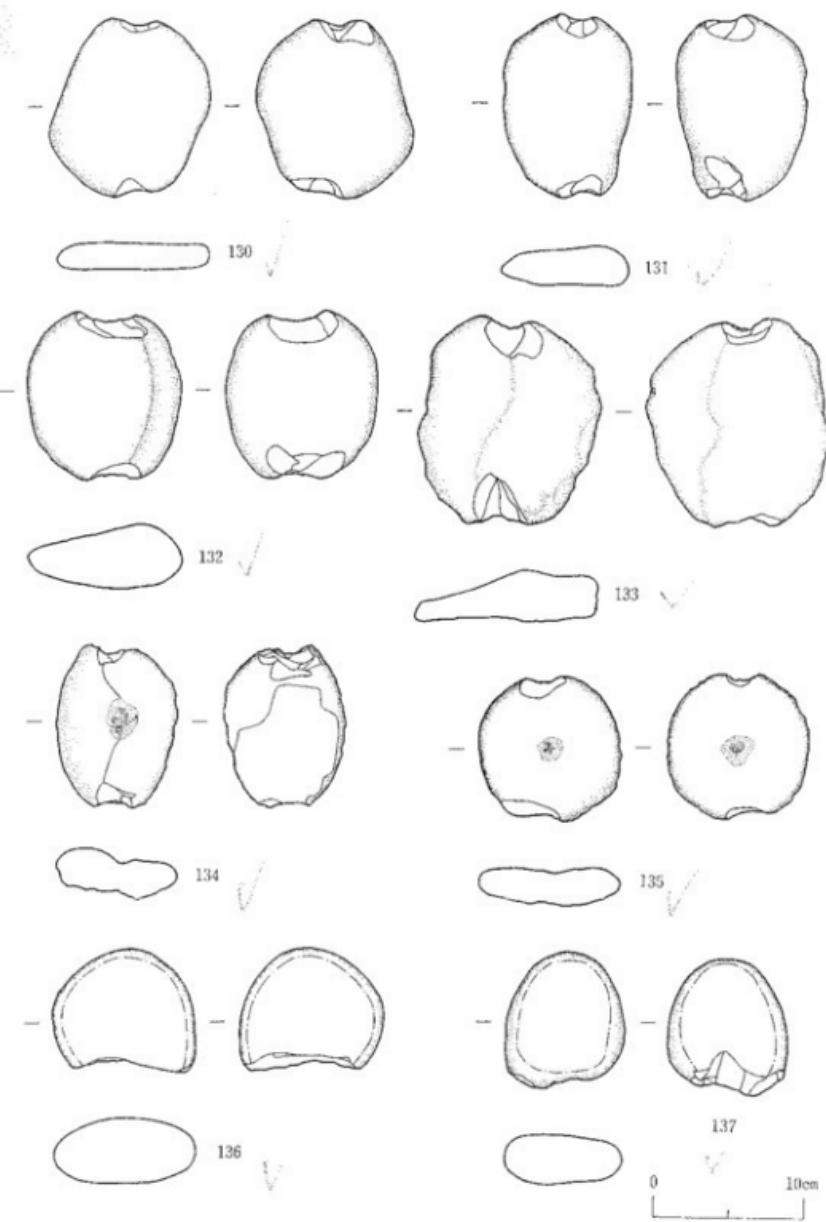
第49図 遺構外出土石器



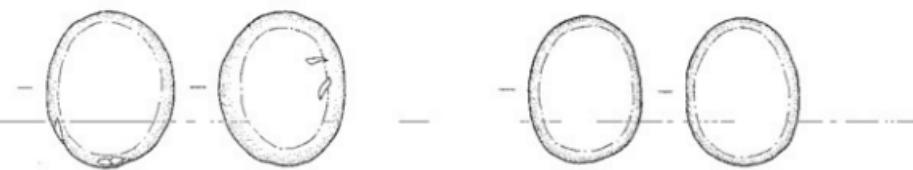
第50図 遺構外出土石器



第51図 遺構外出土石器



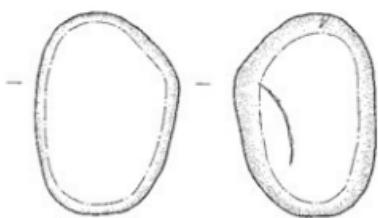
第52図 遺構外出土石器



138

139

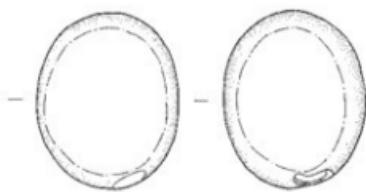
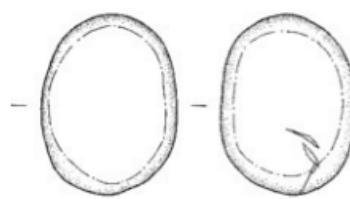
✓



140

141

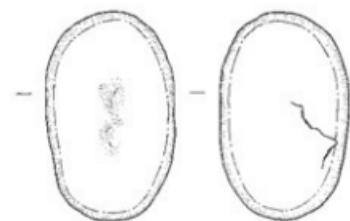
✓



142

143

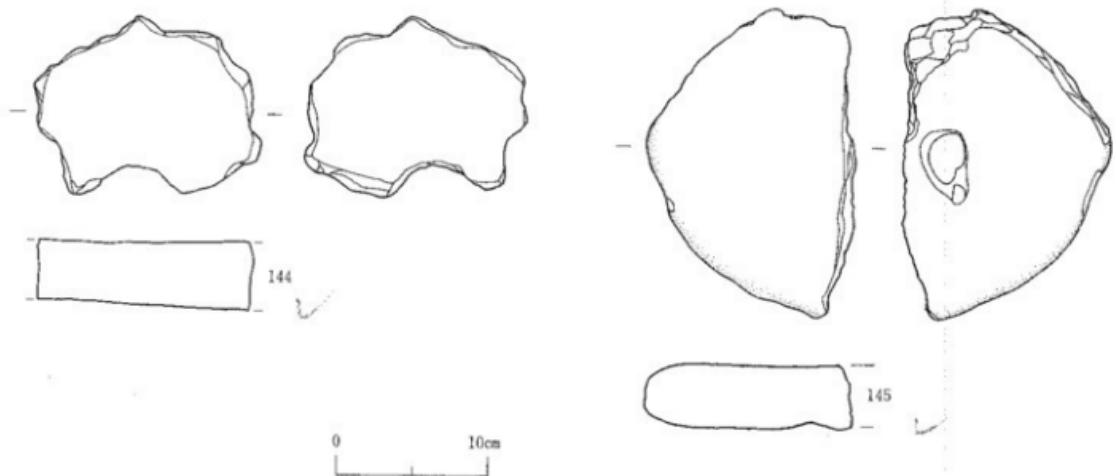
✓



0

10cm

第53図 遺構外出土石器



第54図 遺構外出土石器

地蔵田A遺跡出土の人骨について

札幌医科大学解剖学第2講座 石田 肇

地蔵田A遺跡から出土した骨は、完全に焼けた人骨であった。人骨は、乳白色で亀裂が走り歪みがあるなどの点から考えて、かなり高温でしっかりと火葬された可能性が高い。

1号土壙出土人骨

No.1：頭蓋骨片。

No.2：右上腕骨の骨体遠位部。

No.3：矢状縫合をはさんだ左右の頭頂骨片。頭頂孔が見られるので、やや後方の部分と考えられる。矢状縫合は開いているが、熱のために開いた可能性もある。

No.5：頭蓋骨片。

No.8：頭蓋骨片。

No.9：前腕骨骨体片。

No.12：頭蓋骨片、指骨片など。

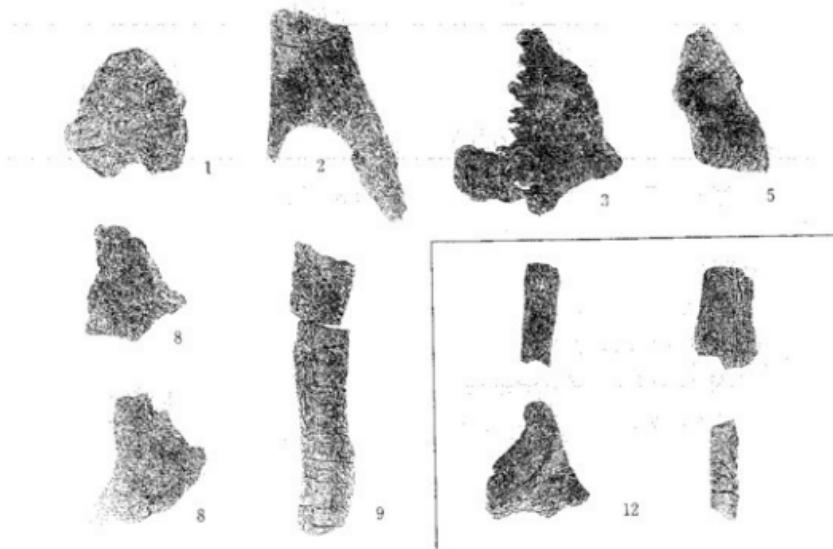
骨の大きさから見て、この固体の年齢は成人と考えられる。性別は不明。

2号土壙出土人骨

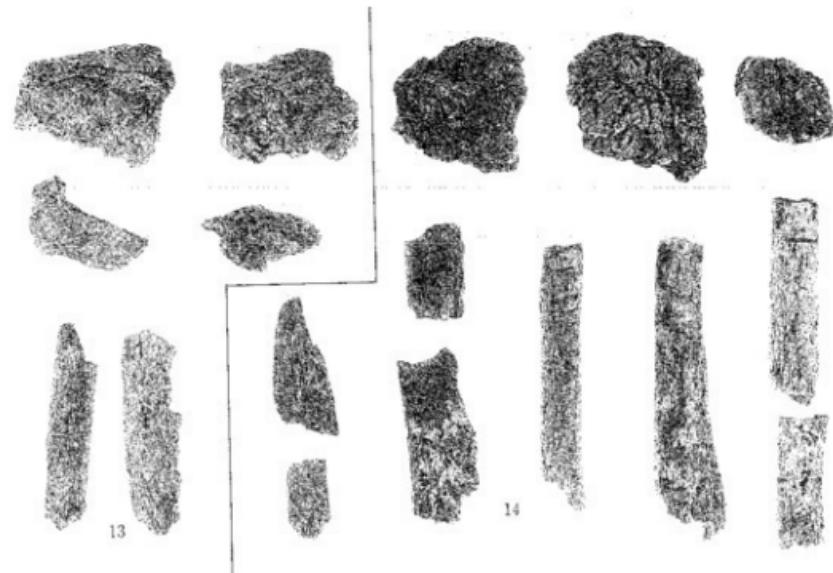
No.13：頭蓋骨片（後頭骨、頭頂骨、側頭骨）、脛骨骨体、指骨片など。

No.14：頭蓋骨片（前頭骨、側頭骨など）、大腿骨および脛骨骨体など。

大きさから判断して、この固体も年齢は成人に達していたと思われる。性別はやはり不明である。



1号土塘出土人骨



2号土塘出土人骨

まとめ

地蔵田A遺跡は平成4年度からの継続調査である。平成4年度は調査区東部のA地区を調査し、平安時代の竪穴住居跡4軒、建物跡3棟、土壙15基検出されている。今年度は調査区南西部のB地区及び北西部のC地区を実施した。以下、今年度調査のB、C地区の遺構と遺物について述べてみたい。

B地区

旧石器時代

遺物は調査区の南半、約1,150m²の範囲より908点出土した。尖頭器状石器の破損品1点、石核の残核1点で、他は剥片、碎片で、弥生時代と考えられる石器2点も含まれる。尖頭器状石器は第III層（暗黄褐色土、ローム漸移層）出土、石核の残核は擾乱出土である。本遺跡では第III層からも弥生時代と考えられる遺物が出土していることと、層位的に不安定な遺跡であることなどから全ての遺物を旧石器時代の遺物として捉えるには無理である。これは昨年度調査を実施した「狸崎B遺跡」^(註1)A区においては同様の出土状況が認められ、第IV・V層から縄文時代の遺物も出土している。

本台地で調査した当該期の遺跡は「下堤D遺跡」、「下堤G遺跡」、「狸崎B遺跡」、「地蔵田B遺跡」、「秋大農場南遺跡」で、「下堤A遺跡」からはナイフ形石器、石刃が各1点ずつ、「坂ノ上F遺跡」からは縦長剥片が1点出土している。本遺跡は石器の出土が少なく時期の決め手を欠くが、同様の傾向を示す遺跡は「秋大農場南遺跡」でも認められる。隣接する遺跡は沢を隔てた北側100mに「狸崎B遺跡」、東側250mに「秋大農場南遺跡」が位置するが、他の周辺遺跡も含めて関係資料との比較検討や分析などを行ったうえで、本遺跡を再考したいと考えている。

弥生・平安時代

検出遺構は竪穴住居跡2軒、竪穴造構1基、土壙14基、溝状土壙1基である。

竪穴住居跡は、弥生時代が1軒、平安時代が1軒である。弥生時代の住居跡は台地南側の縁辺部で検出された。本台地で当該期の住居跡が検出されている遺跡は「坂ノ上F遺跡」、「狸崎A遺跡」、「地蔵田B遺跡」、「湯ノ沢A遺跡」である。「狸崎A遺跡」、「湯ノ沢A遺跡」2号住居跡以外は、平面形、規模、周溝、かのあり方など本遺跡の住居跡と同形態のものである。規模は最大が「坂ノ上F遺跡」の長軸12.4m、短軸11mの楕円形を呈するもので、最小が「地蔵田B遺跡」1-1号住居跡の径8mの円形を呈するものである。本遺跡の住居跡は長軸8m、短軸7.7mの楕円形を呈するもので、これらの中では比較的小型である。周溝は北東部が途切れている。これは住居の出入口と考えられ、「坂ノ上F遺跡」、「地蔵田B遺跡」も同様の形態のものが認められる。炉は石圓炉である。火熱を受けて赤変しているが、北半は平安時代の住居跡に切られている。他の遺跡は地床炉ないし石圓炉で、地床炉に数個の礫が付設されているものも認められている。主柱穴は炉

を中心とした4個と考えられる。他の遺跡の住居跡も4本柱である。時期は出土遺物から弥生時代初頭と考えられる。本台地ではこれまで4遺跡から住居跡が検出され、「地蔵田B遺跡」では一時期に3~4軒の存在が確認されている。他の遺跡では1軒単位の検出であり、本遺跡でも1軒のみの検出である。県内では、若美町「横長根A遺跡」で1軒、河辺町「風無台II遺跡」で^(G10)1軒、大館市「諏訪台C遺跡」で6軒検出されている。「諏訪台C遺跡」6軒の内訳は、I期1軒、II期2軒、III期3軒であり、これに焼土群（住居跡の可能性を指摘している）を含めるとII期は3軒となる。弥生時代初頭の砂沢期はI・II期であるが、中でもI期は1軒のみの検出であり、新しくなるにつれて増加する傾向が伺われている。

平安時代の住居跡は台地南側の縁辺部で検出され、弥生時代の住居跡を切っている。一辺2.5mのほぼ方形を呈し、カマドは南壁の東側に構築されている。本台地検出の住居跡の中では比較的小型である。本台地で当該期の住居跡が検出されている遺跡は10遺跡で、「下堤C遺跡」から31軒（他に竪穴遺構が8軒）検出されている。他の遺跡では1~5軒の検出で、本遺跡は1軒のみの検出である。1軒のみの検出は「湯ノ沢B遺跡」、「秋大農場南遺跡」があげられる。時期は床面から底部切り離し回転糸切り無調整の赤褐色土器环が出土しており、「下堤C遺跡」同様9世紀後半から10世紀頃と考えられる。

竪穴遺構は1基検出された。平面形が楕円形を呈し、底面には凹凸が認められる。性格は不明であるが、出土遺物から弥生時代の住居跡の時期に属すると考えられる。

土壙は14基検出された。断面形がフラスコ状あるいは袋状を呈するものが5基で、他は円形、楕円形を呈する比較的浅いものである。出土遺物から弥生時代の住居跡の時期に属すると考えられる。

溝状土壙は1基検出された。縦断面は西側の底部が壁外へ張り出し、横断面が「Y」字状を呈するものである。本台地では「湯ノ沢F遺跡」で1基、「秋大農場南遺跡」で1基、「下堤C遺跡」で1基、「下堤D遺跡」2地区で2基、3地区で2基検出されている。これらの溝状土壙の規模は長軸3.2~4.5mで、中でも3.5~3.8mのものが多く、縦断面は全て両端が壁外へ張り出し、横断面は「Y」字状を呈するものである。本溝状土壙の規模は長軸3.3mであり、これらの中では比較的小型である。時期については、出土遺物がなく特定することができない。本台地で遺物が認められるものは「下堤D遺跡」の1基のみで、縄文時代中期の土器片が出土している。

出土遺物は土器、石器である。上器は弥生時代と平安時代に大別される。

第Ⅰ群土器は弥生時代の土器で、斐形土器、鉢形土器、高環形土器、壺形土器である。1類とした斐形土器は、口縁部無文帯のもの、口縁上部に地文が残り中間を磨消するもの、口縁部に平行沈線が巡るものが認められる。2類とした鉢形土器は、器形が比較的小型で斐形に近いもの、体部がほぼ直立するもので、口縁部に沈線を施すものが多い。3類とした高環形土器は、体部に変形工字文を施すものが1点認められ、他は脚部である。4類とした壺形土器は2点で、広口の口縁部に平

行沈線を施し、ほぼ等間隔に粘土粒が付くもの、体部下まで比較的薄手のものである。これらの第Ⅰ群土器は本台地「地蔵田B遺跡」で類例が認められるもので、弥生時代初頭に位置づけられると考えられる。なお、第12図3、4、10の平行沈線にはほぼ等間隔に粘土粒が1個ずつ付く鉢形土器は、「地蔵田B遺跡」でも認められるが量的には少ない。「諏訪台C遺跡」、青森県弘前市「砂沢遺跡」でも類例が認められ、「砂沢遺跡」では多量に出土している。

第Ⅱ群土器は平安時代の土器である。底部切り離し回転糸切り無調整の赤褐色土器環は「下堤C遺跡」で多量に出土しており、9世紀後半から10世紀頃と考えられる。

註1 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 地崎B遺跡」 秋田市教育委員会 1993年3月

註2 「下堤D遺跡発掘調査報告書」 秋田市教育委員会 1982年3月

註3 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 下堤G遺跡」 秋田市教育委員会 1983年3月

註4 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 地蔵田B遺跡」 秋田市教育委員会 1986年3月

註5 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 秋大農場南遺跡」 秋田市教育委員会 1992年3月

註6 「小阿地下堤遺跡発掘調査報告書」 秋田市教育委員会 1976年3月

註7 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 坂ノ上F遺跡」 秋田市教育委員会 1985年3月

註8 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 犀崎A遺跡」 秋田市教育委員会 1985年3月

註9 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢A遺跡」 秋田市教育委員会 1984年3月

註10 「横長根A遺跡 一秋田県南秋田郡若美町横長根A遺跡の調査報告一」 秋田県若美町教育委員会

註11 「七曲台遺跡群発掘調査報告書 風無台II遺跡」 秋田県文化財調査報告書第125集 秋田県教育委員会 1985年3月

註12 「諏訪台C遺跡発掘調査報告書 一秋田内地区農免道整備事業一」 秋田県文化財調査報告書第196集 秋田県教育委員会 1990年3月

註13 「下堤D遺跡発掘調査報告書」 秋田市教育委員会 1982年3月

「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢B遺跡」 秋田市教育委員会 1983年3月

「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 野形遺跡」 秋田市教育委員会 1984年3月

月

「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 坂ノ上F遺跡 深田沢遺跡」 秋田市教育委員会 1985年3月

「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 下堤C遺跡」 秋田市教育委員会 1987年3月

「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 下堤A遺跡 下堤B遺跡」 秋田市教育委員会 1988年3月

「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 秋大農場南遺跡」 秋田市教育委員会 1992年3月

「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 地藏田B遺跡」 秋田市教育委員会 1993年3月

註14 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢F遺跡」 秋田市教育委員会 1984年3月

註15 「砂沢遺跡発掘調査報告書」 弘前市教育委員会 1991年3月

参考文献

秋田県教育委員会：「東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書I 石坂台IV遺跡 松木台III遺跡」 秋田県文化財調査報告書第150集 1986年11月

秋田県教育委員会：「東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書VII 大畑滑沢III遺跡」 秋田県文化財調査報告書第205集 1991年3月

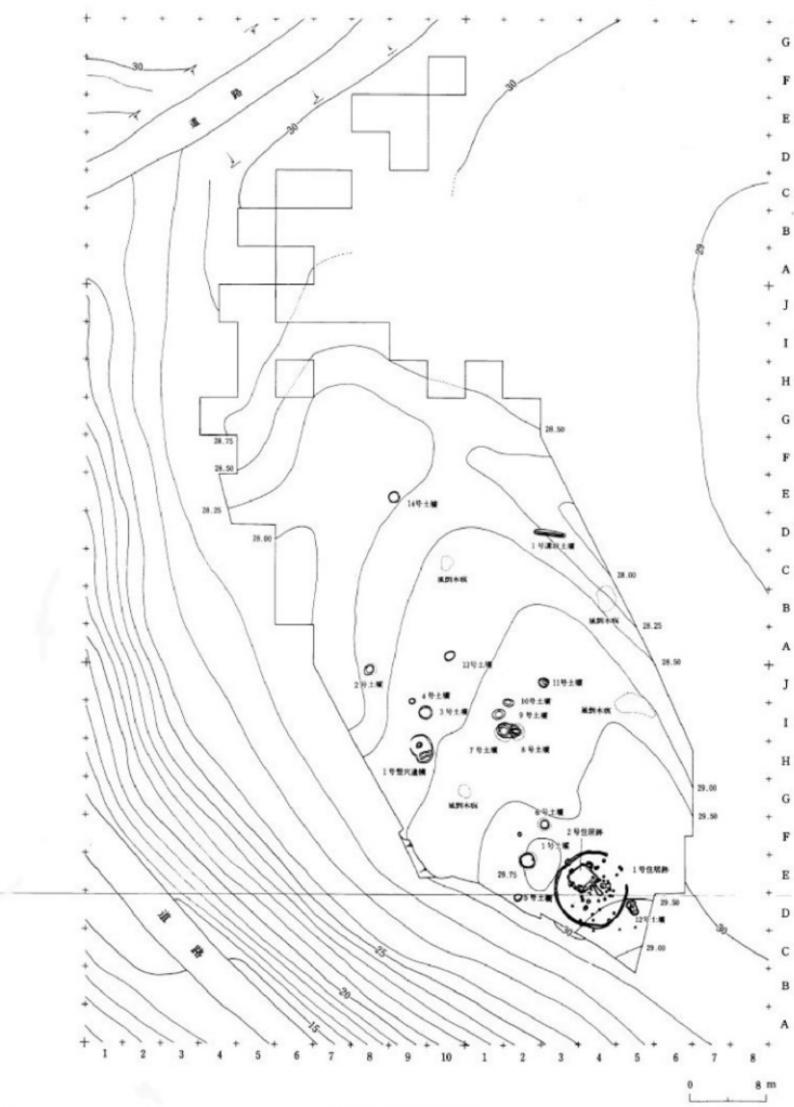
秋田県教育委員会：「東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書VI 小出I遺跡 小出IV遺跡」 秋田県文化財調査報告書第206集 1991年3月

秋田県教育委員会：「一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書III 一鶴子台遺跡・八幡台遺跡」 秋田県文化財調査報告書第230集 1992年11月

児玉 晴：「男鹿市大倉遺跡出土の弥生時代遺物について」 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第2号 秋田県埋蔵文化財センター 1987年3月

利部 修：「諏訪台C遺跡のI・II類土器群－土器の観察を通して－」 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要第5号 秋田県埋蔵文化財センター 1990年3月

宮澤泰時：「秋田史記 歴史論考集2 地藏田B遺跡（弥生時代）の歴史的意義について」 秋田姓氏家系研究会編 秋田文化出版社 1985年5月



第55図 B地区遺構配置図

C地区

検出遺構は、竪穴住居跡2軒、竪穴造構2基、土壙25基、焼土造構1基、人骨を出土した土壙2基である。

竪穴住居跡は2軒検出された。1号住居跡は径3m前後で、楕円形を呈するものである。2号住居跡は規模・平面形とも不明である。主柱穴はいずれも不明である。炉の形態は、1号住居跡が土器埋設部、掘り込み部、一段浅い掘り込み部からなる複式炉で、2号住居跡は土器埋設炉である。住居間の重複関係、拡張、縮小、炉の作り替えなどは認められない。時期については、炉埋設土器から縄文時代中期後葉大木9式期に位置づけられる。当該期の住居跡は本台地「湯ノ沢B遺跡」⁽⁴¹⁾、「湯ノ沢D遺跡」⁽⁴²⁾の2遺跡から合わせて7軒確認されている。炉の形態は、本遺跡では複式炉と土器埋設炉が、他の2遺跡では地床炉（湯ノ沢B遺跡4軒）、石囲炉（湯ノ沢D遺跡1軒）、複式炉（湯ノ沢D遺跡3軒）が検出されている。また、複式炉を比較すると本遺跡では石圓部や石組部を持たないという形態を呈する。検出例が少ないとことから、今後類例の増加をまって検討する必要がある。

竪穴造構は2基検出されたが、性格は不明である。出土遺物から縄文時代前期初頭の時期が考えられる。

土壙は25基検出された。調査区の北側に3基、中央から西側にかけて22基検出された。北側の土壙は、平面形が楕円形あるいは円形で、断面形がフラスコ状を呈するものである。23号土壙からは第Ⅳ群土器が出土しており、縄文時代中期末葉から後期初頭が考えられるが、住居跡に隣接していることから、住居跡の付属施設として同時期が考えられる。中央から西側にかけての土壙は、平面形が楕円形で、断面形が鍋底状を呈するものが多い。時期については、6号土壙から第V群土器である変形工字文を施した高環形七器が、16号土壙から第VI群土器が出土していることから、この2基は弥生時代前期が、9号・10号・22号土壙からは第I群土器が出土していることから、この3基は縄文時代前期初頭が考えられる。

人骨を出土した土壙は2基検出された。いずれも火熱を受けた骨が炭化材（木炭）とともに出土したが、周辺に火熱を受けた痕跡がみられず、また平面形・規模とも判然としない。骨は細片が多く、規則的なまとまり方を呈していない。このような遺構は本台地では検出されていないが、大館市「山千岱遺跡」⁽⁴³⁾に類例が認められ、中世～近世の遺構と考えられている。時期については、検出状況から本遺跡も中世～近世が考えられる。

出土遺物は土器、石器である。土器は施文様から7群に大別した。第I群土器は地文が主体のもので6類に細分した。1、2、4、5類は本台地「坂ノ上B遺跡」⁽⁴⁴⁾、「狸崎B遺跡」⁽⁴⁵⁾で、また1類は大館市「上野遺跡」⁽⁴⁶⁾でも類例が認められ、縄文時代前期初頭に位置づけられるものである。2類の羽状縄文は大木2a・b式期にみられる土器である。3類のLとRの別々の原体を何本か束ねて施文するものは、縄文時代前期初頭に位置づけられるものである。埼玉県蓮田市「関山貝塚」、青

森県金木町「芦野遺跡」等で類例がみられるが、出土例が少なく今後類例の増加をまって検討する必要がある。第II群土器は沈線区画の幅の狭い磨消帶が縦位に展開するもので、縄文時代中期後葉の大木9式土器に比定されるものである。住居跡の炉壺設土器は本群に相当する。「湯ノ沢B遺跡」、「湯ノ沢D遺跡」で類例が認められる。第III群土器は地文のみのもので、3類に細分した。無筋斜縄文、単筋斜縄文、条痕文を施すもので、縄文時代中期末葉から後期初頭に位置づけられると考えられる。第IV群土器は末端の咬み合う羊歯状文が施されるもので、縄文時代晚期大洞BC式土器に比定されるものである。第V群土器は变形工字文や数条の平行沈線が施されるもので、5類に細分した。变形工字文が施される高环形土器及び鉢形土器は、本台地「地蔵田B遺跡」、「狸崎B遺跡」、「湯ノ沢A遺跡」、「湯ノ沢F遺跡」で類例が認められる。「地蔵田B遺跡」、「狸崎B遺跡」では变形工字文に2個一対の粘土粒が付くものがあり、砂沢式土器併行期と考えられているものもある。本遺跡では2個一対の粘土粒が付くものと付かないものが認められる。第VI群土器は地文のみのもので、2類に細分した。「地蔵田B遺跡」、「狸崎B遺跡」で類例が認められる。第V・VI群土器はいずれも弥生時代前期に位置づけられる。第VII群土器は赤褐色土器鉢である。口クロ成形であるが、底部切り離しは不明である。本台地「下堤C遺跡」で出土しており、9世紀後半から10世紀頃と考えられる。

註1 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢B遺跡」 秋田市教育委員会 1983年3月

註2 「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢D遺跡」 秋田市教育委員会 1985年3月

註3 「国道103号道路改良事業に係る埋蔵文化財調査報告書V 山王岱遺跡」 秋田県文化財調査報告書第221集 秋田県教育委員会 1992年3月

室 1993年8月

註5 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 狸崎B遺跡」 秋田市教育委員会 1992年3月

註6 「国道103号道路改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書VI 上野遺跡」 秋田県文化財調査報告書第222集 秋田県教育委員会 1992年3月

註7 「関山貝塚」 埼玉県埋蔵文化財調査報告第3集 埼玉県教育委員会 1974年3月

註8 「青森県芦野遺跡の土器群について」 名久井文明 考古学雑誌第57巻第2号 1971年11月

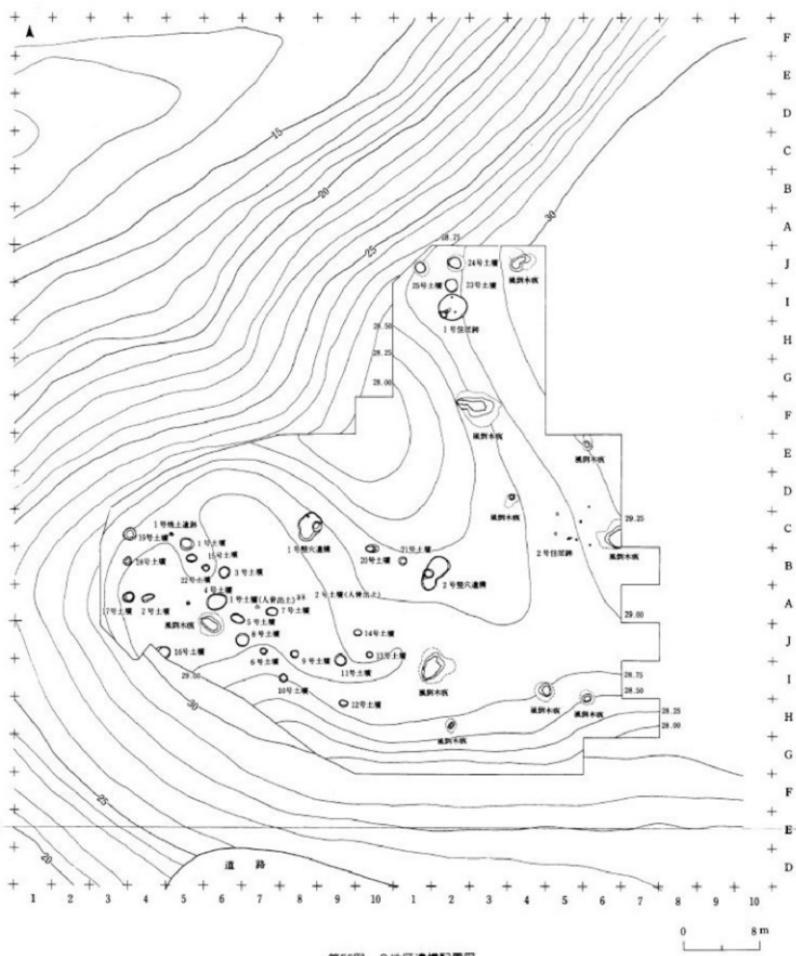
註9 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 地蔵田B遺跡」 秋田市教育委員会 1986年3月

註10 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 狸崎B遺跡」 秋田市教育委員会 1993年3月

- 註11 「秋田麻空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢A遺跡」 秋田市教育委員会 1984年3月
- 註12 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 湯ノ沢F遺跡」 秋田市教育委員会 1986年3月
- 註13 「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 下堤C遺跡」 秋田市教育委員会 1987年3月

参考文献

- 秋田県教育委員会：「内村遺跡発掘調査報告書」 秋田県文化財調査報告書第82集 1981年3月
- 秋田県教育委員会：「七曲麻空港工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 石坂台I遺跡」 秋田県文化財調査報告書第125集 1985年3月
- 秋田県教育委員会：「東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書 I 石坂台IX遺跡」 秋田県文化財調査報告書第150集 1986年3月
- 秋田県教育委員会：「竜毛沢館跡発掘調査報告書 一般国道7号二ツ井バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査」 秋田県文化財調査報告書第188集 1990年2月
- 秋田県教育委員会：「東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書 JV 一下田遺跡・下田谷地遺跡」 秋田県文化財調査報告書第189集 1990年3月
- 秋田県教育委員会：「五百刈田遺跡発掘調査報告書 一県道協和・松ヶ崎線緊急地方道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書」 秋田県文化財調査報告書第194集 1990年3月
- 秋田県教育委員会：「大砂川地区農免典道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 II 一上熊ノ沢遺跡」 秋田県文化財調査報告書第213集 1991年3月
- 秋田市教育委員会：「秋田市上新城中学校遺跡 一学校改築に伴う緊急発掘調査報告書」 1992年3月
- 鹿角市教育委員会：「天戸森の土器 一天戸森遺跡出土縄文土器図録」 鹿角市文化財調査資料41 1990年3月
- 佐原 真：「特論 一縄文施文法入門」 縄文土器大成第3巻後期 講談社 1981年10月
- 武藤康弘：「小阿地遺跡C地区出土の縄文時代前期前半の遺物について」 秋田考古学第37号 秋田考古学協会 1981年4月
- 安田忠市：「秋田市御所野丘陵部遺跡群について 一縄文時代前・中期の住居跡」 よねしろ考古第7号 よねしろ考古学研究会 1991年10月
- 谷地 薫：「七曲台における縄文時代の居住形態について 一居住形態の変遷に関する一試論」 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要第5号 秋田県埋蔵文化財センター 1990年3月



第56図 C地区遺構配置図

狸崎B遺跡から出土した遺物に残存する脂肪の分析

㈱ズコーニャ総合科学研究所

中野寛子、明瀬雅子

長田正宏

帯広畜産大学生物資源化学科

中野益男

動植物を構成している主要な生体成分にタンパク質、核酸、糖質(炭水化物)および脂質(脂肪・油脂)がある。これらの生体成分は環境の変化に対して不安定で、圧力、水分などの物理的作用を受けて崩壊してゆくだけでなく、土の中に住んでいる微生物による生物的作用によっても分解してゆく。これまで生体成分を構成している有機質が完全な状態で遺存するのは、地下水位の高い低地遺跡、泥炭遺跡、貝塚などごく限られた場所にすぎないと考えられてきた。

最近、ドイツ新石器時代後期にバター脂肪が存在していたこと、古代遺跡から出土した約2千前のトウモロコシ種子、約5千年前のハーゼルナッツ種子に残存する脂肪の脂肪酸は安定した状態に保持されていることがわかった。このように脂肪は微量ながら比較的安定した状態で千年・万年という長い年月を経過しても変化しないで遺存することが判明した。

脂質は有機溶媒に溶けて、水に溶けない成分を指している。脂質はさらに構造的な違いによって誘導脂質、単純脂質および複合脂質に大別される。これらの脂質を構成している主要なクラス(種)が脂肪酸であり、その種類、含量とともに脂質中では最も多い。脂肪酸には炭素の鎖がまっすぐに伸びた飽和型と鎖の途中に二重結合をもつ不飽和型がある。動物は炭素数の多い飽和型の脂肪酸、植物は不飽和型の脂肪酸を多く持つというように、動植物の種ごとに固有の脂肪酸を持っている。ステロールについても、動物性のものはコレステロール、植物性のものはシトステロール、微生物はエルゴステロールというように動植物に固有の特徴がある。従って出土遺物の脂質の種類およびそれらを構成している脂肪酸組成と現生動植物のそれを比較することによって、目に見える形では遺存しない原始古代の動植物を判定することが可能である。

このような出土遺物・遺構に残存する脂肪を分析する方法を「残存脂肪分析法」という。この「残存脂肪分析法」を用いて、狸崎B遺跡から出土した遺物の性格を解明しようとした。

1. 石器および土壤試料

秋田県秋田市に所在する狸崎B遺跡は、旧石器時代、縄文時代、弥生時代の複合遺跡である。この遺跡から出土した旧石器時代の台形様石器(試料No.1は第6図1320、試料No.2は第7図1507)2点と弥生時代の土壤覆土出上の鉢形土器(第33図21、口径14cm、器高8cm)の内面に付着していた土壤を分析した。試料No.1(1320)は石器2点のうちの1つで、No.1-1はこの石器に付着していた土壤である。試料No.2(1507)はもう1つの石器で、No.2-1は同じく付着土壤である。試料No.3

は53号上塙出土土器の内面付着土である。

2. 残存脂肪の抽出

石器試料2.6~3.4gと土壤試料0.2~4.4gに3倍量のクロロホルム-メタノール(2:1)混液を加え、超音波浴槽中で30分間処理し残存脂肪を抽出した。処理液を濾過後、残渣に再度クロロホルム-メタノール混液を加え、再び30分間超音波処理をする。この操作をさらに2回繰り返して残存脂肪を抽出した。得られた全抽出溶媒に1%塩化バリウムを全抽出溶媒の4分の1容量加え、クロロホルム層と水層に分配し、下層のクロロホルム層を濃縮して残存脂肪を分離した。

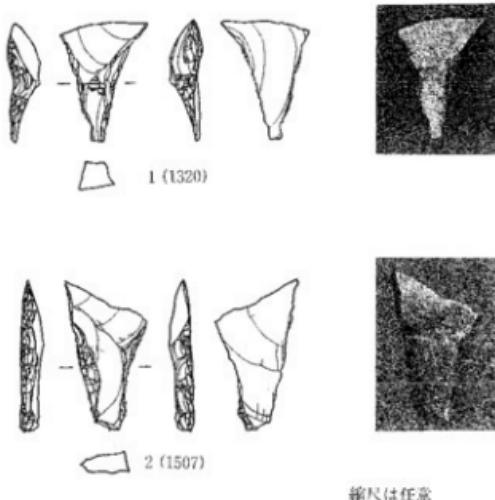
残存脂肪の抽出量を表1に示す。抽出率は石器試料No.1で0.0038%以下、石器試料No.2で0.0386%、土壤試料で0.0182~0.1904%、平均0.0842%であった。

残存脂肪をケイ酸薄層クロマトグラフィーで分析した結果、脂肪は単純脂質から構成されていた。このうち遊離脂肪酸が最も多く、次いでグリセロールと脂肪酸の結合したトリアルキルグリセロール(トリグリセリド)、ステロールエステル、ステロールの順に多く、微量の長鎖炭化水素も存在していた。

3. 残存脂肪の脂肪酸組成

分離した残存脂肪に5%メタノール性塩酸を加え、125°C封管中で2時間分解し、メタノール分解によって生成した脂肪酸メチルエステルをクロロホルムで分離し、ヘキサン-エチルエーテル-酢酸(80:30:1)またはヘキサン-エーテル(85:15)を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフィーで分析した。^(註3)

残存脂肪の脂肪酸組成を図1に示す。残存脂肪から10種類の脂肪酸を検出した。このうちバルミチン酸(C16:0)、ステアリン酸(C18:0)、オレイン酸(C18:1)、リノール酸(C18:2)、アラキジン酸(C20:0)、ベヘン酸(C22:0)、エルシン酸(22:1)、リグノセリン酸(C24:0)、ネルボン酸(C24:1)の9種類の脂肪酸をガスクロマトグラフィー質量分析により同定した。



縮尺は任意

旧石器時代出土石器

1 (1320)

2 (1507)

各試料中の炭素数18までの中級脂肪酸について見てみると、石器試料No.1と石器付着土試料No.1-1はほぼ同じ組成パターンを示し、主要な脂肪酸はパルミチン酸で約51~59%分布し、次いでステアリン酸、オレイン酸の順に多く分布していた。石器試料No.2と石器付着土試料No.2-1は異なる組成パターンを示し、試料No.2では主要な脂肪酸がパルミチン酸で約64%分布し、次いでステアリン酸とオレイン酸が同程度分布していた。試料No.2-1では主要な脂肪酸がオレイン酸で約41%分布し、パルミチン酸も約36%と多かった。土器内付着土試料No.3は、石器試料No.1および石器付着土試料No.1-1とよく似た組成パターンを示していた。一般に考古遺物にはパルミチン酸が多く含まれている。これは長い年月の間にオレイン酸、リノール酸といった不飽和脂肪酸の一部が分解し、パルミチン酸が生成するためで、主として植物遺体の土壤化に伴う腐植物から来ていると推定される。ステアリン酸は動物体脂肪や植物の根に比較的多く分布している。またオレイン酸の分布割合の高いものとしては、動物性脂肪と植物性脂肪の両方が考えられ、植物性脂肪では特に根、茎、種子に多く分布するが、動物脂肪の方が分布割合は高い。リノール酸は主として植物種子・葉に多く分布する。

一方、高等動物、特に臓器、脳、神経組織、血液、胎盤に特徴的にみられる炭素数20以上の高級脂肪酸のうちアラキジン酸、ベヘン酸、リグノセリン酸の3つの飽和脂肪酸含量の合計は石器試料No.1で約2%、石器付着土試料No.2-1で約9%、土器内付着土試料No.3で約7%であった。石器付着土試料No.1-1と石器試料No.2からは高級脂肪酸は検出されなかった。通常の遺跡出土土壤中のこれら3つの脂肪酸の合計含有量は約4~10%であるから、高級脂肪酸含有量はすべての試料中で少ないといえる。

以上のことから、試料中には高等動物の臓器や神経組織、血液、胎盤といった特殊な部分の脂肪酸は殆ど含まれておらず、一般的な高等動物や海産動物の体脂肪中の脂肪酸が主であることがわかった。

4. 残存脂肪のステロール組成

残存脂肪のステロールをヘキサン-エチルエーテル-酢酸(80:30:1)を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマトグラフィーで分離・精製後、ビリジン-無水酢酸(1:1)を窒素気流下で反応させてアセテート誘導体にしてからガスクロマトグラフィーにより分析した。残存脂肪の主なステロール組成を図2に示す。残存脂肪から2~11種類のステロールを検出した。このうちコプロステロール、コレステロール、エルゴステロール、カンペスチロール、スチグマステロール、シトステロールなど8種類のステロールをガスクロマトグラフィー質量分析により同定した。

各試料中のステロール組成をみると、動物由来のコレステロールは石器付着土試料No.1-1で約65%、石器試料No.2で約45%と大変多く、他の3試料中でも約16~28%と多く分布していた。通常の遺跡出土土壤中のコレステロール含有量は4~8%であるから、試料中のコレステロール含

有量は非常に多いといえる。

植物由来のシトステロールは試料No.1—1とNo.2では検出されず、他の試料中では約12~19%の含有量であった。通常の遺跡出土土壤中のシトステロール含有量は30~40%、もしくはそれ以上であるので、試料中のシトステロール含有量はかなり少ないといえる。

クリ、クルミ等の堅果植物由来のカンペステロール、スチグマステロールは、試料No.1—1とNo.2では検出されず、カンペステロールが試料No.1で約13%、No.2—1で約33%、No.3で約7%分布し、スチグマステロールが試料No.1で約10%、No.2—1で約2%、No.3で約2%分布していた。通常の遺跡出土土壤中にはカンペステロール、スチグマステロールは1~10%分布している。従って、石器付着土試料No.2—1でのカンペステロール量は大変多いといえるが、他の試料中の植物性ステロール量は通常の遺跡出土土壤並みか、少なめといえる。微生物由来のエルゴステロールは全く検出されなかった。

哺乳動物の腸および糞便中に特異的に分布するコプロスタノールは、石器付着土試料No.1—1で約5%分布していた以外は、他の試料中では検出されなかった。通常コプロスタノールが10%以上含まれていると、試料中に残存している脂肪の動物種や性別、また遺体の配置状況などが特定できる場合があるが、今回は含まれていても5%以下の微量であるため、それらの判定はできなかった。しかし、試料No.1—1ではわずかではあるがコプロスタノールが残存しているということは、石器付着土試料No.1—1には哺乳動物の腸などの脂肪が残存しているといえる。

各試料中に残存するステロールのうち、動物に固有のコレステロールと植物に固有のシトステロールの比を求め、残存脂肪の動植物起源を調べたのが表2である。一般に、動物遺体の存在を示すコレステロールとシトステロールの分布比の指標値は土壤で0.6以上、土器・石器・石製品で0.8~23.5をとる。表からわかるように、試料No.1—1とNo.2ではシトステロールが検出されないために分布比の算出が不能であったが、他の3試料中ではいずれも分布比が1.2以上を示した。

以上のことから、試料中に含まれているコレステロール量やコレステロールとシトステロールの分布比から、試料中には動物性脂肪が多く残存していることがわかった。

5. 脂肪酸組成の数理解析

残存脂肪の脂肪酸組成をパターン化し、重回帰分析により各試料間の相関係数を求め、この相関係数を基礎にしたクラスター分析を行って各試料間の類似度を調べた。同時に試料中に残存する脂肪の持主を特定するために、出土土器を幻児埋葬用櫛棺と判定した静岡県原川遺跡、出土土壤を再葬墓と判定した宮城県櫻井遺跡、人間の体脂肪、人間の骨油、出土土器を泡衣壺と判定した奈良県平城京左京（外京）五条五坊十坪、人間の胎盤試料など、各種遺跡試料や現生動植物試料の脂肪酸の類似度とも比較した。予めデータベースの脂肪酸組成とクラスター分析を行い、その中から類似度の高い試料を選び出し、再びクラスター分析を行いパターン間距離にして表した代表的な樹状図

表1 試料の残存脂肪抽出量

| 試料No | 試料名 | 温重量(g) | 全脂質(mg) | 抽出率(%) |
|------|-------------|--------|---------|---------|
| 1 | 石器Na1320 | 2.63 | <0.1 | <0.0038 |
| 1-1 | 石器Na1320付着土 | 0.21 | 0.4 | 0.1904 |
| 2 | 石器Na1507 | 3.37 | 1.3 | 0.0386 |
| 2-1 | 石器Na1507付着土 | 4.40 | 0.8 | 0.0182 |
| 3 | 土器Na21 | 0.68 | 0.3 | 0.0441 |

表2 試料に分布するコレステロールとシトステロールの割合

| 試料No | コレステロール(%) | シトステロール(%) | コレステロール/シトステロール |
|------|------------|------------|-----------------|
| 1 | 28.38 | 18.73 | 1.52 |
| 1-1 | 64.54 | -- | -- |
| 2 | 44.68 | -- | -- |
| 2-1 | 18.46 | 14.93 | 1.24 |
| 3 | 16.23 | 11.97 | 1.36 |

表3 石器試料に残存する脂肪の脂肪酸組成から算出した動物脂肪の分布割合

| 脂肪酸 | No 1 ニホンジカ | ナウマンゾウ | 計算値 | No 2 ニホンジカ | ナウマンゾウ | 計算値 |
|---------|---------------|--------|------|---------------|--------|------|
| C16:0 | 50.9 | 44.4 | 47.9 | 44.3 | 44.4 | 47.9 |
| C16:1 | — | 7.0 | -- | — | 7.0 | -- |
| C18:0 | 31.6 | 24.6 | 16.6 | 24.282 | 17.5 | 24.6 |
| C18:1 | 13.2 | 13.5 | 8.0 | 13.291 | 18.2 | 13.5 |
| C18:2 | 2.6 | 4.5 | 2.1 | 4.375 | -- | 4.5 |
| C18:3 | — | — | 6.7 | 0.267 | — | 6.7 |
| C20:0 | 1.0 | 2.4 | 5.4 | 2.537 | — | 2.4 |
| C20:1 | — | 0.3 | -- | 0.298 | — | 0.3 |
| C20:2 | — | 0.2 | -- | 0.202 | — | 0.2 |
| C20:4 | — | tr. | -- | 0.038 | — | tr. |
| C20:5 | — | tr. | -- | 0.038 | — | tr. |
| C22:0 | 0.5 | 0.9 | 8.0 | 1.152 | — | 0.9 |
| C22:1 | — | 0.3 | -- | 0.288 | — | 0.3 |
| C22:2 | — | 0.3 | -- | 0.288 | — | 0.3 |
| C22:5 | — | 0.1 | -- | 0.115 | — | 0.1 |
| C24:0 | 0.4 | 1.2 | 5.4 | 1.320 | — | 1.2 |
| C24:1 | — | 0.3 | -- | 0.288 | — | 0.3 |
| 分布割合(%) | 96.0 | 4.0 | | 50.4 | 49.6 | |

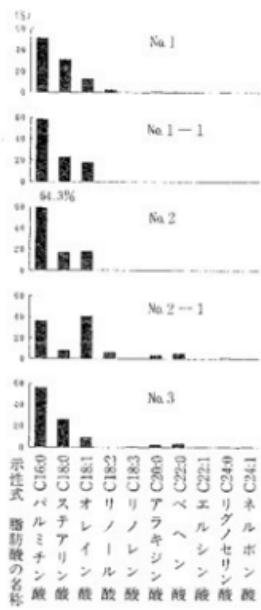


図1 試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成

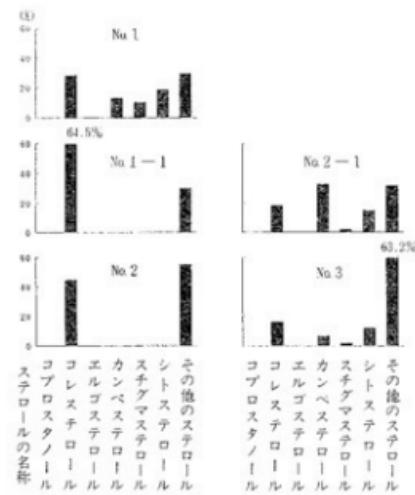


図2 試料中に残存する脂肪のステロール組成

が図3-1、3-2である。図3-1からわかるように、石器試料No.1、No.2と石器付着土試料No.1-1はニホンジカ、ナウマンゾウ試料と共に相関行列距離0.1以内でよく類似しており、A群を形成した。石器付着土試料2-1はキジ、マガモ等の野鳥やオオカミ、ヒグマ等の動物、アザラシ等の海産動物と共に相関行列距離0.15以内で類似しており、E群を形成した。他の対照試料はそれぞれB~D、F~H群を形成した。これらの群のうちタヌキ等の動物、モズ、アカハラ等の野鳥、オットセイ、イルカ等の海産動物が形成するB、C群とA群は様相行列距離0.2以内の所にあり、若干類似していた。また、トチ、カヤの実などが形成するF群とE群とは相関行列距離0.15以内の所にあり、類似していた。

一方、図3-2からわかるように、土器内付着土試料No.3はニホンジカ、原川遺跡の試料と共に相関行列距離0.1以内でA群を形成した。A群はタヌキ等の動物、モズ、アカハラ等の野鳥、オットセイ、イルカ等の海産動物、人間の胎盤等が形成するB~D群とは相関行列距離0.2以内の所にあり、若干類似していた。他の対照試料はE~H群を形成した。図3-1、3-2共にヒトの手の油が狸崎B遺跡の試料に近いのは、試料がヒト手に触れていることを示している。それが古代人の手

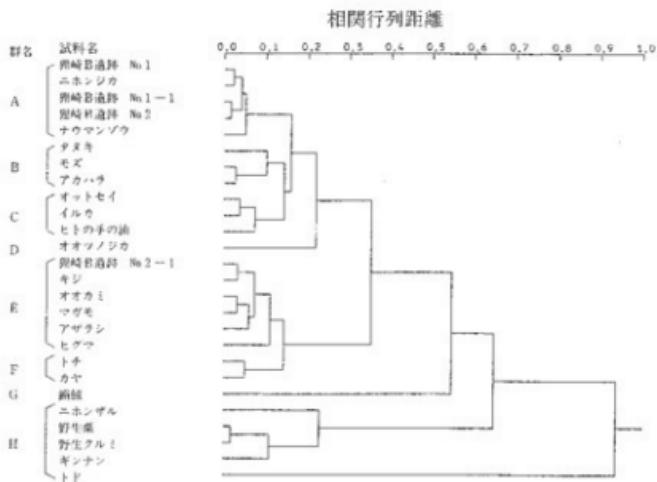


図 3-1 試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図

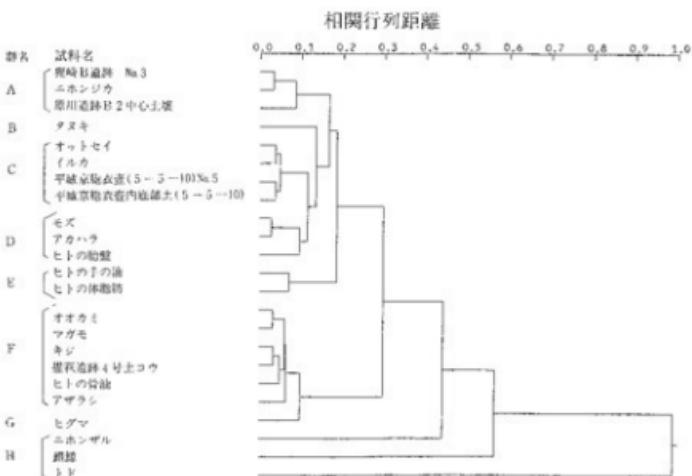


図 3-2 試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図

の油か、発掘時に手で触れたために現代人の手の油かは不明ではあるが、発掘時に付着した手の油は、脂肪抽出前に石器を洗浄しているので、石器に付着している手の油は古代人のものと推定される。

クラスター分析の成績から、これらの試料には動物の脂肪の混在が推測された。そこでクラスター分析から導き出された動物種がどれくらいの割合で混ざっているかを求めた。相関行列距離の短い動物種の脂肪酸組成に基づいて、ラグランジェの未定係数法を用いて、誤差の二乗和が最も小さくなるような動物種の組み合わせを数理計算し、各々の試料中の動物種の分布割合を求めた。^(注脚) その結果を表3に示す。表3からわかるように、石器に付着する動物が石器試料No.1ではニホンジカ96%、ナウマンゾウ4%、石器試料No.2ではニホンジカ50%、ナウマンゾウ50%の割合で分布している時、試料中の残存脂肪分析値が計算上の分析値に最も誤差なく近似することを示している。

以上のことから、出土石器は主としてニホンジカの解体用に用いられ、次いで多いナウマンゾウに類似の動物の解体にも用いられ、他にもモズ、アカハラ等の野鳥やタヌキ等の動物、オットセイ、イルカ等の海産動物の解体にも用いられるなど、混用されていたことが推測される。土器内付着土試料No.3を採取した土器にはニホンジカの脂肪が残存していることを考えると、調理用器具か食器の可能性があるが、ヒト遺体を埋葬した試料である原川遺跡の試料とも類似しているので、土器の用途については断言できなかった。しかし、土器の大きさからしてヒト遺体の可能性はなく、人間の胎盤試料とも若干類似している程度なので、土器は貯蔵容器などの調理用器具か食器である可能性が強い。

6. 脂肪酸組成による種特異性相関

残存脂肪の脂肪酸組成から種を特定するために、中級脂肪酸（炭素数16のバルミチン酸から炭素数18のステアリン酸、オレイン酸、リノール酸まで）と高級脂肪酸（炭素数20のアラキシン酸以上）との比をX軸に、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸との比をY軸にとり種特異性相関を求めた。この比例配分により第1象限の原点から離れた位置に高等動物の血液、脳、神経組織、臓器等に由来する脂肪、第1象限から第2象限の原点から離れた位置にヒト胎盤、第2象限の原点から離れた位置に高等動物の体脂肪、骨油に由来する脂肪がそれぞれ分布する。第2象限から第3象限にかけての原点付近に植物と微生物、原点から離れた位置に植物腐植、第3象限から第4象限に移る原点から離れた位置に海産動物が分布する。

試料の残存脂肪から求めた相関図を図4に示す。図からわかるように、いずれの試料も第2象限内に広く分布していた。この分布位置は高等動物の体脂肪、骨油に由来する脂肪が残存していたことを示す位置で、試料中に高等動物の体脂肪、骨油が残存していた可能性が強い。

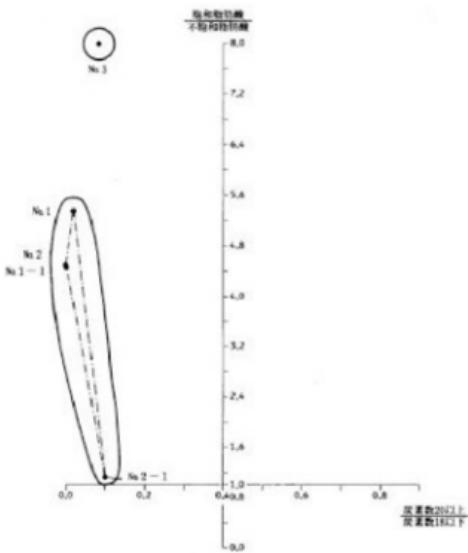


図4 試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成による種特異性相関

7. 総括

理崎B遺跡から出土した石器および土壌覆土の土器内面の付着土に残存する脂肪を分析した。残存する脂肪酸分析の結果、いずれの試料にも高級脂肪酸はあまり含まれておらず、主に動物の一般的な体脂肪が残存していることがわかった。

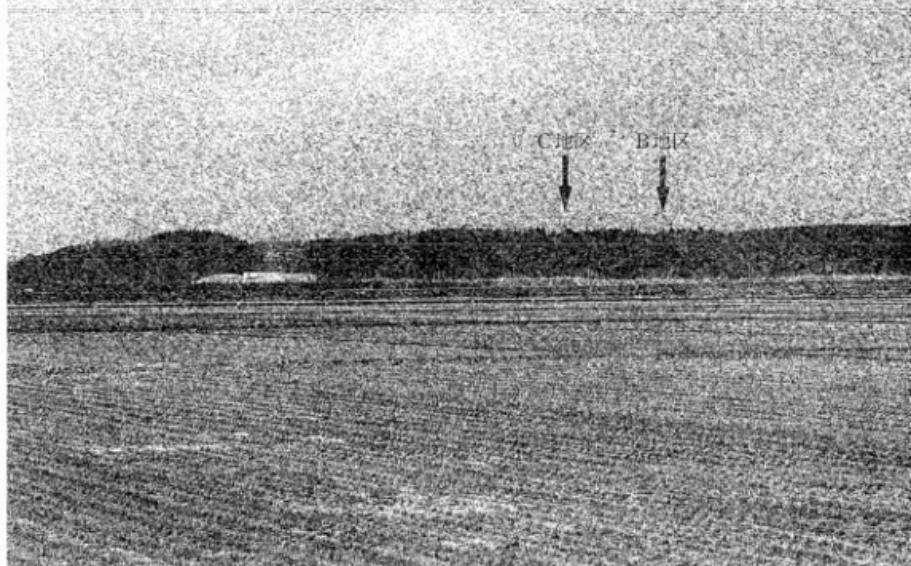
脂肪酸組成の分布に基づく数理解析の結果、クラスター分析では、石器試料には主としてニホンジカの脂肪が付着し、次いでナウマンゾウに類似した脂肪が付着していた。土壌内土器はニホンジカか原川遺跡の試料に類似していることがわかった。また、ラグランジェの未定係数法により試料中に残存している脂肪の動物種を算出した結果、石器試料No.1には殆どがニホンジカ、No.2にはニホンジカとナウマンゾウの脂肪が半分ずつ残存していることがわかった。

残存するステロール分析の結果、いずれの試料にも動物性脂肪のコレステロールが多量に残存していることがわかった。また、石器試料No.2の周辺土には特に堅実植物が多く残っていた。

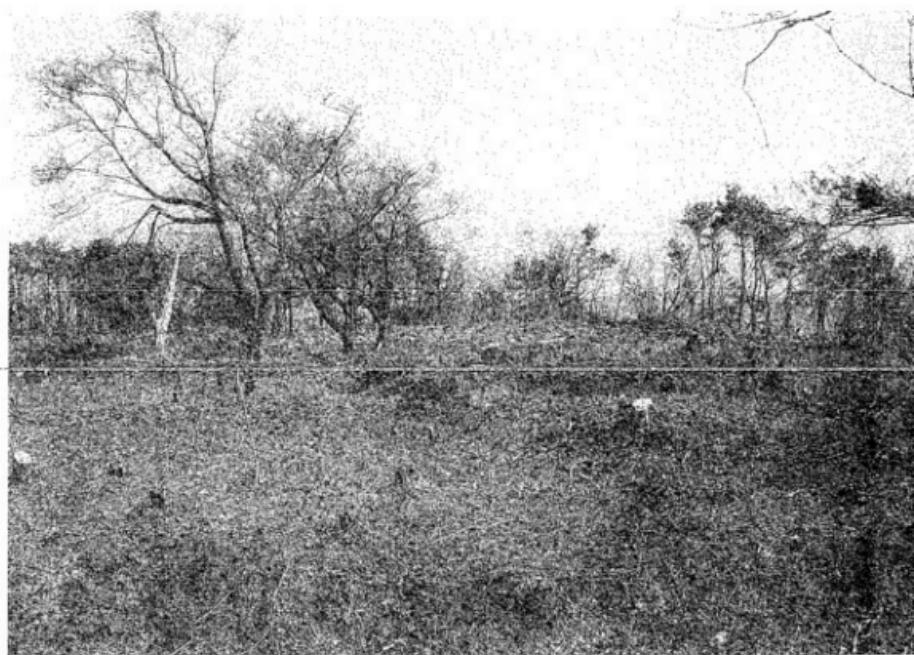
以上の成績から、理崎B遺跡から出土した石器は主としてニホンジカの解体に、またナウマンゾウやタヌキ等の動物、モズやアカハラ等の野鳥、オットセイやイルカ等の海産動物の解体に用いら

れ、土壤中の土器はニホンジカの脂肪等が付着していることや、その大きさから、貯蔵容器などの調理用器具か食器である可能性が強い。

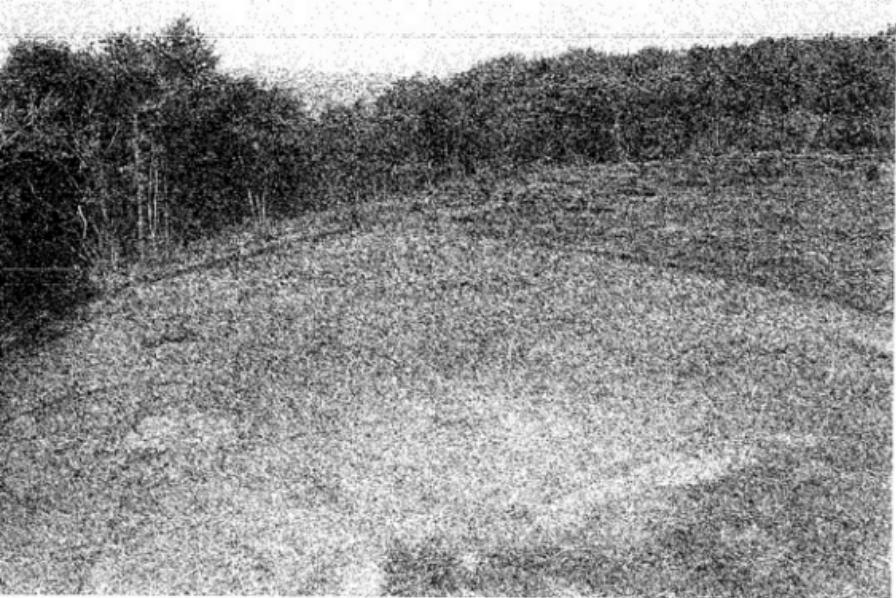
- 註1 R. C. A. Rottlander and H. Schlichtherle : 「Food identification of samples from archaeological sites」[Archeo Physikal], 10巻, 1979, pp260
- 註2 D. A. Priestley, W. C. Galinat and A. C. Leopold : 「Preservation of polyunsaturated fatty acid in ancient Anasazi maize seed」,[Nature], 292巻, 1981, pp146
- 註3 R. C. A. Rottlander and H. Schlichtherle : 「Analyse fruhgeschichtlicher Gefaß-inhalte」,[Naturwissenschaften], 70巻, pp33
- 註4 中野益男 : 「残存脂肪分析の現状」,[歴史公論], 第10巻(6), 1984, pp124
- 註5 M. Nakano and W. Fischer : 「The Glycolipids of Lactobacillus casei DSM 20021」,[Hoppe-Seyler's Z. Physiol. Chem.], 358巻, 1977, pp1439
- 註6 中野益男 : 「残存脂肪酸による古代復元」、「講演収録集—新しい研究法は考古学になにをもたらしたか」, 第3回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会編, 1989, pp114
- 註7 中野益男、伊賀 啓、根岸 孝、安本教博、畠 宏明、矢吹俊男、佐原 真、田中 琢 : 「古代遺跡に残存する脂質の分析」、「脂質生化学研究」, 第26巻, 1984, pp40
- 註8 中野益男 : 「真駒遺跡出土土器に残存する動物油脂」、「真駒遺跡—農村基盤総合設備事業能都東地区真駒工区に係わる発掘調査報告書」, 能都町教育委員会・真駒遺跡発掘調査団, 1986, pp401
- 註9 中野益男、根岸 孝、長田正宏、福島道広、中野寛子 : 「ヘロカルウス遺跡の石器製品に残存する脂肪の分析」、「ヘロカルウス遺跡」, 北海道文化財研究所調査報告書, 第3集, 1987, pp191
- 註10 中野益男、幡口 剛、福島道広、中野寛子、長田正宏 : 「原川遺跡の土器棺に残存する脂肪の分析」、「原川遺跡I—昭和62年度袋井バイパス(掛川地区)埋蔵文化財発掘調査報告書」, 第17集, 静岡県埋蔵文化財調査研究所, 1988, pp79
- 註11 中野益男、福島道広、中野寛子、長田正宏 : 「櫛森遺跡の遺構に残存する脂肪の分析」, 未発表, 宮城県教育委員会
- 註12 中野益男、中岡利泰、福島道広、中野寛子、長田正宏 : 「平城京左京(外京)五条五坊十坪から出土した白衣壺の残存脂質について」、「奈良市埋蔵文化財調査概要報告書—昭和63年度」, 1989, pp 5
- 註13 大地羊三 : 「電子計算機の手法とその応用」、「土木工学大成」, 第4巻, 東京, 森北出版, 1970



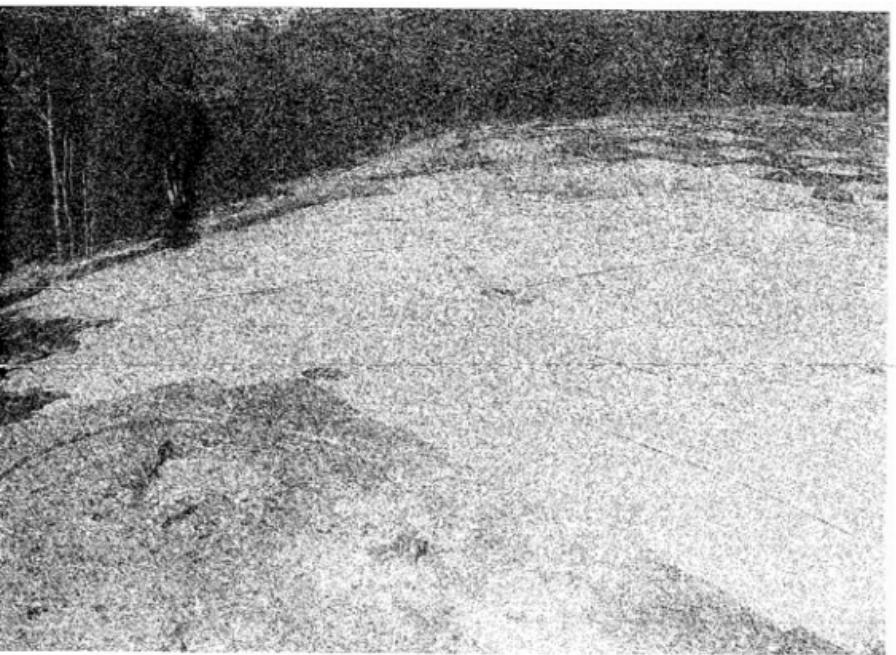
遺跡遠景（南西→）



B地区調査前（北→）



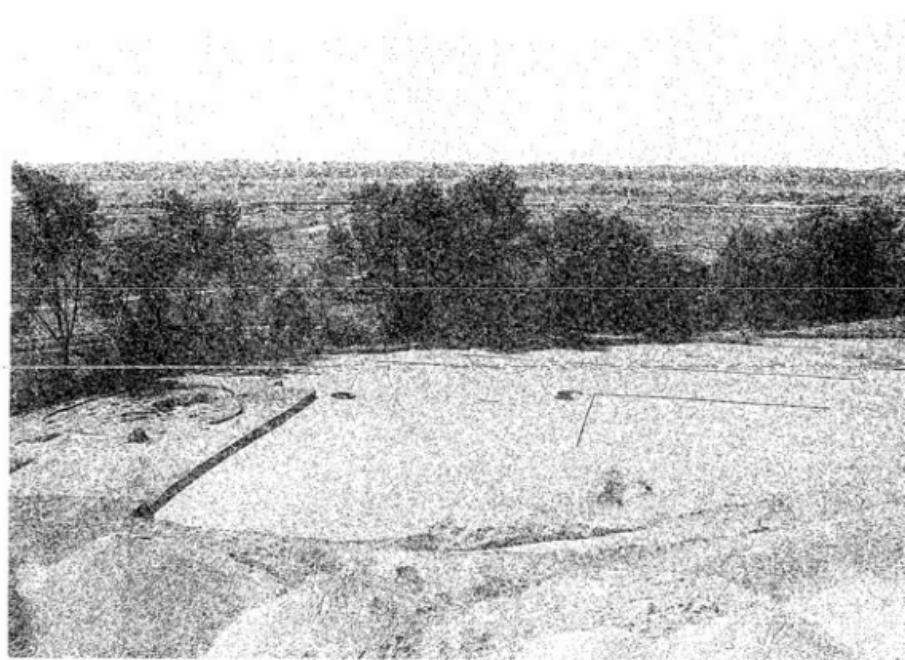
B地区遺構検出状況（南東→）



B地区旧石器時代調査状況（南東→）



B地区全景（北→）



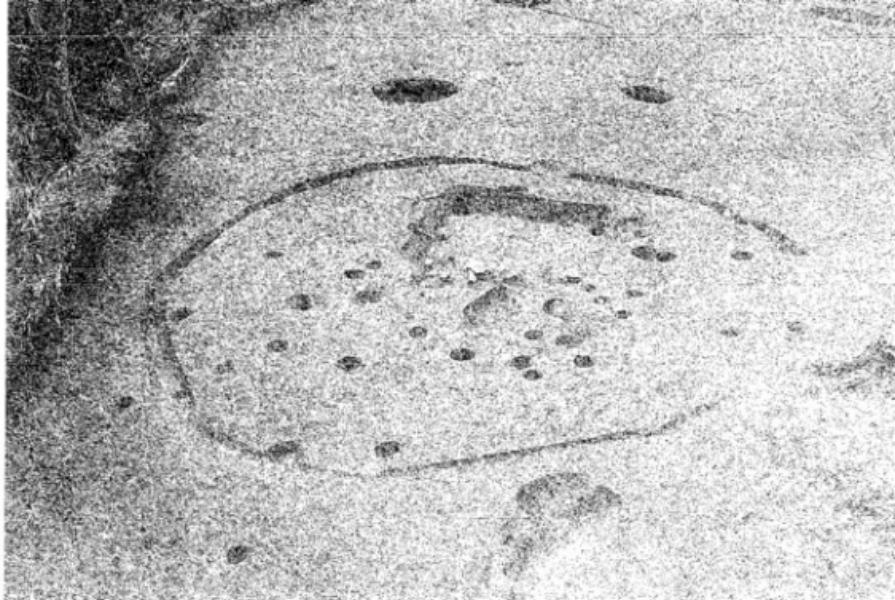
B地区全景（東→）



3地区旧石器出土状况（南→）



2号住居跡（北東→）



1号住居跡（南東→）



1号住居跡周溝（南側）



1号住居跡周溝（西側）



1号住居跡 (北西→)



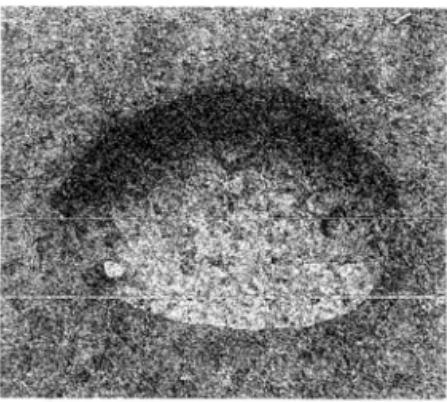
1号住居跡炉 (北西→)



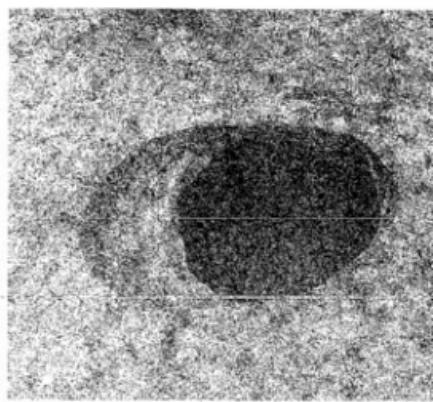
2号住居跡カマド (北西→)



1号竖穴遺構（南西→）



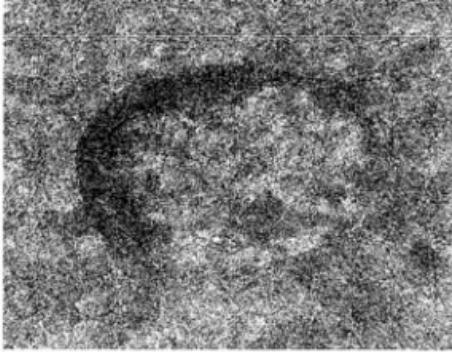
1号土壙（南→）



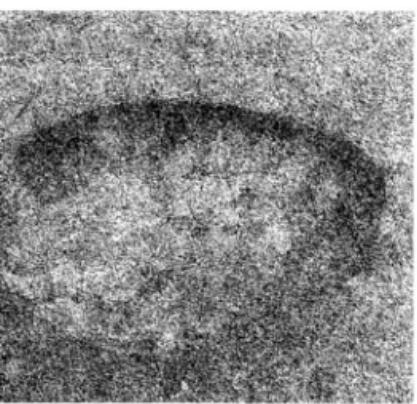
2号七壙（東→）



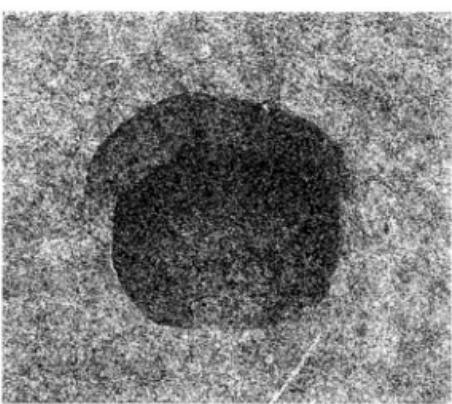
3号土壤 (西→)



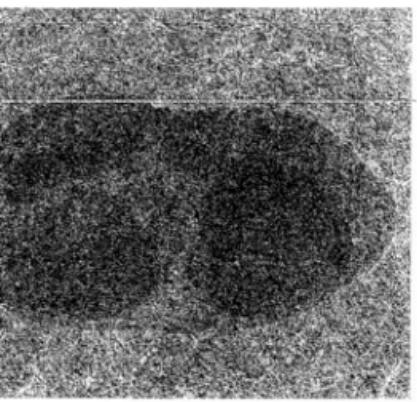
4号土壤 (南→)



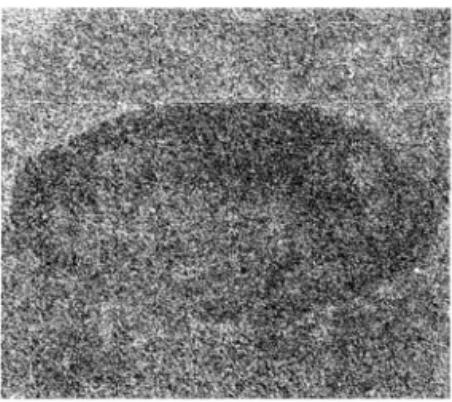
5号土壤 (南東→)



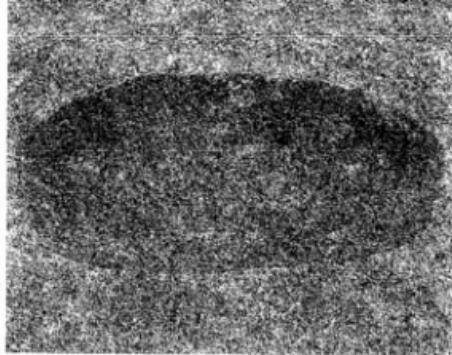
6号土壤 (東→)



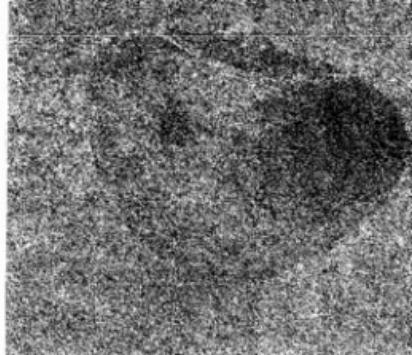
7、8号土壤 (南→)



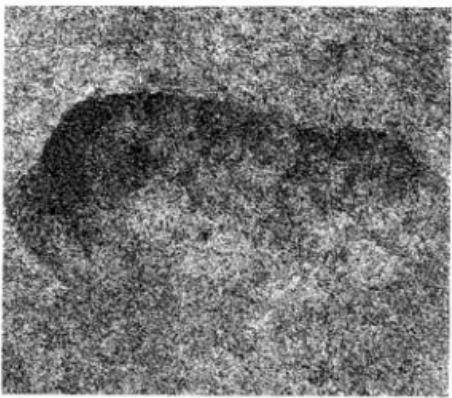
9号土壤 (南→)



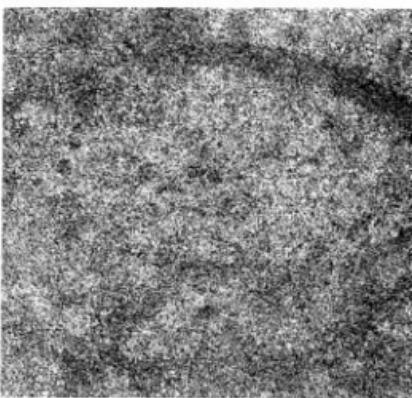
10号土壤 (南→)



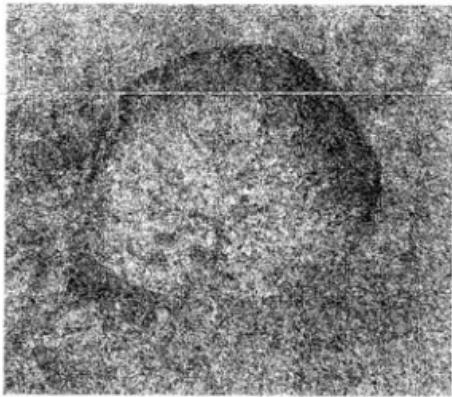
11号土壤 (南→)



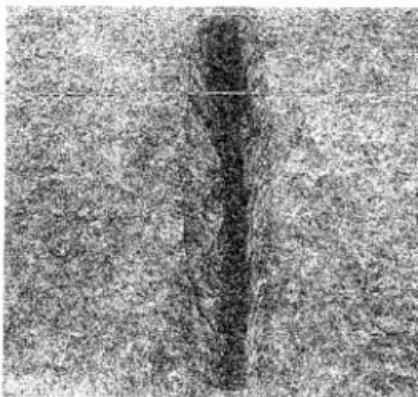
12号土壤 (南西→)



13号土壤 (南→)



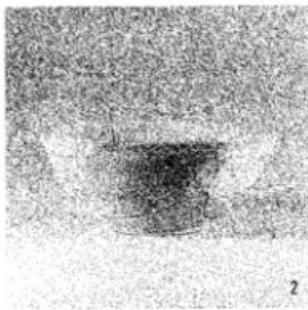
14号土壤 (南→)



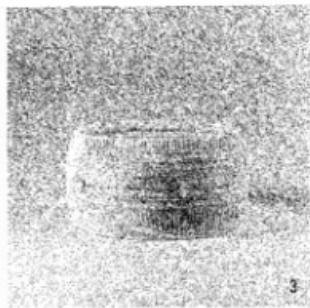
1号溝状土壤 (東→)



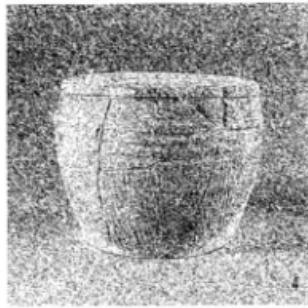
1



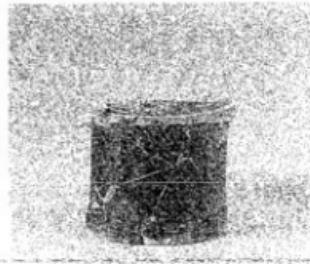
2



3



4

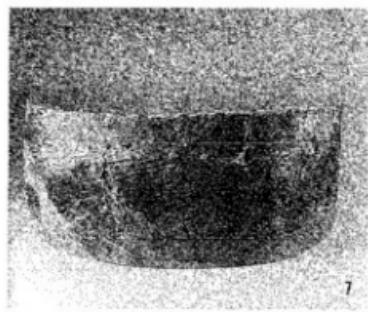


5



6

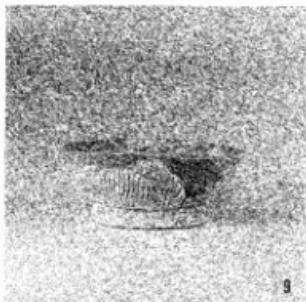
1 1号住居跡ピット
2 2号住居跡床面
3~5 1号土壙



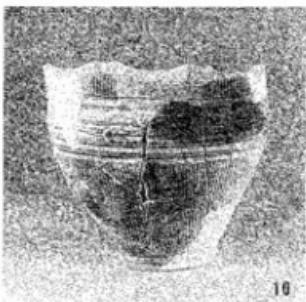
7



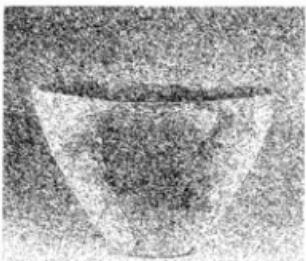
8



9



10



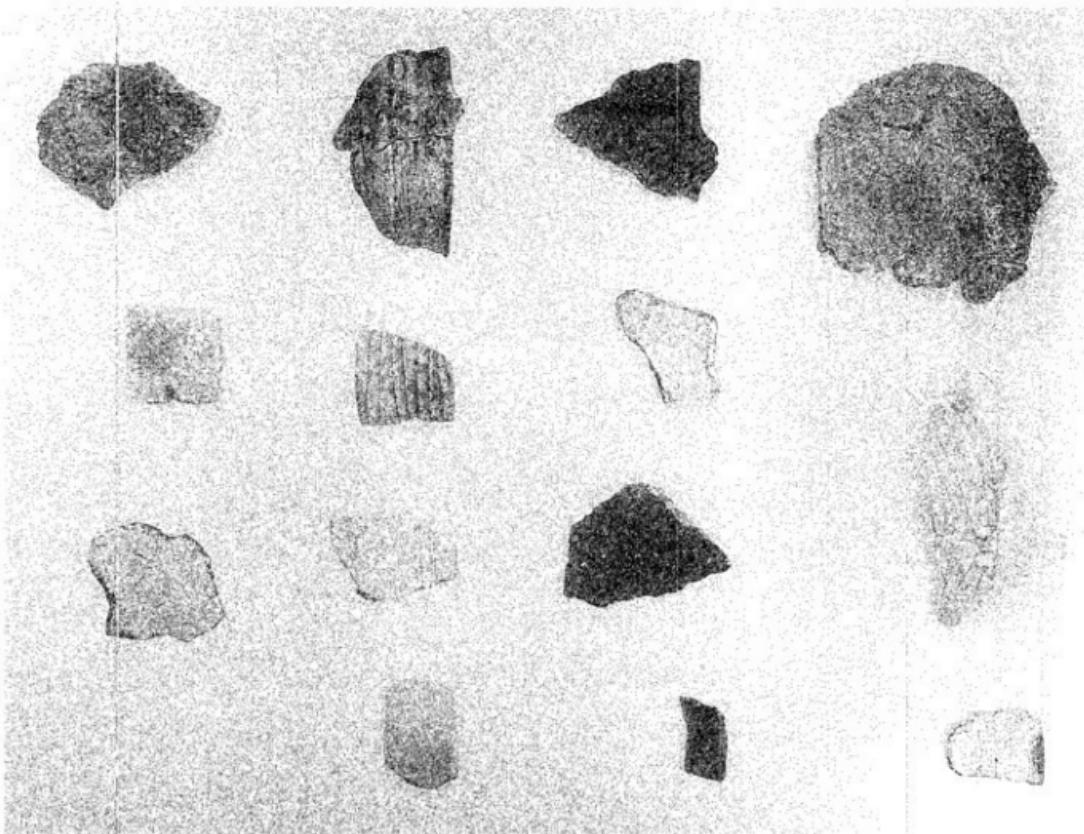
11

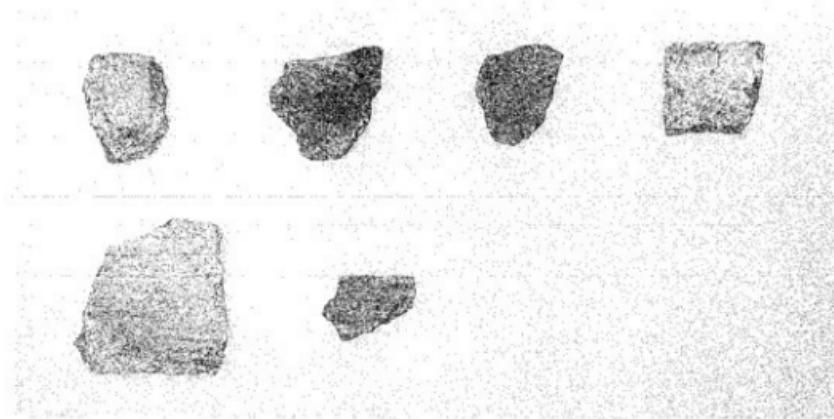


12

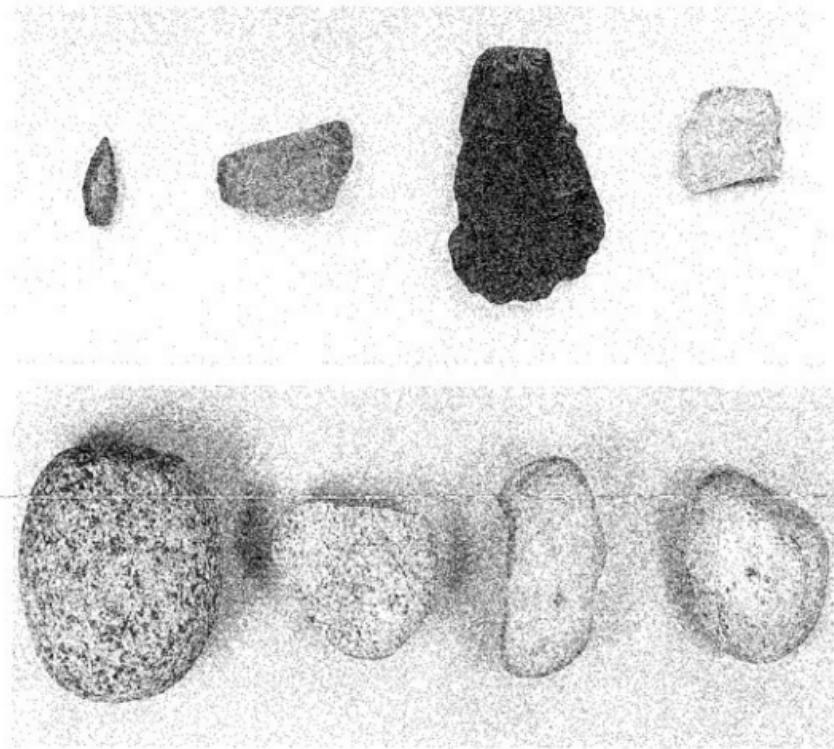
7、8 1号土壤
9、10 6号土壤
11、12 造構外

遺構内出土土器



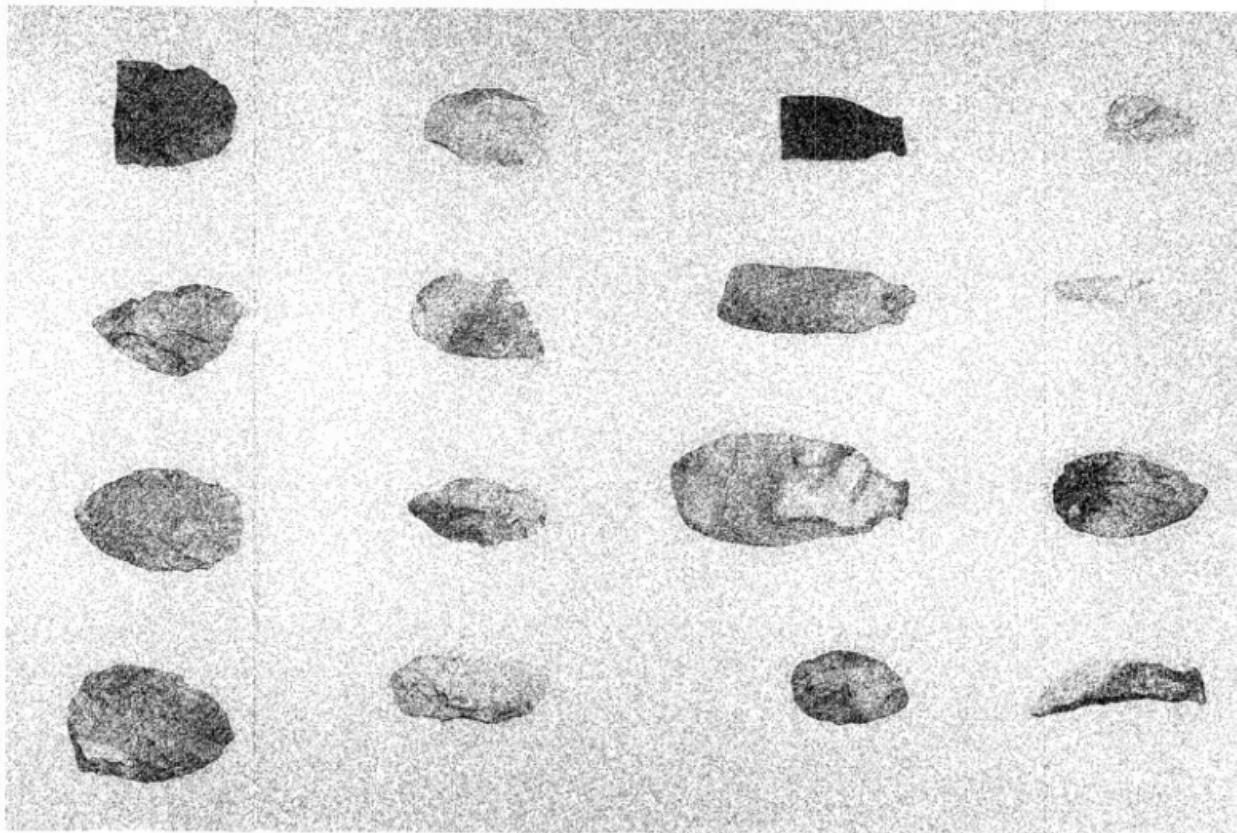


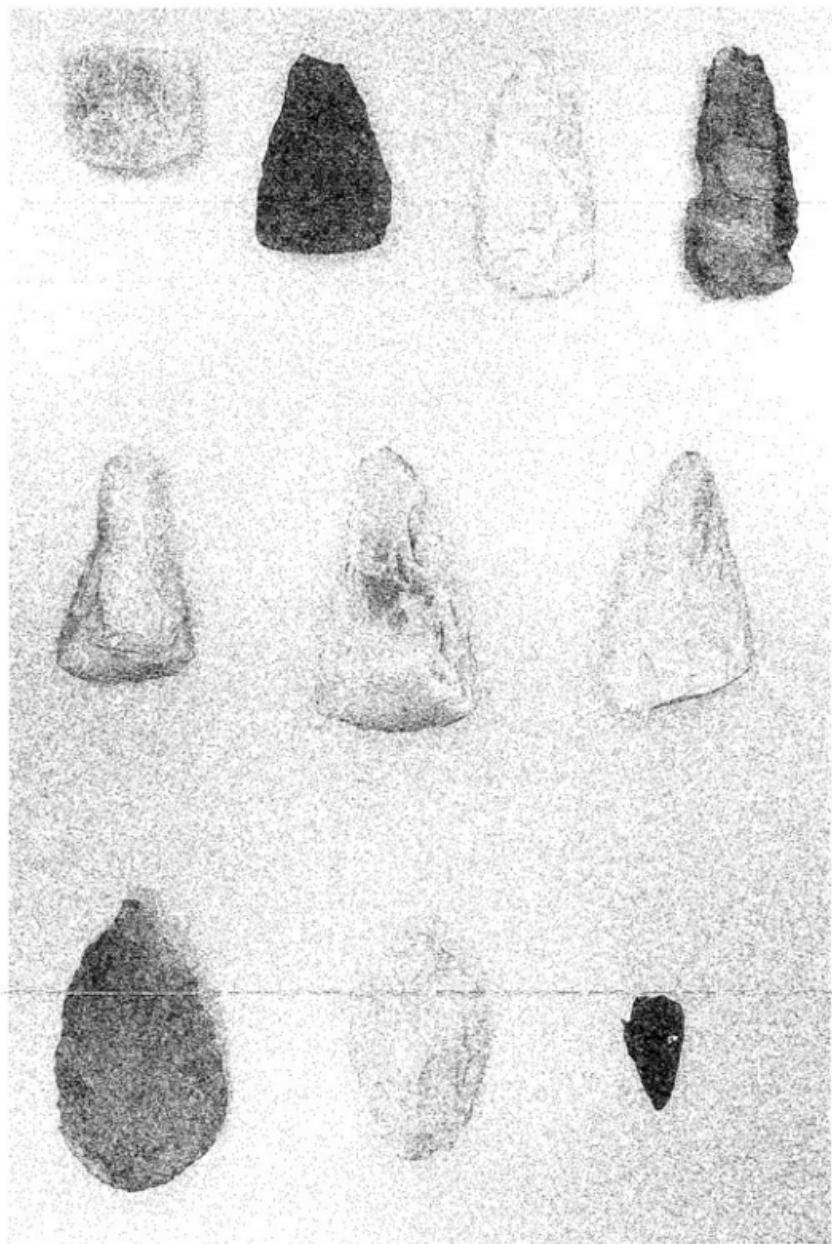
遺構内出土土器



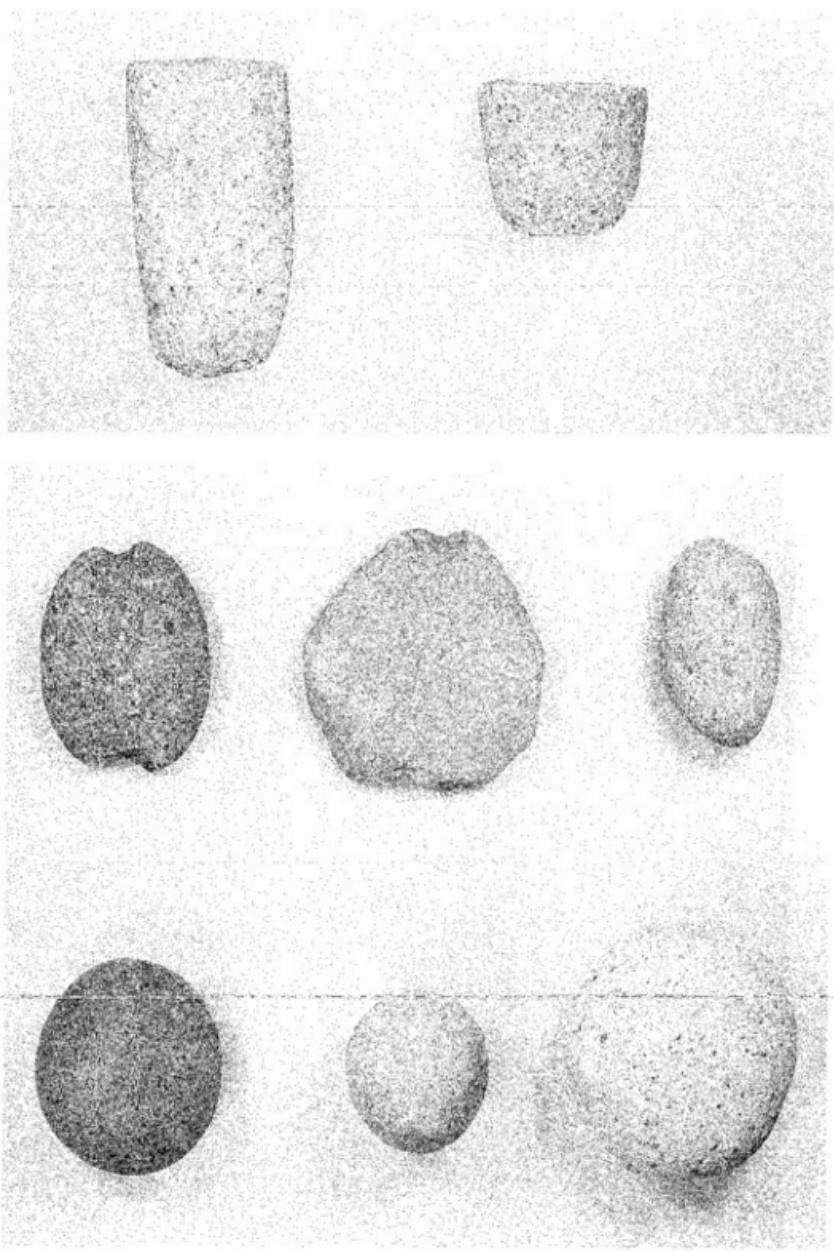
遺構内出土石器

遺物外出土石器





遺構外出土石器



造構外出土石器